十月六日發行
發行人　鈴木昇
編輯人　橋本喜代治
印刷人　本村武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所　株式會社滿洲日報社

漸く表面化して來た在滿重要機關の改革

關係各方面愼重に研究

滿鐵および關東軍特務部等の在滿重要機關の改革問題が今秋政治シーズンに入るに及び表面化し來るべきことは既報のごとくであるが果して十月の聲を聞くと共に漸次具體的となり、從來のごとき抽象的議論の時代を離れて實行に近づきつゝあるを思はしめて居る、卽ち關東軍特務部よりは總務課長沼田中佐が上京し、滿鐵よりはこの方面の擔當者たる經濟調査會の岡田第五部主査、宮崎第一部主査が相ついで上京、中央部と密接な連絡をとりつゝ計畫立案に參與してゐる、しかして滿洲の經濟開發については關東軍に特務部、滿鐵に經濟調査會が設けられて立案に當り、滿鐵および滿洲國がその局に當つて居るが事變後二箇年を過ぎ戰時狀態を離れて經濟工作に主力を置く時代となりつゝあるに伴ひ、如何にして最も妥當な制度を設くるかゞ論議の中心となつてゐる、第一に起つてゐる問題は滿鐵の經濟開發については從來拓務省が滿鐵や關東廳を通じて行つてゐたが、事變後は非常時に順應して現地において多くの重要問題が決定され、拓務省は員に備はるに過ぎざるごとき事が往々あり、故に今後は事變前のごとく拓務省が管理するか、又は關東軍が監督しこれを陸軍省につけるか、又は總理大臣直屬にするかにあり拓務省の權限に關するので政治問題と化せんとしてゐる、第二は現在は陰の機關として存在し正式に日本の官制には出てゐないが實際は滿洲の經濟開發の根本方針を定むる重要機關たる特務部を如何にするかの問題で擴大强化して經濟參謀本部として正式に表面に乘出さしむべしとの意見が有力に傳へられてゐる、この問題はその補助機關たる滿鐵の經濟調査會を如何にすべきかの問題とも關聯して居り同會内にも各種の意見が渦巻いてゐる、第三は滿鐵自體を如何にすべきかの問題で多年の懸案たる地方行政の移管問題に波及し、さらに治外法權撤廢問題にも關聯して行くので、結局滿洲全體の局面を一新せしむるが如き大變革を招來せしむる可能性がありそれだけに關係各方面とも極めて愼重なる態度を持し、今後も本問題を中心とする要人の往來が頻繁とならうとしてゐる

今更經濟參謀部等の看板を出す必要なし

特務部と滿鐵經調會合併必要

けさ來連の小磯關東軍參謀長談

關東軍小磯參謀長は名越副官帶同六日午前七時四十分大連着列車で來連、滿鐵八田副總裁、河本理事、御影池大連民政署長、石井大連署長等の出迎へを受け直に星乃家に入つたが、同參謀長は六日華々しく凱旋する坂本第六師團長を埠頭に見送り、更に八日金福線馬家屯に建設された日露戰役第二軍上陸記念碑の除幕式に參列同夜大連發列車で歸京の筈である、途中金州まで出迎への記者が六日附本紙朝刊所載の特務部、滿鐵改組の記事を差出して質問すればしばし默讀した後「フフン、大分異つてゐるな」と答へ「どうだ關東軍の惡口でも聞かさんか」とくだけた態度で、左の問答を行つた

問・ドリヴイエ氏が滿鐵と交渉中の佛財團の投資問題に關しては

答・まだ具體的問題にまで行つてないんぢやないか然し趣旨は結構だと思ふ、滿洲國も國策産業基礎産業が日滿經濟ブロックによつて增大しそれを害するとさへなければ外資の進出大いに歡迎するだらう、滿鐵からも一寸話があつたが私も贊成だ、要するに話は投資する機關を造らうではないかといふ程度だと思ふ、事業をやるとすれば都市建設、上下水道敷設、電氣、瓦斯、鐵道工事等の所謂土木工事やその他色々あると思ふ

問・朝刊の記事は間違ひだとのお話であるが、特務部の機構擴大は經調の合併と共に早晩實現すべきものではないか

答・特務部と滿鐵經濟調査會は合併の必要があるし、また合併も出來るやうになつてゐる、然しさうだからといつて今更經濟參謀部なんて看板を出す必要もないし、機構を大きくすることも無い今のまゝでも出來やうぢやないか、要するに看板よりもそれの運用如何だ

問・滿鐵を經濟産業機關にするといふことも既に各方面で唱へられてゐることであり、滿鐵幹部中にも滿鐵は鐵道一本になるべきだといつてゐる人もあるが

答・鐵道一本といふのは可笑しい全滿經濟産業機關とすると解するべきではなからうか、滿鐵といふ從來の機構が有効なものとされ絶大の信用があつたればこそ巨額の增資が出來たのだ、從つてこの意味は單に鐵道だけでなく、石炭やその他一切の國策産業、自由産業を包含した經濟産業機關にするといはれるべきではなからうか、鐵道一本にするなんてことは退嬰的だ

問・然し滿洲の各産業は電氣にしろ石炭にしろ、石油にしろ、漸次全滿的に個々に統制されつゝあるのではないか

答・然しそれでは統制が出來てゐないんではないか、國家統制といふことは個々の産業を一括統制するところにその意義を生じて來るのだ

問・非武裝地帶もやつと一段落となつたが、結局今のまゝでは永久に紛爭の絶えやうが無く、改めて第二次會議の必要があると思はれるが

答・昨日も或る外人記者が同じ質問をした、然し何も非武裝地帶は亂れてゐないではないか、軍隊が入つてくればやつつけるまでだから心配はない、方振武もこつちの態度に驚いて兵を引いたが、もう他の連中も今度でこりたらうから入つて來る心配はない、先日もゴタ〳〵時分に于學忠の武裝隊が灤州まで來たから抗議をしたら早速引揚げてしまつた

鄭總理の菱刈軍司令官歡迎會

五日正午新京ヤマトホテルにおける鄭國務總理の菱刈軍司令官着任歡迎會【寫眞右側右端より田邊參議、藥英參議、菱刈軍司令官、張惠景總長、左側左端より多田少將、岡村少將、宇佐美顧問、鄭國務總理】

第六師團凱旋

(司令部並に飯田部隊)

けふ午後四時春晴丸乘船開始

八田滿鐵副總裁小磯參謀長訪問

重要問題の意見交換

六日朝新京より大連に到着した小磯參謀長は自動車にて直に星乃家に入つたが、その跡を追うて八田滿鐵副總裁は午前八時半同旅館に參謀長を訪れ、秋晴れの海を見渡す階上の一室で兩巨頭は人目を避けて約三時間に亘つて密議をなした、十一時半星乃家を辭去した八田副總裁は直に自動車を走らせて滿鐵本社に到り、折柄開かれてゐた滿鐵重役會議に臨んだが、滿鐵本社では先週來、連日午前午後に亘つて重役會議を續開してゐること、内地においては在滿機關の改革問題が相當進行した模様であること等より推して、六日の兩巨頭會議は極めて重要なる意義を有するものゝごとく、滿鐵を中心とする各種重要問題が今後如何に展開するか、各方面の關心を集めてゐる

滿鐵重役會議

滿鐵では六日午前十時から總裁室に林總裁以下在連各重役佐藤建設局長、山崎同庶務課長、石本總務部長、囑託特務校後宮大佐(八田副總裁は午前十一時四十五分から參加)等參集のうへ新線問題に關して重役會議を開催午後零時三十分散會した

日本雜貨排斥案可決

英保守黨大會

【バーミンガム五日發國通】五日當地で英國保守黨年次大會が開催されたが、左の如き日本雜貨排斥の決議案を上程、植民次官ヌルマンス卿の反對あり多數を以て否決さる

●日本がイギリスより生活程度を低め挑戰する以上、日本産の刄物その他雜貨の英植民地輸入を禁壓すべき適當なる方法を講ずべし

谷參事官北滿視察

【新京六日發國通】谷大使館參事官は約一週間の豫定で北滿及び滿洲里方面視察のため六日午前八時飛行機でハルビンに赴いた

ドイツ商品を米國から驅逐せよ

米國勞働大會の決議

【東京特電六日發】ワシントン來電＝四日開催された米國勞働總同盟全國大會においてヒツトラーのドイツ國内勞働諸團體に下しつゝある彈壓振り、特に勞働組合運動を潰滅せしめた累狀に對しこれが報復手段としてドイツ商品を全アメリカより驅逐すべしとの決議案が提出された、この表決は來週中に行はれ異議なく採擇されるものとみらる、なほ總同盟は二十五萬より成る全勞働戰線の實力を握るものである

會議失敗遺憾

最近の歐洲政局惡化は事實 ドイツのナチス跋扈は不評

石井全權の歸朝談

【東京六日發國通】世界經濟會議に出席した石井、深井兩全權は外務首腦部をはじめ實業團其他多數の出迎へを受け午前九時東京驛着歸京した、石井全權は車中出迎への記者に對し左の如く語つた

世界經濟會議が不幸にして失敗に終つたことは我々代表としても洵に遺憾に思つてゐる、しかしあの會議だけで今日の世界の難問題が總て解決しやうと望んだことは餘りに過分の期待であつたといはればならぬ、我々は今回の失敗を失敗として終らしめることなく、來るべき次の會議の土臺たらしむるやうにせればなるまい、會議の進行中、英米、佛主要國間では利害關係の大きいだけに相當緊張したこともあつたが、わが國は終始樂な立場にあつた、最近における歐洲の國際政局は經濟的不況が原因となつてかなり惡化してゐるが、しかし一九一四年の世界大戰前におけるやうな切迫した危機には直面してゐないやうに思ふ、たゞドイツのナチスの跋扈に對しては歐洲諸國はかなり不滿の色を示してゐる

會議決裂の原因

深井經濟全權語る

通貨問題に對する各國の態度は最初より

一、自國の半永久的策が自國の發展を健全に導くものであり、一時的便益のため自國通貨を根本的に改變するやうな協定には全然反對である

一、通貨は目前の利益のみを目標に暫定的協定を繰返す事によつて益々健全なる協定に達しやう

以上の二派に分れてゐたがこれは會議が不結果に終つた重大原因であつたと考へる、而して後者の事項を理想とする國々と雖も結局通貨安定問題に歸られればならぬとの精神は共通してゐたやうであつた卽ちこれは今後の新らしい比較的安定した情勢に對應する新金本位制の確立である、會議中盛んに傳へられた英米爲替安定協定問題についてては本會議には何等表面的に現はれず、兩國間にどの程度に進行してゐたか全然知らぬ、會議後特に痛感したことは會議が殆んど無結果に終つた結果、遂の英帝國オツタワ會議に基き各屬領を含んで成立した關税協定は各國に一大警告を與へたことである

奉天省の納税良好

【奉天電話】奉天省税務監督署管内の三十八税捐局は大同二年度第一期徴税については昨年度より非常に良好なる成績を示し長白臨江の如き馬匪賊の巣窟地帶にあつても豫定徴收額の徴税が行はれつゝあり本年度よりは田賦税その他一切の國税は定期に徴收することになつたが、田賦は納税期にはなつてならぬが現在の狀況から納税は確實と見られてゐる、只問題であるのは農作物の暴落により農村の耕作資金に對し中央政府において何等かの救濟對策が行はれざる限り農村の疲弊は免れずこれが納税方面に累を及ぼす危險性はあるが奉天省としては何れも豫定徴税額を突破する模様であると樂觀してゐる

奉天、新京、四平街三驛大擴張

總工費百八十萬圓で

滿鐵々道部では十月一日からのダイヤ改正と共に奉天、四平街、新京の各驛をそれ〴〵の隣接鐵道との共同使用驛とすることゝなつたため、これに伴ふ設備改善の要あり、今夏來輸送、營業、工務の各關係課で具體的**設計案を**作成中のところ鐵路總局が特にこれの實現を急ぐ關係から最近同改造設計を完成八年度追加豫算として一兩日中に重役會議の審議に懸けることゝなつた同改造案によれば最も大きな改造を見るのは奉天驛で、新京、四平街兩驛は驛舍建物の内部的改造に止まり總工費約百八十萬圓のうち百五十萬圓は奉天驛の改造費に當てられてゐる、卽ち奉天驛は共同使用驛となつた關係から一時に滿海、奉山兩線の旅客を同驛で取扱ふこととなつたゝめ現在の**三ケ所の**ホームでは自然混雜を來し、こゝに第四ホーム造築の必要が起つたもので、これの新築およびこれに伴ふ線路敷設替その他工事に以上の金額を計上したもので重役會議の決裁を得次第本年中に工事に着手明年十月一日のダイヤ改正と共に新ホームを使用する豫定である

鐵道部社員登格

最少限度三百五十名

滿鐵々道部では重役會議の決議に基き鐵道部現從業員の臨時登格を行ふべく九月初來各方面の調査を急いでゐるが數日中に新定員の査定も終り鐵道省新入社員の來滿期である十月末日までには登格者の決定を見る筈である、登格人員についてはまだその基礎的調査が終了せず、卽ち滿鐵々道部から近く總局に轉出する豫定の雇員以上の社員は約二百四十名であるが、鐵道部としてもこの際出來得る限り社員の昇進の途を開くうへからそれ以上を總局に派遣するやう各鐵道事務所に問合せ中でその報告は未だまとまらず、また定員數に關しても總務部の査定より遙かに多數を鐵道部で要求してゐる關係からこれまたその見當がつかず從つてこれ等の調査が終了した上でないと登格人員は決定を見ないが、鐵道部では最少限度三百五十名(事務員技術員および雇員への登格全部を含む)の登格は可能と見てゐる、なほ鐵道省から滿鐵に採用される社員二百名中月俸社員は約五十名でその他は現社員の登格には影響を及ぼさない乙種傭員の職工でこの五十名を新採用するものとしても以上の登格が可能であるとされてゐる、右に關し鐵道部石原庶務課長は語る

まだ人數は決つてゐないが出來るだけ多くを頑張るつもりだ、發表は或は鐵道省社員着任後になるかも知れぬが決定だけは是非それまでにするべく目下調査を急いでゐる

第二次五相會議

けふ閣議後に開く

【東京六日發國通】政府は豫算編成期も切迫して來たためこの豫算編成に先だち決定を要する不動の國策確立を急いで居り、殊に外交國防の國策と、財政との調査に關しては速かに決定して置く必要あるため、三日の閣議散會後五相會議を開いて協議するところあつたが、更に六日の閣議散會後も第二次五相會議を開き、外交國防國策の遂行と財政の調整に關する具體的協議をする豫定であるが、當日は前回の會議における荒木陸相、大角海相、廣田外相等よりの説明に對して、高橋藏相が事務當局より財政の現狀についての説明を聽取した結果を報告し、更に外交國防國策の具體化と、財政との調整に關して重大協議を爲すこととなつた

凱旋將兵接待

七日第三次凱旋部隊を午前十時より關東倉庫内にて

滿日婦人團員並に各女學校同窓會有志會員は午前九時までに關東倉庫にお集り下さい

滿洲日報社
滿日婦人團

英艦隊司令官

日英協會で招待

【東京六日發國通】日英協會では五日午後七時より帝國ホテルにおいて秩父總裁宮、同妃兩殿下の台臨を仰ぎ、來朝中の英國支那艦隊司令官ドレーヤ提督並に幕僚を招待して歡迎大晩餐會を催し、カナダ公使マラー氏起ち、我兩陛下のため乾盃、次いで秩父宮殿下より英國皇帝陛下の御健康を祝され、林權助男、ドレーヤ兩氏の挨拶あつて十時盛宴を閉ぢた

定例閣議々事

【東京六日發國通】六日の定例閣議は午前十時より首相官邸で開催齋藤首相以下各閣僚出席、堀切書記官長より思想對策委員會において審議した社會政策改善方策について詳細説明し、高橋藏相外各閣僚より失業問題の對策並に社會不安の問題につき種々意見を交換、三土鐵相より關西視察による最近の關西地方商工業と農村狀況につき報告あり十一時二十分散會した

徳川家正公使

けふ滿鐵を訪問

カナダ駐在公使徳川家正氏は六日午前十時五十分滿鐵本社を訪問、林總裁以下各理事と會談少時にして辭去した

土岐陸軍次官

けふ軍首腦訪問

【新京電話】土岐陸軍政務次官は五日はとにて軍部關係者多數出迎への中に來京、滿洲屋旅館に投宿したが、六日軍司令官始め各要人と會見、意見の交換を行つたが、氏は七日熱河並びに北滿視察の途につき十月十五日再び來京の豫定

うらる丸の船客

【門司特電六日發】八日大連入港豫定うらる丸の主なる船客諸氏

淺野同族會社重役藤堂大藏、神戸製鋼所取締役森本準一、滿鐵社員矢部宏一、大阪鐵道學校長瀨島源三郎、東京日々記者岸井壽郎、盛進商行藤川類造、輸入商賀輪榮一郎、綿織物輸出商道幸久次郎、貿易商畑野源一郎、新谷林三、古田俊之助、齋藤藤四郎、小畑忠良、高洲紀雄、關田宇三郎、河田順

あめりか丸

七日午前七時二十分大連港外着の豫定

▲徳川家正氏(駐カナダ公使)八日の天津丸で天津行、北平、青島、上海、南京を巡歴して今月中に歸京、來月中旬歸任の由

▲本村武盛氏(本社營業局長)母堂死去のため家族同伴歸國中の處六日入港しあざる丸で歸連

▲田口省吾氏(畫家)同上來連

▲牧田太猪藏氏(遼陽警察署長)六日午前九時發はとにて赴任

◇商談整はず、石井、深井の兩全權無事歸朝。

◇草臥れ儲けの骨折り損、いや御苦勞さま。

◇風に向つて唾を吐いたのが支那の關税障壁。

◇果して自らの唾を浴びて悄然、は滑稽々々。

◇廢物利用の航空機獻納、煙突も高いが目も高い。

◇無事故の譽れ、華々しくはないが、堅實振りが嬉しい。

小説「東天紅」本日休載

先立つた女の黒髪を抱き中年男一人心中

撫順で藝妓との情死に蘇生し死場所を探し奉天へ

【奉天電話】亡き戀人の黒髪と寫眞を懷き女の跡を追つて一人心中を圖つた男――去る四日市内富士町十番地商人旅館に投宿した長崎縣生れ大連市西公園町土木請負業村上鶴吉（五八）は五日午後五時頃カルモチン二十五グラムを嚥下し苦悶中を女中に發見され大騷ぎとなり屆出により奉天署より松尾警部補、藤卷醫師とともに現場に急行し同人を藤卷醫院に收容し應急手當を施したが六日朝遂に死亡した　彼は去る九月十八日撫順で馴染の藝妓山口みや子と情死を圖りみや子のみ死亡し自分は蘇生したのであるが、亡きみや子を戀ひ慕ひ彼女の黒髪と寫眞を懷中深く潛め撫順を出發各所を轉々し死に場所を探し求め一日奉天に來り腕時計その他を入質し金二十圓を得て死の場所を同旅館にもとめ四日投宿五日この始末に及んだものであることが判明した　遺書とてはないがみや子との心中の際伯父に宛てた「女と馴染んで死す自分の死體を女と共に埋葬して呉れ賴む」との遺書あり、みや子の跡を追つて一人情死を圖つたものと見られてゐる、死體は七日來奉する大連在住の彼の實兄に引渡す筈である

セネタース軍雪辱

攻守ともに冴え來る

ワールドシリーズ第三回戰

【東京特電六日發】ワシントン五日發　ワールドシリーズ第三回目は、セネタースのホームグラウンドたるグリフィス・スタヂアムに於いて行はれたが、セネタースは最初より健棒を振つて攻擊を開始し加ふるにホワイト好投して遂に四A對零でジャイヤントを零敗せしめて復讐を遂げた

ジ軍

守備	選手
7	ムアー
4	クリッツ
3	テリー
9	オツト
8	デーヴィス
5	ジヤクソン
2	マンキユーソ
6	ライアン
	フイッツ
1	シモンズ
PH	（ピール）
1	（ベル）

セ軍

守備	選手
4	マイヤー
9	ゴスリン
7	マヌーシユ
6	クローニン
8	シユルト
3	クーヘル
5	ブルージユ
2	シウエル
1	ホワイト

ジ軍	000	000	000	0
セ軍	210	000	10A	4A

經過

◇一回　ジ軍凡退▼セ軍マイヤー左前安打に出でゴスリン强氣に出て第一球を右二壘打マイヤー三進マヌーシユ遊飛の後クローニン一匍の時マイヤ生還シユルト右二壘打してゴスリンを還しクーヘルの三匍でシユルト挾殺されたがセ軍二點を先取して氣勢を揚ぐ

◇二回　ジ軍オツトの難飛球をマヌーシユ好く捕へデーヴィス三越安打し投手暴投に二進ジヤクソン四球に續きしもマンキユーソの遊匍に併殺▼セ軍ブルージユ左翼二壘打シウエルの二匍で三進ホワイト・ヒル投匍野選マイヤーの安打にブルージユ生還ゴスリンの左翼大飛球にホワイト・ヒル本壘をついて左翼手の好投に刺さる

◇三回　ジ軍一死後フイッツ、シモンズ遊擊を拔きムアーの遊匍に封殺されクリッツ二越安打したがテリー一匍▼セ軍二死後シユルトの一安打のみ

◇四回　ジ軍二死後ジヤックソン二壘打したが後援なし▼セ軍凡退

◇五回　兩軍走者なし

◇六回　ジ軍はセ軍ホワイト、ヒルの好投に凡退▼セ軍クローニン右翼安打に出でシユルツ一邪飛クーヘルの二匍にクローニン封殺クーヘルの二盜ならず

◇七回　ジ軍無爲▼セ軍一死後シウエル遊擊强襲に出で二盜なりホワイト・ヒルの二匍に三進しマイヤーの右翼安打に還りゴスリン三振

◇八回　ジ軍奮起し一死後PHヒール遊越安打に出でムアーの遊匍失で走者二一壘よりの好機を迎へたがクリッツ投匍テリー捕飛に終る▼セ軍（ジ軍投手ベルとなる）無爲

◇九回　ジ軍オツト四球を得たが後援なく零敗する

		敵打	打安	得犠	死盜	振四	失三	過
ジ軍	3	2	5	0	0	2	2	0
セ軍	3	1	9	0	1	0	2	1

ヒル好投し ジ軍零敗

シモンズ潰滅

【東京特電六日發】ワシントン五日發、ジャイヤント對セネタースの第三回戰は定刻大統領の始球式後ジャイヤント先攻で開始されたがセネタースは遂に別電の如くジャイヤントを零敗せしめて見事復讐を遂げた、この日セ軍投手ホワイト・ヒルの好投はジ軍に五安打を許したのみで之を零敗せしめたほか一方鳴りを鎭めて居たセ軍の巨砲は本日に至り漸くその眞價を發揮しフイッツ・シモンズをノックアウトして合計九本の適時安打を放ちジ軍を屈伏せしめた、本日の觀衆は約三萬、大統領も觀衆に混つて最後まで見物した、尚四回戰は引き續き明日午後一時半より當地に於いて行はれるが當日セ軍は新進左腕投手ウイーヴアーをジ軍は第一回戰の殊勳投手ハッベルを再度マウンドに送り對戰することゝなつた

海軍側判決は月末言渡し

公明な判決に腐心

【東京特電六日發】五・一五海軍側公判々決は今月末言渡しと内定した、七月二十四日の公判以來内外に波瀾を捲き起し遂に海軍部内に重大な情勢さへ生ずるに至つたので高須裁判長は各方面と共に公判記錄を詳細綿密に檢討し公明なる判決を行ふべく腐心してゐるが、この上遷延を許さぬ事情もあるので大體右の如く内定したものであるといふ

滿洲舊文化保存に國立博物館を設立

近く文化委員會開催

【新京電話】過般大使官邸で菱刈大使と鄭總理との間で話題になつた滿洲舊文化保存の爲めに國立文化博物館設置の議はその後兩當局の間に具體化され近日來滿する日本側委員の來着を待つて十七、八、九の三日間大使官邸において滿洲國文化委員會を開催具體的協議を行ふことになつたが、當日の出席者は左の如くである

▲日本側　服部宇之吉、關野貞、池内廣、濱田耕作、羽田亨、溝口貝次郎

▲滿洲國側　鄭孝胥、袁金鎧、羅振玉、寶熙、貴福、臧式毅、熙洽、榮厚、許汝棻

スピードアップの定期航空新ダイヤ

十一月一日から實施

十一月一日より東京、大阪間の夜間飛行が開始されるので日滿間の航空交通量の增加に對應すべく大連、東京間の空の旅が大いにスピード・アップされることになつた即ち日本航空會社の新ダイヤは目下關東廳に申請中にて不日認可さるべく、十一月一日より（三月迄）實施の上は郵便飛行において從來大連東京間上り二日を要したのが冬期一日半（夏期一日）同下り三日が冬期一日半（夏期同）と短縮され、旅客飛行においても左表の如く、上りにおいては殆ど變更ないが下りにおいて京城に一泊するに及ばず、廿二時間も短縮されるので利用者もウンと增すであらう

▲上り旅客機

	新	舊
大連發	前六、四〇	前六、五〇
新義州發	九、五〇	九、五〇
平壤發	一〇、五〇	一〇、四〇
京城發	一二、〇〇	一二、一〇
蔚山發	後二、〇〇	後二、一〇
福岡着	四、〇〇	三、五〇
同發	前九、〇〇	前九、〇〇
大阪發	後一、〇〇	後〇、三〇
東京着	三、二〇	二、五〇

▲下り旅客機

	新	舊
東京發	前九、三〇	前八、四〇
大阪發	後一、〇〇	一一、三〇
福岡着	四、一〇	後二、四〇
同發	前八、四〇	前一一、四〇
蔚山發	一〇、四〇	後一、四〇
京城發	後〇、五〇	着三、五〇／發前九、三〇
平壤發	二、一〇	一〇、四〇
新義州發	三、二〇	後〇、一〇
大連着	四、〇〇	〇、五〇

因に内地朝鮮は内地時間、大連は滿洲時間、なほ東京福岡間の二往復中一往復は郵便專用機を使用することになり、日曜休航制も左の如く變更されて日曜東京福岡間下り旅客機、同上り郵便機、東京大阪間下り郵便機、福岡月曜大阪福岡間下り郵便機、福岡大連間上り下り旅客機、火曜東京、福岡間上り旅客機のみを休航することになつた　なほ滿洲航空會社でも右改正に伴ひ新義州にて直に接續せしめ午後四時前に奉天に着くので東京、奉天間下りは矢張り一日近く短縮さるべく近く新ダイヤを發表するであらう

新港丸進水式

既報普蘭店海務局使用船新港丸は六日午前十時關係者多數集合滿洲ドックにて進水式を行つたが成績は非常に良好であつた

久泉木蘭縣參事官匪賊を擊退戰死

警察隊を率ゐて奮戰

【ハルビン特電六日發】ハルビンより下流五十支里木蘭縣城に四日夜九時孫朝陽一味の匪賊來襲縣參事官久泉隆氏は警察隊を率ゐ夜を徹して奮戰五日朝匪賊を擊退したが久泉參事官は壯烈な戰死を遂げた、久泉氏は同文書院出身、昭和七年十月木蘭縣參事官に就任以來縣政に獻身的努力を捧げた人で本年三十三歲、夫人みつ子は大連久方町に居住してゐる

奉天にも贋札

國幣と鮮銀券ともに

【奉天電話】この頃奉天で滿洲國の五十錢紙幣と十錢白銅の僞造が多數市中に流通するので兩替屋或は滿人商店に非常な恐慌を來してゐるが奉天の馬車洋車の苦力輩も十錢、五十錢の貨幣を僞造と思つて受取らないので各所にいろいろな問題を起してゐるが朝鮮銀行券の十錢、五十錢の僞造紙幣も發見されるといふ有樣で當局では極力その出所を探査中であるが多分天津方面の日支人が共謀してこの犯罪を犯してゐるものと目星をつけ目下嚴探中である

不逞鮮人檢擧

【新義州五日發國通】平安北道警察部特高課長は新義州署と連絡を取り、極秘裡に大活躍を開始したが、これは去る三日鴨綠江入港の支那汽船廣康號に二名の鮮人が上海から潛入したゝめで署に連行嚴重取調中であるが右は滿洲國〇〇暗殺陰謀事件に關係あるらしく重大視されてゐる

阿片密輸發覺

市内岩代町三七鎌谷義行（四二）は奧地より阿片多量を取寄せその密輸を企てゝゐたがその手先として元沙河口工場職工東田良夫（二七）と共謀巨額の金錢を儲けて華やかな享樂生活を送つてゐたが四日その手先東田良夫が市内小崗子方面に阿片密賣に出掛けたところを豫て注意中の小崗子署刑事に逮捕された、なほ鎌谷は發覺に氣付いてゐたのかその前夜何處かへ逃走し目下密輸犯人として各地に手配中である

凱旋勇士盜難

第六師團の伊藤部隊が華々しく凱旋した五日朝九時三十分頃、凱旋部隊の今田曹長が所持の中型トランクを驛第一ホーム階段降り口に置いて出迎へ人と挨拶を交してゐる隙に該トランクを竊取した太々しい泥棒がゐる、トランク中には匪賊の血をなめた榮譽の日本刀二振り、現金三十七圓六十錢その他あつたが屆出により大連署では目下犯人嚴探中

田口省吾畫伯

滯佛三年昨春歸朝後二科第十九回展に滯歐特別陳列をなし直に審査員に推され本年は自號の力作「牛肉屋」その他を出品し堅實典雅なる寫實主義の作風が賞揚されてゐる田口省吾畫伯は滿鐵林總裁及八田副總裁の推擧を得て十日より十五日迄社員クラブに於て個人展を開くため六日入港のしあとる丸で來連した

北村女將奇禍

市内美濃町八七藝妓置屋北村席北村りう（五七）は五日午前十二時三十分吉野町大タク月洞養雄（二二）の運轉する自動車に乘り吉野町六十一番地道路に差蒐つた時車が急カーブをなさんとし雨の爲め後車輪がスリップし人道に乘上げこれが爲め乘合せたりうさんは自動車の硝子破片で頭部に治療二週間の負傷をなした、直に聖澤病院に擔ぎ込み手當をなした

青訓射擊大會

關東廳學務課、同體育研究所共同主催になる關東州内青年訓練生第二回射擊大會は來る八日午前九時から大連春日池射擊場に於て擧行されるが本年は特に個人優勝者に對し關東軍司令官より一等から三等迄の個人賞が授與される

江口課長盜難

【新京電話】鐵道省國際觀光局事業課長江口胤顯氏は四日午前七時着列車で來京したが下車の際一等寢臺車内に現金百五十五圓及鐵道省、鮮鐵、滿鐵、内地、私鐵などの一等パスを在中の金入れを忘れたのをヤマトホテル洗濯部職人閻砂娜（一七）及び姜寶振（一七）に竊取されパスは洗濯ボイラーに投入燒却されたが現金は新京署の活動で全部本人の手に戻つた

制服の警佐が泥醉し暴行

新京日本橋派出所で

【新京電話】民政部警務司關官長谷川文吉及び新京城内長通路警察署勤務首都警察廳の警佐大泉桂之助の兩人は五日午後十時半頃へべれけに醉つ拂つた揚句日本橋派出所内に暴れこみ硝子戸を破壞するなどの暴行を働き派出所員に檢束され本署に連行説諭されたが大泉は警佐の制服制帽のまゝで日系官吏橫暴の聲が高い折柄この種の醜行には一般から非難されてゐる

惟神協會本祭　若狹町惟神協會では七日午後七時より宵祭八日午後一時より本祭を執行する　本祭終了後神子大和舞、津田彦六先生の講演、活動寫眞等あり、七八兩日に亘り奉納生花の催しがある多數の參拜者を歡迎する由

三倉家不幸　市内東公園町七番地三倉商店主三倉誠吉氏夫人春子さんは豫て病氣療養中のところ四日午後十時死去、葬儀は六日午後四時より天神町明照寺に於て執行した

天氣予報　七日　北西の風（晴）一時曇

滿潮（午前／午後）零時一〇分
干潮（午前／午後）六時一五分

各地溫度（六日午前十一時）

大連	一九	奉天	一四
旅順	一九	新京	一三
營口	一六	新義州	一九

けふの小洋相場（十一時半）　金百圓につき一二一圓八〇錢

洒々とした態度で離婚狀に捺印

三輪子遂に離婚さる

ピアノ教師の假面にかくれて飽くなき肉慾の化身として桃色の行狀記を限りなく繰り擴げてゐた御幡三輪子は、兒玉博士邸殺人事件の助演者としてその行狀が白日の下にさらけ出され、今は小平島保養院に最後の愛人と共に潛み人目を恐れて哀れなその日〳〵を送つてゐるが、三年の月日を二人の愛兒のために今日まで三輪子の歸つて來るのを待つてゐた市内某會社に勤務中の御幡氏も遂に官能の奴隷となつた三輪子の赤裸々な姿に愛想をつかして離婚を決意し、五日沙河口署谷川警務主任に離婚方斡旋を依賴し、離婚狀をあづけて行つたが谷川主任の呼び出しを受けた三輪子は六日正午沙河口署を訪れ、洒々とした態度で離婚狀に捺印、子供のことも全く念頭にないかの如くに、さつさと引き揚げて行つた

中薗、勝美の護送に苦心

兩名非難の投書頻り

【和歌山にて長谷部特派員五日發】世界的學者として研究室に閉籠る夫を捨て邪戀に狂ひ血で彩つた桃色行狀記の終焉を高野山に求めて聖地を汚した勝美、中薗に對し京阪一帶の人々は烈しい非難の礫を投げかけ二人を非難した投書が毎日多數和歌山署に舞込み有閑階級に對する反感を昂めてゐるので護送途中の萬一が氣遣はれ上郡山、阿部兩刑事は和歌山縣刑事課と打合せ幾度か護送プロの變更を行ひ一方神戸における大混亂も豫想されるので兩刑事は六日朝神戸に行き水上署と如何に彌次馬をまくかにつき打合せたが結局七日一番列車で神戸に向ひ直にはるびん丸に乘込ませる豫定であるまた罪の弟に面會を求めて許されず空しく歸阪した中薗の實兄源之進氏は五日秀雄が預けたトランク四個を受取りのため訪れた阿部刑事らに廿圓を託し憎い奴ですがどうかこの金で大連までの辨當を差し入れて下さいと肉親愛のうるはしいところをみせ兩刑事をホロリとさせた【寫眞は高野山を下る中薗と勝美】

實兄眞造氏檢察局訪問

切々たる兄弟愛に取るものも取り敢ず從弟と共に來連した博士の實兄兒玉眞造氏は六日午前十時半從弟兒玉彦衞氏と共に檢察局を訪れ高井檢察官に面會、事件發生以來の辛勞を謝し、同十一時過ぎ檢察局を辭したが、社會の疑惑を恐れた兩氏は博士との會見については一言も語らなかつた模樣で、たゞ高井檢察官に博士の健康狀態等を尋ねる程度で、少い言葉の裡にも斷ち切れぬ肉身愛の温かさを見せてゐたと云はれてゐる　なほ眞造氏は故鄕に於て縣會議員等の名譽職にある關係上大連に長く留まることを許されず、或ひは博士に面會することを得ず、萬事を彦衞氏に依賴し淋しい心を抱いて近く歸國する模樣である

兒玉博士を刑務所に移す

兒玉博士は去る二十四日の夜沙河口署に自首以來同署に留置され、種々取調べを受けてゐたが、沙河口署の取調べも終了したので、今後檢察局との連絡上今明日中に刑務所に送られ、直接檢察官の取調べを受けることゝなつた

兇器の短刀大捜査

依然不明

兒玉事件の唯一の物的證據品として中薗秀雄が青柳を刺した兇器九寸五分細身の短刀調査は去る二日より博士を實地檢證させ寺内刑事その他總掛りで捜査に當つてゐたが所在判明せず、四日再び滿洲人草刈が拾つて持歸つたのではないかと同方面草刈を軒毎に調べたがそれも判らず一時調査を打切つてゐたが、今日又も高井檢察官、谷川元司法主任は留置場の博士について訊問し六日早朝より馬欄河附近滿洲人草刈と小崗子方面滿人古物商及小盜兒市場を中心に大捜査を命じ沙河口署刑事全部出動兇器大捜査を開始したが午前中には依然不明であつた

善鬼惡鬼（220）

平山蘆江作　刈谷深隍繪

命にかけて（五）

女鹿屋へ入つたおはまは、金太郎を裏のはなれへ待たしておいて、しばらく奥へ入つてゐた。

女鹿屋の表のものも、奥のものも、お濱のする事に、文句をいふものもなく、不審を打つものもなかつた。

尤も、船から上る時、おはまは

「ねえ、金太、鐵五郎の死んだ事を、私たちの口から皆に云つたものだらうか、どうだらうね」と聞いた。

「仰しやつた方が好いと思ひますが」

「でも、それを今いふと、私は當分、あと始末の爲めに、ここへ殘らればならない。殘るのは當然かも知れないが、そんな事で、一日でも二日でも、日をすごすと、樂齋どのゝあの氣性で、又しても、どんな事を仕出來さないとは限らないんだが——」

さう云つて、考へ込んでゐたのだつた。

「それもさうでございますね」

「いつその事、不實のやうだが、けふのところは、默つてゐやうぢやないか。いづれ、一刻か半刻の後には、藤助の方から知らしてくれるにちがひないんだから」

さういふ風の申し合せで、おはまは女鹿屋へ入つたのだから、金太も離れにおはまを待つてゐる間誰にも餘計な事はいはなかつた。

奮惡を持つてゐる鐵五郎が死んだのだから、この事を、家のものに、早々と知らせたら、女鹿屋の身上をお上へ沒收される時機を早める事にもなるんだといふ事が、金太にも判つてゐた。

默つたまゝで、離れで待つてゐる金太の目前に、おはまが現つたのは七つ下りといふ時刻であつた。

あとはすぐに舟は千住の岸を出て、小梅へ一直線に大川を突切りはじめた。

その舟の中で

「金太郎」とおはまが呼んだ。

「お前、いくつにおなりだえ」

「二十一でございます」

「好い若い衆におなりだね」

「へイ」

「お前、これから先どうする氣だえ」

「どうと云つて、別にかはりはございませんが」

「お前さんは覺悟をしておいでの筈だが、お前の父さんはもう長い壽命ぢやあるまい」

「へイ」

「女鹿屋の方だつて、綾瀬の繩張だつて、鐵五郎がなくなつた以上これとても、例の女房殺しの一件で、お上へ沒收になるんだね」

「へイ、大方さうなるでござんせうね」

「そこで、お前はどうするといふのさ」

「へイ、どうと云つて——」

「まさか、その盛りの身體で、意氣地もなく、尾久の里の渡し守になつて了ふのもあんまり藝がないやうだが」

金太は默つてゐた。自分もその事を考へないではなかつたのだ。考へても、これから先の始末はついてゐなかつたのだから、默つてゐるより仕方がなかつた。

「私と一緒に小梅の人になる氣はないかえ」

「ありがたうございます、併し、お邸へ行きましても——」

「なアに、そんな心配には及ばない。知つての通り、樂齋さんだつて、五郎兵衛だつて、あれだけの賣れつこになつておいでだもの、お前一人の出世の道ぐらゐはどうにだつてつくといふものさ」

金太は何となく、ゆく末が明るくなつた氣持だつた。

「實をいふと、私は今、女鹿屋に預かつてあるおこのを見たので、不圖思ひついたのでお前にこんな事をいふ氣になつたんだが、おこのを引取つて、お前と見合はしたら、好い夫婦になるんぢやないかと、まア、そんな事を考へてゐたのだが」

此の話も、金太を嬉しがらせる話にちがひなかつた。

「考へるまでもない事だらう、何もかも私に任せておきなよ」

舟から上り際に、命令のやうに云つた。

一足先に岸へ上つた金太が、さし出した手を兩手でしつかり押へて、ニツコリ笑ひながら

「かういふ風に、何もかも、私へ任せてお置きといふのさ」とニツコリ笑つて見せた。こんな時の顔がぞつとするほど仇つぽいお濱である。

協和會館映畫 『青の光』上映

大連滿鐵社員倶樂部では來る七日午後六時四十分から協和會館で映畫會を開催上映々畫は獨逸ゾーカル山岳映畫「青の光」パ社喜劇映畫「戀愛百科全書」及び前寫しパ社映畫「子供のレヴユー」コロムビア映畫「水兵の夢」で會費四十錢、會員外六十錢である

大劇に篠田實

浪曲篠田實が六、七、八日の三日間大連劇場に出演、得意の「紺屋高尾」を呼びものに入場料は八十錢均一で初日讀物は左の如くである

▲鼠小僧次郎吉、篠田實行▲野狐三次、浪花燕博▲友情の田植 木村友明▲大石内藏之助、東家樂友▲鹽釜の血煙、浪花亭愛吉▲紺屋高尾、寛政力士傳、篠田實

尺八セロ名手鈴木藤枝女史 近く來連協和會館で演奏會を開催

日本女大出身のセリストとして又本邦女流尺八界の名手として令名あり昭和三年セロ研究のため渡歐し巴里のカザール氏その他各國の巨匠に就いて學び殊に尺八と洋樂の結合に成功し時の佛國大統領ヅウメル氏にその妙技を示して絶讃を博し滯歐五年の收穫を得て昨秋歸朝した鈴木藤枝女史は滿鮮演奏行脚の途次、近く來連し協和會館のステージでその妙技を示すことになつた【寫眞は鈴木女史】

滿洲日報
朝夕刊共十二頁
定價 一ケ月金一圓二十錢 一部金五錢 郵稅金十錢
廣告料 普通一行金一圓三十錢 特別一行金二圓六十錢 場所指定二割以上加算
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛
發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社 振替口座大連六〇番

將に火花散らんず 兩雄の鍔競合ひ
墺を挾む伊獨の危機 獨裁者"押し"の活劇

【東京特電六日發】ロンドン來電によればオーストリーを挾んでムツソリーニとヒツトラーの兩獨裁者が睨み合つてゐるが、三日のドルフス首相狙擊事件で獨墺關係の惡化と共にムツソリーニ氏はヒツトラー氏に對し墺國の獨立維持は歐洲平和のため必要だ、若しナチスが武力を用ひることあればイタリーは斷じて默過しないと强硬の警告を發した、これに對しヒツトラーはドイツはオーストリーの保全を損ふ如きことをなしと答へたが、ムツソリーニは滿足せず公式に聲明しなはせと再要求すると共にドイツ國境近く兵備を增加してデモを行ふなど極めて强硬である(カリカチユアは上ムツソリーニ氏、下ヒツトラー氏)

日米戰爭論は新聞が作り上げた
ス海軍長官語る

【ホノルル六日發國通】ハワイ視察の米海軍省スワンソン長官は新聞記者に對し左の如く語る

若し米國とアジアの一國が戰爭する場合在米のその國民が正しい行動をすれば充分保護するが變な事をすれば斷乎たる處置をとるべし、日米戰爭は新聞がでつち上げたものだ、然し余は世界平和のため眞珠灣軍港に全米艦隊を收容出來るやうに擴張したいが財政が今の所許さぬ

石井子首相と會談

【東京特電六日發】歸朝せる石井菊次郎子は直に首相、外相に會議の經過を報告すると共にアメリカ訪問の際ルーズヴエルト大統領との會見の結果に基く日米仲裁々判條約締結の急務を進言すると解せらるゝが、廣田外相も兩國の安全關係を確立すべき基準の必要を感じて居るので日米安全協定問題が又再燃する情勢にあるが政府の議が決定する迄にはなほ多少の曲折を免れないと見られてゐる

石井全權談

【東京六日發國通】本日入京した石井全權は左の如く語る

日米關係は良くないやうだが兩國民がどんな問題が前途にあつても戰爭はやらぬとの建前を以つて進めば國交の改善は出來ると思ふ、僕個人の考へでは日米仲裁々判條約等もその一方法だらう、ヨーロツパ等ではこんなに不景氣では太平洋に戰爭でもあつてくれゝばよい、其の間に兩國關係の市場を奪取しようと云ふやうなことを望んでゐる國が澤山あるが我等は他國に乘ぜられぬやうにせねばならぬ

移民割當反對 米の鄕軍大會

【シカゴ五日發國通】目下開會中の米國在鄕軍人團年次全國大會は五日の本會議でソウエート聯邦承認反對決議案を熱狂的場裡に可決し更に東洋移民割當制度を適用すべしとの勸告案を否決した

最後まで對抗
張北鐵副局長の聲明

【ハルビン六日發國通】北鐵の張明哲副管理局長は六日午前九時督辦公署に於いて目下紛糾をつゞけつゝある管理局處長代理問題に關し談話の形式で左の如く發表した

今回の滿蘇間の紛爭は蘇聯側が業務規定に反し不當なる處長代理を任命し滿洲國側當然の善後措置を妨害したるによつて生じた事件である、余は問題發生するや當面の責任者として直ちにルデイ局長に對し蘇聯側の不法行爲の撤回を要求したがルデイ局長はこれを拒否してゐる、而して蘇聯側は財務處を閉鎖して王所長代理の事務開始を妨害してゐるので滿洲國側も機務處を閉じてこれに酬いてゐる、これ等の蘇聯側の不法にして規定慣例に悖る行爲は何時迄續くかは當方の知るところではないが副管理局長以下管理局の業務規定に從つて最後迄蘇聯側に對抗して行く考へである

勞働爭議調停制度を改善し勞働爭議の激化を防止する

北鐵監事更迭

【ハルビン六日發國通】目下モスクワに歸朝中のベルシン北鐵監事はモスクワにて辭意を表明したので蘇聯政府は之が後任として前奉天北鐵商業代辨所支配人コロソフ氏を任命せる旨五日駐哈蘇聯領事館を經て北鐵監事會に通知があつた、今回の北鐵蘇聯側監事の更迭に關し五日滿洲側に通達ありコロソフ氏は正式に監事に就任した

戰車聯隊の在營年限 二ケ年に決定

【東京六日發國通】六日の定例閣議で陸軍兵種變更の件に關する勅令が決定されたが右は今回の兵備改善により戰車聯隊が增設されたゝめこれに關する規定であつて戰車隊在營年限は他の特科隊と同樣二ケ年である

惡宣傳

【北平五日發國通】世界の各國殊にソウエート・ロシアにおいては日本が內蒙、北支を滿洲國に併合し黃河以北を獨立せしめるとの企圖があり、而して支那軍不侵入地帶の匪賊團乃至方、吉聯合軍はこれが手先となつて動いてゐるとの惡宣傳をなしてゐるが、右につきわが北平武官は荒唐不稽もこゝに至つては噴飯にたへないと前提して北支言論界に左の如く語る

侵略と搾取以外に何物もなかつた連中には、日本の行動及び精神を理解させることは到底出來ない、日本は支那及び支那人が孫文の遺訓の如く速に內亂を止め近代的國家を統一せられることを切望する、これがため日本は出來る限りの援助を吝まぬ、何となれば東洋の平和はこゝに招來するものと考へる、滿洲國問題についても興ふるに時日を以てすれば自然解決するは、敢て躊躇を要せず、現在黃河以北の獨立說の如き寧ろ意外とする處である、北支における支那軍閥ルンペン中にはかゝる計畫をなし暗に日本の援助を申出、馮の如き、方振武の如き、又舊東北軍のあるもの、如きも、確かにこの部類に屬する、日本は斯くの如き時局を紛糾せしめるものを斷乎排擊したることは事實の上において明白である、今後と雖もこの種の行動あれば既定方針に基き破邪の寶劍を下すに敢て躊躇するものではない

方、吉軍 協定線を犯し皇軍に爆擊さる

【北平特電六日發】方振武、吉鴻昌の聯合軍七千は勢力を盛返し四日夜溫山に迫り中央軍を擊破し頗る優勢であるが、更に進んで停戰協定線を犯せるため日本軍飛行機より爆擊を受け相當損害を蒙つた模樣である

經濟會議休會後 世界經濟の情勢
深井全權談 反孤立經濟論

【東京六日發國通】六日歸京した深井全權は經濟會議後の世界經濟の情勢に關し更に左の如く語つた

會議後の世界各國の態度變化として特に著しいことは各國とも其の自主的態度を露骨にして來たことである、卽ち會議前又は會議當初に於ける世界經濟不況の爲と云ふ高遠の理想をたて各國互助の一般的協定を結ぶと云ふが如きことは結局實現の取極めを議するのみで徒らに議論倒れとなつて何等の實効なきものである事が今回の會議の唯一最大の體驗として殘された、今後特殊問題に關する關係相互間のみに特殊協定を以て進むより外道なしと云ふことを各國共自覺するに至り孤立的自足經濟が現下の世界經濟にあつては結局不利を齎すべき事は旣に議論の餘地のないことであると云ふ事は各國共諒解はしてゐる、實際に於て其の方針で會議後二、三關係國相互間のみの協定成立の例を見得るのだ、而して斯くの如きことが今後當面の世界經濟に處する各國對外經濟政策の歸趨とすれば當然一國內の經濟統制實現の急務なることが痛感さるゝもので自分の廻つて來たイタリー、ドイツなどは旣に此點充分擧國一致の努力を續けて居り相當の成果を收めてゐる樣に見受けられた、我國の如きも此の點今後大いに研究努力すべきものと思ふ

コムミユニケ

【シムラ五日發國通】第五次日印シラム會商後次の如きコムミユニケが發表された

第五次日印會商は五日午前七時より開會次の問題に對して審議を遂げた、卽ち第一に日本側が年々印棉最低量を買ひ付けるとの協定の下に日本綿製品の輸入量割當決定と印棉輸出との關聯せしむることが出來るか否かを檢討次いで他の日本商品の輸入に對し割當制度を適用する可能性を審議したこの點に關聯して日本代表部は各種商品類の保護に關する印度政廳の眞意に就き或種の質問を提出した、最後に會議は將來に於いて締結さるべき協定中に爲替浮動の影響に就き規定を設ける事を得るや否やを審議した次回は七日午前十一時より開會の筈である

此儘永引けば越年の外なし
序幕既に停頓懸念
シムラ會商

【シムラ六日發國通】五日の會議で日本代表が印度側のかねて計畫の輸出割當制に正面より反對せるため次回までに何等か妥協點發見されれば日印會商は一時停頓の止むなきに至るかと見られて來たが、會議もまだ序幕に過ぎず數量問題すら協議してゐない現狀だから結局本月中に目鼻がつかれば來月十三日から印度政治會議開催される故其の間會議は休む外なく早くとも本年一杯、惡くすると年を越すかと見られてゐる

議會は六日印棉買付量決定案を主題として續開される筈だが日本代表の根本方針が微動だもしない以上紛糾を免れず容易に意見一致を見ない模樣である

シムラ會商と民間協議會 不可分となる

【シムラ六日發國通】我民間代表團としては會商の核心なる關稅引下げに觸れぬ限り印度代表の提案は絕對に蹴飛ばす意氣込みで五日午前の會商で印棉買付量決定案は一旦日印民間協議會に移牒されることゝなり從來表面上政府會商とは無關係に非公式會議の扱ひを受けて來た民間協議會は玆に始めて公式にシムラ會商と不可分の關係を有するに至り會商の成否を支配する重要な地步を占ることとなつた

六日の協議會

【シムラ六日發國通】日印民間協

五相會議
きのふ開く

【東京六日發國通】政府は明年度豫算編成期日切迫し來つたに鑑み之に先立ち確固たる外交國防の國策と財政との調和を至急決定しおく必要あるに對し三日の閣議散會後五大臣會議を開き協議することゝあつたが、六日は閣議が十一時過ぎ散會したので齋藤首相、高橋藏相、荒木陸相、大角海相、廣田外相の五大臣は改めて午後一時より首相官邸に會合し第二回の五大臣會議を開催、先づ高橋藏相より第一回會議に於ける荒木陸相、大角海相、廣田外相の外交國防國策に就いての說明に對する財政の現狀並に大藏事務當局の意向を說明したる後、外交國防國策の遂行と財政の調整に關し隔意無き意見の交換を行つた、右の結果五大臣の意見は漸次接近しつゝあるので同問題に就き遠からず具體案が確立される模樣である

好轉せば增錘
紡聯關東側の態度

【東京六日發國通】關東側紡聯では明年一月以降操短率に對する意向はシムラ會商の情勢がまだ混沌としてゐるので今少し推移を見て方針を決定すべく靜觀して居り同會商の成行が惡化するが如き場合は明年一二月の先約出來なくても現狀通り押して操短緩和は困難とならうが若し會商が好轉するか或ひは輸出團が現狀を維持出來る見込みある場合は現在尙品不足を續けてゐる有樣だから多少の增錘を必要とする意見が有力である

內滿夜間飛行 一寸待て!
來月一日實施疑問

【東京特電六日發】內地と鮮滿間の航空路を短縮すべき夜間飛行が十一月一日より開始の豫定のところ、此程試驗飛行の結果事故續出しなほ充分のテストと設備が完成せねば實施困難といふ意見が有力となつた、卽ち照明設備氣象通報の完備大阪飛行場の移轉改造等が必要とされ十一月一日からの實施は疑問視されてゐる

官公營事業を開放し失業防止を圖る
閣議報告 社會政策具體案

【東京六日發國通】本日閣議に報告された社會政策の具體案左の如くである

失業防止と救濟施設の擴充を圖る件

一、職業紹介機關の整備を圖り機能を發揮せしめ官公營事業の失業防止への轉用
二、土木事業の起工を獎勵し失業救濟施設を助成す
三、智識階級の失業防止と就職難緩和の爲教育制度の刷新を行ふ
四、勞働者解雇の場合失業中の生活を保證する施設を考慮する
五、移植民の獎勵、疾病の豫防と救護施設の普及

以上の外

一、健康保險制度を擴張し工場鑛山外の勞働者も包含する事
二、中小商工業者、農民、給料生活者に對する疾病保險制度創設を考慮す
三、醫師の在せぬ農漁山村に公費による醫師の設置を獎勵する防貧、救貧、施設の擴充、現行施設で救濟し得ざる生活困窮者に公費を以て生活救助、勞資關係改善及び勞働者保護施設の促進

見送りませう 高田部隊凱旋
けふ午後五時羽後丸出帆

黎明熱河斷描 (六)
島田特派員記 山口特派員撮影

法燈再び輝く
荒廢の僧房に再興の日來り 政治工作に重大影響

熱河には寺院が非常に多い、部落で大きな建築物といへば必ず寺院である、夥しい數の山鳩が巢をつくつてゐるラマの白塔の下、松柏等が鬱蒼としてゐるラマ寺の境內に入つて行くと、あるかなきかの風に佛殿の扉を飾る風鈴がチリリとかすかな音をたて、コロロン〳〵と響く轉經の音がこれに和してゐる、これが熱河であるが故に一層淋しさを感じさせられる……

或る意味における新戰場熱河省、ここに靜かに搖ぐ法燈の灯影は、人の心にひし〳〵と迫る幽邃さを深く感じさせずにはおかない、記者達は一日承德北郊の普陀羅廟の僧房を訪れたのであつたが、紫の煙靜かに上る薄暗い室で一人の老僧が次の如く語つた

▽……△

舊清朝時代、一山一寺に百餘の僧が居た、當時は法燈の輝きもあざやかに、住民も安らかな月日を送つてゐたが、舊軍閥の壓迫は清淨の寺院までも荒し、寺寶は片つ端から持ち出され、財物は不如意となつて僧侶はその日〳〵に喘ぐ慘な有樣であつた見られる如く寺廟の廣大な建物も荒れるにまかせて昔の豪華の夢を留めるのみ、このまゝ續くなれば法燈は全く光りを失ふかと思はれたのであつたが、幸ひに王道光り輝いて漸く萬民と共に寺廟も更生し得たのだ……

その僧は更に軍閥壓政の一例として、湯玉麟の如きは普陀羅寺の本尊たる幾萬金に價する四丈餘の大佛譜を、僅か四十元をなげ出して持ち去つたと物語つてゐたが、その昔落花深き處に南朝を說いた吉野の僧と、今法燈搖れる僧房に軍閥の壓政を憤り王道を謳歌する熱河の僧との間に、一脈相通するものを感じさせられたのであつた

▽……△

熱河省內の宗敎は佛敎、回敎、喇嘛敎、耶蘇敎、道敎、在裡敎、薩滿敎等、相當種類は多いが、この內佛敎は今殆ど見るべきものなく回敎も極く一部に信仰されてゐるだけである、白蓮敎の一派である在裡敎及び薩滿敎に至つては更に信者が少く、現在の熱河で最も普遍的なものは喇嘛敎である、然しこの喇嘛敎も大體において蒙古人間に奉じられてゐたため、舊軍閥當時は非常な壓迫を受け、僧房に居た幾千の喇嘛僧も現在では殆どかぞへるばかりに減じてゐる、廣大な大喇嘛殿に十人位づゝ殘つてゐる喇嘛僧の姿はもう疲れ切つてゐるかの如く見え非常に哀れを覺えさせるが、省政府はこれを保護し、月々幾らかの給料と寺廟の維持費を與へてゐる、喇嘛僧がこの新省政府を如何に喜び迎へてゐるかは想像ができやう、道敎は喇嘛敎についで盛んで、主として漢人系の省民に信仰されてゐるが、これも同樣に省政府の保護を受け再び昔日の隆盛をとりかへさうとしてゐる

▽……△

ここに注意すべきは耶蘇敎である、耶蘇敎は舊軍閥當時、他の宗敎が日々衰微しつゝあつた當時においても、ひそりその勢力を日一日と扶植して行つたのであつた、何故なれば耶蘇敎は何れも外人、殊に英國人、ベルギー人等の手によつて布敎されてゐるので多分に植民政策が含まれてゐるため、經費はどし〳〵本國より送られ、敎會の外に或ひは學校を建て、孤兒院をたて、又療病院を設置して全部無料で省民を收容したため、當然人心を集め得てその勢力を伸ばしたのであつた、現在熱河省に布敎されてゐるのは新舊の二敎で、新敎は英國人の手に、舊敎はベルギー及びオランダ人の手で據められてゐる、耶蘇敎による敎育機關は初等、高等小學及び神學校の三階級で初等は各分敎會內に、高等は朝陽、平泉等に、又神學校は朝陽の南方六十キロの松樹咀子に置かれてゐるが、松樹咀子には二十名近い英人が約四百の神學生を敎へ導いてゐるとのことである、熱河全省における耶蘇敎信徒の數は頗る大きな數字を現すものと見られ、この勢力は將來熱河の政治工作において注意すべきものゝ一つとして非常に重大視されてゐる程である(寫眞は平泉の關帝廟)

辯護士會に入會拒否權なし
靑柳辯護士問題論爭

六日ヤマトホテルに於いて開催された關東州辯護士會臨時總會において小野辯護士より緊急動議として靑柳辯護士入會拒否問題に絡む關東長官より通達されたる「關東州辯護士會の決議は無效とす」の命令書への反駁案が提出されたが討議約一時間にして遂に纏まらず殺氣立つ騷ぎに五泉議長より一週間內に繼續總會を開催することを宣し當日は散會した、小野辯護士の動議に對する田村辯護士の所見は「關東州辯護士會に入會拒否權ありとする理論的根據なし」といふにあり木原辯護士もまたこれに同じ五十村辯護士はまた反駁の無效果を說き齋藤辯護士は純理論より反對、論爭收拾すべからざるに至つたので當日は一先づ打切ることゝなつたのである

辯護士會總會 きのふホテルで

關東州辯護士大會臨時總會は、六日午後四時から大連ヤマトホテルにおいて開催されたが、五泉會長以下二十名出席の下に議事に入り入會金(五十圓)の件を決議し次に木原辯護士等より提出された臨時議案

第一號 滿洲國內に於ける日本國臣民の有する登錄濟商標、擁護に關する件
第二號 滿洲國商標の登錄出願代理に關する件

につき討議した、提案に就いて木原辯護士より說明あり滿洲國商標法は日本で登錄され商標を優先的に認めないことは不當であるから商工會議所と並行し辯護士會としても滿洲國實業部に陳情することゝなつた、次に例の靑柳辯護士入會拒否問題に對する討議に入つたが別項の如く紛糾を極め遂に議纏まらず五時四十五分散會した

人絹代表神戶發

【神戶六日發國通】シムラ會商人絹代表藤井松四郞、小野三郞兩氏は五日鹿島丸でシムラに向つた

社說　特產低落の對策こその統制

滿洲にも豐年飢饉が襲つて來た。世界的商品である大豆の豐作が、忽ち安値を招び連日の暴落振りで、この分では農村は極度の打擊を免れまいと憂慮されてゐる。豐作が忽ち安値を伴ふ覿面の影響は、恰も日本の米の如き狀勢であるが、米は不作で高値の場合には商工界が打擊を受け高低どちらでも困る。滿洲の大豆は其所迄深刻でないけれども、その價格の高下が非常に重大なる經濟的影響のある事情は、日本の米と生糸とを兼ねたるが如くである。故に此の低落は唯り農村だけの問題でなく、滿洲經濟全體に關するものとして、大に考慮すべき案件であらねばならぬ。

◇

尤も特產暴落の理由は、豐作ばかりでなく、南北支那への輸出減、金融の不良及び獨逸の大豆關稅引上に依る對歐輸出の減少等が擧げられる。支那への輸出減は、滿支關係が恰も經濟的交戰狀態にある現狀に於て已むを得ないが、金融問題は銀高に依る買控へ氣配と共に、銀貨國たる滿洲に於て當然の現象である。周圍の諸國が金貨幣國で通貨價値が安く、滿洲國が支那と共に銀貨幣價値が高いのだから輸出は當然不利益を免れぬ。特產が輸出品の殆んど全部である滿洲は、貿易上損な立場に在るのだ。恰も爲替高の國が爲替安の國の商品に壓倒さるゝ如く、貿易關係が逆調を誘ふことになるので、之を現幣制の下に直に展開しやうとするは無理だ。時機を待つ外途がない。

◇

次に獨逸の關稅高も氣勢を殺ぐ原因となつてゐるが、元來大豆の對歐輸出は、大豆油が歐洲の植物油市場へ割込んだ關係に在るので、餘程警戒を要すべき事情がある。當面に於ては獨逸の關稅問題だけであるけれども、これ等の世界的關係は、將來に亘りて愼重に攻究されねばならぬ。畢竟大豆が世界的商品として立ち行くか否かの問題であるが、約二割の增收によりて忽ち商勢が崩れ、農商界に甚大なる打擊を與へることは餘程考へさせられる問題である。殊に中央銀行の特產解消に依り、自由開放の新局面を展開した特產界の第一聲が此くの如くであるから頗る皮肉な事象を與へたものと云へる。

◇

滿洲國實業部のこれが對策としては、傳へられた如く特產の倉積みを初め農村金融、輸出關稅引下、運賃低減等が擧げられてゐる。爲替關係と同一の金銀比價に依る買控へは、主として邦商の間に行はれるだらうから倉積みの方法が立てば、その賣却には暫く時機を待つのも一方法である。勿論これに伴ふ金融を必要とするから、當局は農政上の考慮を拂へるもの〻如く、農村金融を掲げてゐるが、日本の生糸の如く、特產商の手に渡つたもの、特種も何れは湧起する問題であらう。又關稅引下と運賃低減は特產を商品として價値づける最も數字的な方法で、特に運賃低減は市場價の生產コストを引下げる具體的手段である。故にこれ等の方法が徹底すれば、其の效果的であることは疑ひを容れぬ。

◇

蓋し特產問題が如上の事態に逢着する時機の來ることは、吾人は一再ならず指摘した所であるが、豐作の上に上記の諸事由が加はり、その時機は案外早く到來した。而してこれに處する方法は、農政上のみならず、商工政策の立場から、特產の自由放任を許さず、適當の指導と統制とを加ふるにあることが、如實に立證されたのである。上記の實業部の對策は、即ち當面の統制を行ふものであるが、これを徹底するためには、結局日本の米穀法の如く、又蠶絲法の如く、金融を伴ふ一種の統制法が生れるであらうことが想像される。吾人は徒らなる統制を好むものではないが、內外經濟界の複雜なる衝擊は、遂に自由開放を許さぬ現實の事態に逢着したことを思ふものである。

滿鐵經濟調査會の本據を何處に　新京移轉案立消か

滿鐵經濟調査會の新京移轉が問題となつてゐることは屢報のごとくであるが、いよ〳〵十月も中旬に近く新京の經調用社宅も完成し更に中央における關東軍特務部の改造問題も絡んで經濟調査會問題が再び論議されるに至つた、即ち經調は關東軍の北遷に伴ひ當然新京に進出する筈で職制上よりは新京に本據を置いて居るが社宅や事務所がなきために一時大連に大部分の委員及び調査員が駐在してゐた、しかるに今春來經調用として九十餘戶の社宅を建築中だつたので今秋は當然全員新京に進出すべきであるが、最近に至つて滿鐵社內に經調は大連に本據を置いてこそ完全に機能を發揮し得べく又經調があらゆる資料を新京に持ち去れば滿鐵自體も困惑すべしとの意見が有力となり、これが大勢を制せんとする勢ひを示してゐる、しかし經調は單に滿鐵の機關でなく軍と滿鐵との共同的機關なので軍の意向も酌まねばならず殊に軍の特務部擴大強化論には經調を新京に進出せしめて之を完全なスタッフとせんとするものだけに經調北遷が沙汰止みとならんか軍と滿鐵との間にデリケートな感情を發生せしむる處もあり從つて滿鐵の最高幹部も本問題に對しては極めて愼重な態度を示してゐる然るに最近に至り滿鐵內部において經調自體の擴大強化論が有力となりつゝあり、組織そのものを改造すると共に日滿經濟ブロックの眞の指導者たる使命を果すべく東京にも幹事と相當數の調査員を駐在せしめ現在の二幹事制(現在大連と新京に幹事駐在す)を三幹事制に改め大連を本據として新京と東京に羽翼を張るべしと唱道されるに至つた、しかして本據をいづれに置くにせよ經調が大連、新京及び東京の三箇所に幹事を置き充實した陣容を以て今後の滿洲の經濟開發に寄與せんとするは既定の事實と見られ、こゝに一時的非常時的機關であつた經調は半永久的平時的機關として更生せんとしてゐる

鐵路總局警務廳　新に陣容を整ふ

【奉天電話】鐵道愛護村の建設など外廓運動とする鐵路總局警務廳では鐵路警備の完璧を期する計畫の下に熟練せる關東廳出身の故參警察官約百名を新に採用したが、總局警務廳の統制下に奉天、チチハル、ハルビン、吉林の四ケ所の各路局管內に警務處を設置し奉天は奉山、瀋海、吉林は吉長、吉敦、敦圖、チチハルは洮昂、齊克、洮索、ハルビンは呼海、拉濱を四平街には警務科を設けて四洮、打通線を各擔任し即時鐵路の安全を計るとともに警務、防務、監察の各科を設くることになり警務科に警視級の人物を、總務科に軍出身者を任命し各路局に警部級の警務科長を配置して路警員の人事その他一切の內面的事務を執らしめ防務科長には軍出身者を配して鐵道保護の任に當らしめる方針で六日奉山線には淸水科長が任命され有田警務處長と總部警務主任は新任挨拶と紹介のため奉山線路局に向つたが各總警務廳の人事行政も近く決定する筈であり目下警務廳の服務規律と各科の人物詮衡を急いでゐる

燃料費の嵩む滿洲　加俸減は不可能　奉天で　大場警務局長談

【奉天電話】菱刈軍司令官に新任の挨拶を述べ、關東廳出張所の事務關係を視察した大場警務局長は語る

新京には現在篠原秘書官が在留し事務官の課長が交代して出張する外局長としても亦時に事務聯絡のため出張せねばならぬといふこともないので當分は現狀で行くが軍司令部もあり大使館もあるので今後はできるだけ事務聯絡の圓滑を計れやうと考へてゐる

關東廳警察官 も全滿各地の領事館に約一千名派遣なすることゝなり、中七百餘名は既に開始したがその外恩給法の改正で個人としても胸算用から退職する者もあり、或は滿洲國に或は鐵路總局に轉出するので多少人心は動搖をしたが先づ人心の安定といふことが先決問題で一つ活を入れて行く必要を認めてゐる、警察官の配置方面から觀察すると奉天が全面的に中心とはなつたがそのため人事行政上の關係から警務課を奉天に移すかどうかは今のところでは滿鐵として考へてならぬ、併し警察官の活動狀況から言へば奉天はやはり中心として考慮せねばならぬと思ふ

在外官吏加俸 を廢止するといふ意見は兩三年前にも傳へられたが、滿洲の現狀に在る我が警察官は加俸の點から言ふと何等かの率が好さそうにも思はれるが其割合に內地の俸給に比べて俸給額の昇給が遲く結局恩給の點になると非常に率が惡いから加俸を撤廢する譯には行くまい、特に生活費として內地よりは餘分の燃料なども要することであり待遇關係については寧ろ昔より率が惡くなつてゐるのでこれ以上の加俸を撤廢することは出來ない、大藏省としては節費も要することだから何とか補給策を考へるかは知らぬが、警察官では一律には行かない、今後の警察事務については滿警警察の充實といふことは滿洲においても將來力を加へねばならぬと思つてゐる、なほ全滿各地へ派遣の警察官に對する豫算は

出張旅費其他 手當等を考へて一名一千圓を要し一千名の人員とすれば約百萬圓の豫算を要するが外務省としても官舍その他の負擔は支出されるものと目下折衝中だ、何分着任早々のことであるから各地の情況をよく調査し大いに改革したいと考へてゐる

と局長は六日午後十時四十分發列車で歸旅した

再燃せる米國の蘇聯承認論　(上)　贊否兩論の根據

アメリカのソウエート聯邦承認說が再燃してゐる、一部では急迫せる極東方面の勢力關係に善處するためとの噂もあるが、然し今春承認が問題になつた當時と同様最近日を逐うて緊密化しつゝある兩國間の經濟關係を更に實質化せんためと見る方が妥當である。

×

ソウエート聯邦が五ケ年計畫を開始して以來多額の商品がアメリカより輸出された、殊に本年からは第二次五ケ年計畫が開始されて引續き各種アメリカ品の輸出される可能性は益々多くなりつゝある之等が承認論を再燃させた根本原因である、然し貿易を促進させるために何故ソウエート聯邦の承認を必要とするか、ソウエート聯邦は周知の如く貿易國營を斷行してゐる、ロシアには一人の貿易商も一軒の取次店もない、貿易は總て蘇聯國駐在通商代表部との直取引である、而してアメリカは未だロシアを承認してゐないから、この取引にアメリカ政府は表面干與しない、アメリカ商人は結局ロシア政府といふ漠然たる商人を相手に取引しなければならず、これは不便でもあり、不安でもある、一方現在迄の對露貿易の實際の經驗によると變態な貿易關係にあり乍ら長期のクレヂットを設定しない限り取引が殆ど出來ない、而もアメリカ商人中には誰一人かゝるクレヂットを自力で設定して取引し得るものはゐない、大體右の如き事情から、兩國間貿易の促進には政府がロシアを承認して對露取引を補償するなり何なりしなければならぬといふことになつたのである

×

勿論アメリカ國內に於いては承認に就いては贊否區々であつてその危險性を說く者も可成り多い、然し贊成論者は次の如く述べて承認不可論の根據なき所を指摘してゐる――

ロシアが輸入決濟のためロシア商品を殊に法外の安値で輸出し、ためにアメリカ市場を攪亂するに至らんとの危惧があるが、之は一片の杞憂に過ぎない、蓋しロシアから送られる商品は毛皮、獸皮、藥用植物、麻等の類でアメリカ品と競爭的地位に立つべきものは殆どないからである。

又ロシアを承認するためにはロシアが帝政時代及ケレンスキー時代に殘した債務を支拂つてからでなければならぬと說く者があるが、若しさうすればフランス、ベルギー、支那、トルコ等の承認を取消さねばならず、之は何等根據のない理論である。更に彼等は嘗て一九〇五年に當時のルーズヴエルト大統領がポーツマス會議を開いて日露間を斡旋したこと及び一九二一年のロシア大飢饉の際救濟局長たりしフーヴア氏がその救濟に乘り出したこと等を擧げて因緣の淺からぬことを說き、單なる政治的立場よりするロシア排斥を一蹴してゐる。

×

次に承認反對論者の意見を聞かう――

ロシアは貿易を國營してゐる從つてその貿易政策は人民の福祉の增進と云ふよりは國家政策と言ふ立場から左右される、その結果ロシアは現在國內工業化に必要なものゝみを買取つてゐる、從つて今後建設が一段落すれば自足自給狀態となり、最早や外國品を必要とせなくなるであらう。

ロシアは輸入に對してはクレヂットによつてゐるが現金は支拂はない、之に反し輸出は全部現金の支拂を要求する、この手に乘つた國にイタリーがある、イタリーは二年間に二千九百萬弗のロシア品を輸入しその殆ど全部を現金で支拂つた、一方ロシアへ輸出した代金一千四百萬ドルは九ケ月乃至十二ケ月と言ふクレヂットである、然るにイタリー銀行はそのクレヂット手形に對する割引をせぬことに決したゝめ、今に至るもイタリーの商人連はそのクレヂット手形を抱へて弱つてゐる。

ソウエート聯邦は亦輸出入の均衡に腐心して居り、その辻褄を合せるため屢々廉價な原料品のダムピングを行ふから取引國の市場は混亂させられる、かゝる狀態では到底通商關係を保持して行くことは出來ない。

ロシア市場は元來生產財の買込先であつて消費商品の買込先ではない、而してアメリカの輸出すべき生產財は例へば工業機械に就て見ても各種消費商品の合成物である、一方ロシア政府は自國產の消費商品を強制的獨占的に國內市場で賣却してゐるかゝる現狀にあるに拘はらずアメリカ商品が果してロシア市場に有效に割込み得るであらうか

ロシアは第一次五ケ年計畫では專ら機械の輸入を行つたが、第二次計畫の開始された今年からは主として輕工業用商品を求めてゐるとはロシア市場が何等恒久性を有するものでないことを示すものである。

滿洲への投資、移民　日本內地の滿洲認識はまだ淺い　岡喜七郎氏來滿談

【奉天電話】伯爵樺山愛輔氏を團長とする貴族院の滿洲視察團一行は安奉線で六日午後二時到着、驛貴賓室で休憩の後粟野所長、鎌田驛長の見送裡に三時新京に向つたが岡喜七郎氏は語る

何の目的で來たといふ使命は有つてならぬが各地において軍部を始め滿鐵その他民間代表者の意見を聽いて今後の研究に對する對策を自ら考へてみたいと思つてゐる、移民問題にしてもさう多數の人が一時に殺到しても不可能である、この施設も考へて見ればならず滿洲景氣で飛び出した者が旅館にゴロついて遂には日本に引揚げるやうな狀態では駄目であるから根本策を研究する必要がある、投資するにしても何が好いかさへ內地では未だはつきり分つてならぬ狀態で、その他各種の問題についても容易に素通りしただけでは分らぬが、實情に照らして對策を講じたいと思つてゐる、何れ新京からハルビン方面を視察し十四、五日頃には奉天へ着し二十日頃大連へ着くつもりであると一同は元氣よく出發した

大村監督部長

關東軍交通監督部長大村卓一氏は十日夜着急行にて來連、十一日は滿鐵各重役と鐵道問題について協議を遂げ十二日出帆はるびん丸で東京に赴く豫定

"滿洲の鐵道"を政府に說明　山崎理事七日上京

滿鐵山崎理事は委任經營鐵道問題說明のため七日出帆のばいかる丸で上京するが、六日午後重役室で語る

鐵道問題だけで他に用事は無い佛國投資團の問題もまだドリザイエ氏と副總裁とが會つてゐないから政府に持つて行くまでには行つてゐない、滿鐵の組織の改造問題なども全然話も聞いてゐないしまたあつたとしてもそれ程の大問題なら正副總裁が上京されるだらう、村上理事も上京したいとかの話であつたし、交通監督部の大村部長も十二日に上京するが自分の仕事とは關係は無い、要するに鐵道問題の現狀を政府に說明し向ふの樣子も見て來やうといふのが用件で約二週間東京に滯在する

臺灣油田　試掘奬勵

【東京六日發國通】拓務省では據て臺灣總督府と協力して臺灣油田開發を目指して臺灣全島に亘つて試掘中の所この程世界の石油層中九十五パーセントを占める背斜面が臺灣には四十四條(一條の深さは二里乃至三里)あるを發見したのみならず內地最近の試掘成功率が九十一本に對し一本であるに臺灣では二十四本に對し五本といふ驚異的記錄を見るに至つたので來年度より大規模の試掘奬勵を斷行するに決し拓務省及び臺灣當局間に六日より具體的協議が行はれた鑛區として主なるものは錦水であるが噴出著るしく一億立方呎平均を噴出し一晝夜の最大噴出量三億立方呎のレコードを有してゐる

十月十六日附　滿鐵社員登格

滿鐵では鐵道省からの新社員採用を機に滿鐵全體に亘つて現社員の大々的登格を行ふが六日その登格方針も決定を見、重役の決裁も得たので七日各部に向つてそれぞれ登格候補者を至急總務部人事課に報告するやう通達することゝなつた、登格人員は全く未定で發表の時期も相當に遲れる模樣であるが登格日附は各部共遡及して一律に十月十六日附を以てすることになつてゐる

卸賣物價騰勢

【東京六日發國通】日本銀行調査に依れば前月一分二厘低落せる卸賣物價は本月に入り騰勢を示し調査品目五十六品中低落したるもの十六品なるに對し騰貴したるもの二十七品にして總平均指數は前年に比し一分三厘方騰貴した

滿鐵社債シンヂケート團

【東京六日發國通】滿鐵の招待に應じ滿洲各地視察に決定せる同社債シンヂケート團賓來(興銀)瀨下(三菱)最上(正金)氏等の一行は滿鐵の貝塚參事の案內にて六日午後九時二十五分東京驛發七日神戶出帆のハルビン丸で渡滿することゝなつた

關東廳辭令(六日)

正六位新里朝明、正七位勳七等兒玉丙三、須田鐵市、米村甚太郞、野村隆治郞、有井博基、中村幸兵衞、片桐壽八、多田榮、横井武夫、中川周作、井之上香藏、樋詰勉、從七位勳七等金丸勳、堀井長三郞、荒井芳太郞　敍勳六等授瑞寶章(各通)　正七位勳八等岩本宗太郞、國時英雄、從七位勳八等增田隆治、重信二郞、松永博學、林幹二、矢口淸藏、佐々木伊久三郞　敍勳七等授瑞寶章(各通)　長谷忠二、鈴木惠四郞　敍勳八等授瑞寶章(各通)

救療所增設　關東廳新事業

關東廳衞生課では阿片癮者救療所を設置すべく計畫を進めてゐたが奉天にも設置する必要を生じ既設の大連を擴張すると共に明年度より開設される事となつた、大連市久壽街にある救療所は從來地方費を以て支辨されてゐたものだが明年度よりは國費に改め國家直接の救療所となるわけで病室數も增加し五十名のベットを設備する豫定で職員も醫官一名、醫員二名、藥劑師二名、書記二名、其他雇員等二十名の多數になり貧困にして治療の出來ない者を無料で救療する譯で相當の成績を收めるものと見てゐる、なほ奉天は元警察署跡を改築し救療所に當てる事に大體決定職員從事員も大連と同數である

人事

▲田邊敏行氏(大タク重役)七時三十分着はとにて歸連

▲九里淸藏氏(埠頭事務所庶務長)同上新任着連

▲長谷川乙彥氏(東京青山學院々長)同上來連遼東ホテル投宿

▲坂西利八郞氏(貴族院議員陸軍中將)六日入港青島丸にて來連

▲石井成一氏(滿鐵上海事務所長)同上來連

▲大淵三樹氏(滿鐵理事)六日午後四時二十分發列車にて新京へ

▲河本大作氏(同)同上

▲アール・エー・メー氏(日本ゼネラルモータース專務)來連挨拶のため六日午後本社訪問

▲加藤直士氏(同社專務輔佐)同上

小觀　大觀

日印會商に、印度側は日本の要求せる關稅引下には觸れずして日本に對する要求だけを主張す▲經濟困難な場合には、顧みて他をいふのは國際談判の定石だ▲滿蘇の北鐵會商でも、蘇側は滿國の要求するループル換算率には觸れず、別の問題で引延ばす▲かくて、二つの會商共に未だ山は見えぬわけだが、さう手つとり早く運ばぬことは始めから覺悟せねばならぬ▲米國勞働總同盟全國大會、ドイツ商品を全米から驅逐せよと決議す▲ナチスの勞働團體彈壓に對する報復だが、ナチスの荒い鼻息には歐洲諸國にも反感漸く高まつて來た▲ヒットラーの內外八つあたりには、國內でも疑惧の念を懷くものがあるとの事、ムッソリーニの始めの用意周到とはやり口が違ふ樣だ▲米國在鄕軍人團大會、ソ聯承認反對、東洋移民割當制度否認を決議す▲初代のアフガニスタン公使來る、同國は日本を理解し、日本品を歡迎すると明言してゐる、東の光追々と西に及ぶ▲臺灣石油試掘好成績とは耳寄りの話――。

添本日廳報及附錄

八相

驛の小荷物　迷惑生

◇小生宅へは每日內地より第三種郵便物が來る樣になつて居る、初め郵便で來て居たのを驛の方が一日速いので變更したが一月も事故なしに來た事がなく二三日遲れて來たり全然送つた荷物が着かぬ時もある。

◇こんな時間合せても要領を得ぬ返事許りだ、何とか確實な方法に出來ぬものか、先日は他所の荷物を渡された時もあるし、異つた人が調べたら有る時などあり、驛員の不注意の程察せられる。

◇又先日新聞で改正になつた事を問合せると知らぬ沿線の人も同樣だつた、新聞に出て居る事を告げられて初めて調べ直して宜しいと云ふ、荷物を引取に行くと少し大きい荷物なら赤帽を驅へと云ひ、出しに行くと秤にかけさせたり卸させたり丸で驛助手扱ひだ。

◇以上は支那人が小僧だから皆ぶつ〳〵云ひながらも早く片附け度いために手傳つて居るがつまり驛員の緊張が缺け事變のためでもあらうが事務に馴れて居ないのと手不足も感じられる。

◇鐵道に確に品物が到着する樣驛員を訓練すると同時に働く人員を增す必要があらう。

罪の原因を除け　平凡生

◇兒玉夫人の不倫事件に對する世間の批評が種々喧しいやうだが吾々の周圍を見る時これに類似した問題は決して少くはない。倫理學の公式に依つて批判する前に吾々は實際問題として自己の生活を見やう。

◇概して人は他人が罪に墮ちる途上に於ては却てこれを喜び、甚だしきに至つてはこれに拍車をかけてやり、一度彼が罪に陷れば今迄の態度を豹變して酷評を浴びせかける事が多い。

◇吾々は罪を極度に憎みながらも罪の素因たる酒やダンスやその他の遊び事を友人、後輩に勸める事においては人後に落ちない寧ろそれはより深い友情とさへ考へられてゐる。

◇上役や先輩や年長者はこの點をよく考へて戴きたい。眞に隣人のためを思ふならば、彼が罪に墮ちる機會を出來るだけ少くしてやり、不幸にして彼が罪に走つたならば、酷評よりも寧ろ愛と慰めの言葉を以て彼を正しい悔改めに導き、更生の道を講じてやるべきではなからうか。

◇世の批評者よ、罪の機會を除去する事においては嚴にして、罪を責める事においては寬容たれ

復縣鹽田視察

滿洲の鹽田開發に復縣は最も重要な意義を有してゐるが滿鐵および關東廳では共同してこれが基本調査を行ふことになり調査團一行は六日大連發五、六日の豫定で現地に赴いた、なほ一行中滿鐵よりの參加者は奧村業務課長、世良審査役、石井經調々査員、小谷囑託その他數氏である

井上司令官

【奉天電話】高粱刈取後も依然として匪賊の逃避所として討伐隊を惱ましてゐる遼河流域の蘆原地帶を中心とする四角地帶の匪賊討伐の徹底を期するため本年より斷然右蘆を刈取ることになつた、しかしてこれが視察のため井上獨立守備隊司令官は省警備司令部滿良少將同伴六日午前八時五十分發列車で營口に向つた

市況(六日)

株式　東新株强調　五品續騰

東新後場強調を入れ當市の五品二三十錢高、東新は一二圓高と續騰した

後場　◇定期(單位十錢)　◇延取引　[illegible]

特產　賣物薄に大豆昂騰

後場の定期は大豆は品薄を眺め賣物薄く昂騰を示し、豆粕は閑散乍ら大豆に伴ひ強調を辿り、豆油は乘替の外買氣薄に軟調を呈し、高粱は大豆高を眺め強調を辿つた

◇定期後場(銀建)　▲大豆(昂騰)單位厘　出來高百七十車　▲普通大豆　出來不申　▲豆粕(強調)單位厘　出來高六千枚　▲豆油(軟調)單位錢　出來高二千箱　▲高粱(強調)單位厘　出來高二十二車　▲包米　出來不申　[illegible]

◇現物後場(銀建)　混保大豆(袋込)(裸物)　寄付四一八〇　大引四二二〇　出來高三十車　普通大豆(袋込)(裸物)　出來不申　豆粕　一二〇〇　一二〇〇　出來高二千枚　豆油　出來不申　高粱　出來不申　包米　出來不申

錢鈔　鈔票軟調　材料薄乍ら

後場材料薄ながら弱人氣で三四十錢安と軟調を辿つた

◇定期後場(單位錢)　寄付　高値　安値　大引　期近　[illegible]　出來高期近　六十五萬圓

◇現物後場(單位錢)　銀對金　銀對洋　金對洋　[illegible]　出來高(銀對金九萬四千圓　銀對洋九千圓)

商品

商品後場　出來不申

奥地市況

品目	限月		
▲奉天國幣對金票	現物	一〇六、八〇	一〇六、八〇
	先限	九三、五五	九三、四〇
▲開原國幣對金票	現物	一〇六、八〇	一〇六、八〇
▲新京國幣對金票	現物	一〇六、七〇	一〇六、七〇
▲哈爾濱國幣對金票	現物	一〇六、九〇	一〇六、八〇
▲安東鎭平銀	先限	一、四七二	一、四七二
▲哈爾濱大豆	十月	五七〇〇	五七〇〇
	十一月	五五〇〇	五五〇〇
	十二月	五六〇〇	五六〇〇
▲哈爾濱小麥	十月	七五五〇	七五五〇
	十一月	九八二五	九八二五
	十二月	九九二五	九九二五
▲新京大豆	十月	一〇、三〇〇	—
▲新京高粱	十月	三、四〇〇	—

市場電報

神戶特產　東京株式(長期)　東京株式(短期)　大阪株式(長期)　大阪株式(短期)　大阪期米　神戶期米　東京期米　大阪綿糸　横濱生糸　[illegible]

家庭

女性の求人が多い 變つた現象

九月就職戰線風景

幾久屋デパート出現が描く

内地の深刻な就職難から失業群は日と共に増加する一方で如何なる對策も此の津浪のやうな群列を押し止める力がない、斯うして

逼迫 した經濟生活の重壓に苦しむ失業者達はいたづらに認識不足の風説にさらはれ一攫千金を夢みて渡滿し豫期に反した滿洲の實情に驚て一人々々この劇甚な生存戰線上から落伍し或は職業紹介所に……簡易宿泊所に……或は社會事業協會にその疲れた身體を持ち込んで行くといふ有樣である殊に事變以來

沿線 諸都市の人口の激増と各種社會問題の發生とは遂に滿鐵王國を動かし沿線各地に方面委員制度を設けこの物凄い失業群を救ひ出さうとする計畫案をまで産むに至つたが一體この滿洲の玄關ともいふべき大連市の本年の就職率は……としらべてみると大連市の職業紹介所本年一月から九月迄の

	男	女	計
求人	五七六	五〇一	一〇七七
求職	一六八〇	三八二	二〇六八
就職	二八七	二〇五	四九六

未定ではあるがこの中の大部分は現在

新築 中の幾久屋デパートの店員希望者であり、それに次いで多いのは、僕婢、外交集金人、配達人等であるが配達人の就職は殆ど支那人がしめてゐる、この統計は勿論一例に過ぎないが明白に深刻な就職難を反映してゐる、更に九月中における統計を覗いてみると

	男	女	計
求人	一九三	二〇八	四〇一
求職	七八七	二三〇	一〇一七
就職	三六	一二二	一五八

（但し幾久屋デパートの就職者未定）

で特に女性の求人が多いのは新築デパートの關係であるが、大體において女性の求人の多いことは内地に

比較 して變つた現象でその大部分は内地から來た人が多いとのことである【大連市職業紹介所調】

キャンプ生活を家庭に延長せよ

大連少年團を去る

〝生みの親〟阿左見福馬先生

大連少年團創立以來十年間を此の事業のため盡力された大連常盤小學校の阿左見福馬先生は今度同校をお退きになり滿洲國の童子團のためお盡しになる事になりましたので先生をお訪れしてその尊い經驗談を伺つてみました。

十年前の創立當時は社會の人達から隨分白眼視されましたが最近は漸くその内容を理解されるやうになつて來たので嬉しく思つてゐます、この

長い十年間 に兒童を取扱つて感じた事はキャンプ生活中兒童が非常に作業を歡び、御飯炊、薪の焚き方、お菜の作り方などを各自で出來るやうになり、然も日常生活が正確になることです、兒童達はキャンプ生活によつて社會訓練をうける最もよき機會が與へられます、大連の兒童に勤勞教育の必要が最近教育者間に旺に叫ばれますが私はこの様なキャンプ生活のよいチャンスを逃さず家庭の人が注意して之れを家庭にまで延長して戴きましたら

餘程效果を 擧げる事ができると思ひます、充分基礎を築かないで大連を去る事を大へん殘念に思ひますが大連も早創立以來十年も經過してゐるのです、これからは少年團出身者が中心となつてこれを充實させ立派なものとされる事を希ひ、同時に日滿兒童の提携の速かに來ることを希望してゐます。（寫眞は阿左見先生）

可愛い運動會

大連幼稚園では五日午前九時から同園々庭で秋季運動會を催しました、可愛い孃ちやんや坊ちやんが嬉々として走り廻る姿にお母さん達まで大喜びです【寫眞は（上）同園庭における運動會（下）面白いおんぶ競走】

男子冬服のモード

今冬から……1934年にかけての殿方の〝冬服界〟を覗いてみませう

色調は茶・鼠系統が中心

◆スタイル…上着は衿が廣目になり、折返しの下部に圓味を持たせ襟先がピンと劍襟になり技巧的怒り肩が今年はおとなしく自然の肩通りに戻りました、袖は細目に締り加減で長目となり腰はピッタリ、胴の中央も矢張り締り加減で丈は長目、釦はシングルの三ツ釦で中釦一つをかけるだけが粋好みとされてゐます。

◆チヨツキ…胸開きが心持ち狹く丈は短くなつてゐます、釦はシーク好みの人には六つ普通五つ

◆ズボン…膝上のあたりから裾に行くに從つて細くなつてラッパズボンはノック・アウトされて來ました、腰廻りは餘裕をとつて前に襞二筋位を入れ股上は思ひ切つて丈を長くし極端なのは胸のあたりまでになりました。

◆生地…やはりラフな感のするもので手觸りの柔かいウーステッドツウイド、ホームスパンが一般に歡迎されてゐます

◆色調…茶が先づ中心で日本人向きとして特に茶と同等に鼠系統がもてはやされてゐますが、この冬から一九三四年にかけての主調色となるものは例によつてプリンス・オヴ・ウエルス好みのフレッシユな濃緑が世界的に支配してゐます。

◆オヴア…チエスター型でウエルス殿下お好みのスタイルがやはり流行の中心となつてゐます

◆お値段…背廣國産で三十五圓―六十圓、オヴア三十五圓―九十圓、舶來品背廣五十圓―百二、三十圓、オヴア五十圓―二百五十圓位（大連連鎖街勝又洋服店調）

お手入れ 臺所用具の

日常使用されて居ります數々のお臺所用品はその取扱方によつて不衛生にも不經濟にもなるものでして、主婦は女中まかせにせず自身色々の注意をしなければなりません。毎日繰り返し使用される食器類を始め、すべての用具は夫々に相當した御手入れを施される事が肝要でございます。

お皿とお茶碗類

お皿やお碗は、お茶湯の中へ粉石鹸にソーダを少し溶し入れ、柔かいへちまの束子などでよく内外を洗ひ、も一度上からお湯をかけあとをよく水すゝぎします。又油氣のものや魚肉類を盛つたあとのお皿は、一旦新聞紙などで油を拭き取つてから石鹸水か米のとぎ水で洗ふときれいになります。又湯呑茶碗などについた茶澁は鹽をつけてキユツキユツと磨くときれいに落ちますが又一晩ソーダの水につけて置いて洗ふと更にきれいになります。たゞしあとの方法は金泥の使つてあるものなどでは、はげるおそれがあります。

ガラス食器

少し位の汚れは食鹽をつけて洗ふときれいになりますが、全體が曇つてゐるやうなのはソーダ液か灰汁で煮洗ひをするときれいになります。煮るには水から入れ、すつかり冷めるまでそのまゝにして置いて取出す事、またコップや瓶などを洗ふには玉子の殻をくだいて入れ、微温湯を中分位入れてよく振りますと隅々まできれいになります。またお豆腐のおからに水を混ぜて入れ振り動かして洗つてもよい。またコップなどは乾いた布巾で一旦拭いてから更にデパートの洋食器部などに賣つてゐるラスターといふ瓶布巾できゆつ/\と拭くと艶が出て美しくなります

卓上日誌

▲旅順公學堂 七日午前八時同校々庭で秋季運動會開催、なほ兒童作品展も開く

けふのおめでた

▲中島洋海（二八）聖德街二丁目一七六（滿鐵社員）齋藤スミエ（二三）清水町一丁目三ノ八媒介人菊池夫妻、小川夫妻 ▲春日寛一（二五）光風臺一九（會社員）橋本シズ子（二〇）旅順高千穗町媒介人八丁夫妻（以上七日大連神社）

家庭顧問

腹と脊中に赤い痣が……

【問】本年三十三歳の男子ですが昨年の春頃から今日までに腹部に六個、背部に五個、大腿部に二個の小さな赤色の痣が出來ましたが、癩病の血統でもあるのではないでせうか、愚妻にも本年になつてから腹部に二個ほど出來て來ました、傳染でもしたのでせうか

?時々顏面や身體の各部に一名ニキビか水痘のやうな小さな小豆大の紅い吹出物がでます、小さいのはアセモ大位で化膿する事もあります、放つておきましても痛痒も感ぜず自然に治ります、顏面には脂肪が多うございます、これは既に三ケ年間繼續してなります、今年四月大連市の某博士に血液檢査をして頂きましたが何の疾患もないと申されました、この原因と治療法をお敎へ下さいませ（一讀者）

恐らく癩病ではないと思ふ

【答】恐らく癩病ではないと思ひますが左様懸念されるのでしたら専門家の診斷を仰ぎなさい、殊に皮膚病は充分診見しなければ文書の上では確答が出來ません（辻慶太郎）

星ケ浦

前島いづみ

晝高き日を照り返しきらゝめく遠波に見ゆ三つの大岩。

寄せかへす波足繁く水ぎは立ちてさし潮すらし濁るなぎさ邊。

分館寄りの堆かき石積逍遙ふに傷みて堪へず皮靴の先。

子にまじり白き濱石拾ひ居り海面ゆ絶えせぬ潮鳴りの音。

驟雨の一しきり晴れて青々しリンクの空を急ぎ行く雲。

ラヂオ

大連 JQAK 十月七日

▲午前六時 ラヂオ體操第二 ▲午前六時卅分 ラヂオ體操第一 ▲午前十一時 相場（錢鈔、特産株式、各地相場） ▲午後零時十分 相場（錢鈔、特産、株式、各地相場、公設市場値段）ニュース ▲午後三時三十分 相場（錢鈔、特産、株式、各地相場）ニュース ▲午後六時 ニュース ▲午後六時三十分 子供の時間（一）コドモノシンブン（二）童話「羅菊と雲雀」竹田幸雄 ▲絃樂四重奏 第一ヴアイオリン岩熊來志、第二ヴアイオリン川口養之助、ヴイオラ簗瀨成一、セロ大森喜久男 ▲小夜樂（モツアルト作）第一樂章アレグロ、第二樂章アンダンテ（ロマンツア）、第三樂章アレグレツト（メヌエツト）第四樂章アレグロ（ロンド） ▲常磐津「關の扉」淨瑠璃常磐津正三津、同大榛さし松、三味線常磐津正惠、同大榛さめ ▲常磐津「三世相十萬億土」淨瑠璃常磐津二佐太夫、同常磐津三春太夫、三味線常磐津正惠 ▲職業紹介事項 ▲ニュース ▲氣象通報

東京 JOAK 十月七日

▲午後五時（子供の時間）うたとオーケストラ（大阪より中繼）（一）獨唱（山下照子、伴奏金森愛子）イ、子守歌（堀内敬三作詞、ブラームス作曲）ロ、うぐひす（三木露風作詞、光りの會作曲）ハ、子鳩の歌（野口雨情作詞、山田耕作曲）ニ、うづら（北原白秋作詞、山田耕作曲）ホ、山椒の木（野口雨情作詞、平岡均之作曲）へ、青い小鳥（川路柳虹作詞、山田耕作曲）ト、むかし噺（北原白秋作詞、山田耕作曲）ニ、オーケストラ（大阪ラヂオ・オーケストラ指揮福喜多鎭雄）喜歌劇「天國と地獄」序曲（オツフエンバック作曲）▲午後五時二十五分趣味講座「落首から見た世相」小柴値一 ▲午後六時三十分時事解說、經濟學博士太田正孝 ▲午後七時二絃琴（一）四季の今樣（唄藤舍蘆染、二絃琴藤舍蘆水、蘆鳳、蘆天津、蘆信）（二）布袋（唄藤舍蘆水、二絃琴藤舍蘆信、蘆天津、蘆鳳）▲午後七時二十分祭り囃子笛（鈴木五郎）太鼓（白倉留五郎、同毛利錠太郎）原田鈍太郎）鉦（根岸子之助）▲午後七時三十五分小唄（一）つがもねえ（二）ゆこか戻ろか（三）晩に忍ばゝ（四）きせる羽織（五）君こすば（六）うから/\ ▲午後七時五十分「映畫物語」モナ・リザの失踪」仙石雷峡、伴奏指揮宇賀神味津男

社選 新棋戰（六六）

先六段 △石井秀吉
平手 六段 ▲石原勇吉

【圖は三九飛迄の局面】△石井氏持駒飛桂歩

△六八玉 ▲一九飛成 △八二飛 ▲五二香 △八一飛成 ▲二八龍 △六七玉 ▲二五龍 △九一龍 ▲三六歩 △四五歩 ▲同銀 △四六歩 ▲三四銀 △四五桂 ▲同銀 △同歩 ▲六五桂 △四四桂 ▲五七桂成 累計九十六手

土居八段講評 石井君は敵が入玉に努めた際、少しも焦らず桂香を手にいれその武器を利用して四筋より攻勢を採つたのは場なれた指しぶりである。

萩原七段解說 石井氏の六八玉は五九歩と打つてもよいがこの樣な局面では玉が上つて行く程安全になるので六八玉と指したのである、石原氏の五二香は四三玉では六一馬と指されて悪い、石井氏の八一飛成は一旦三三歩とならで同銀、同桂と取り然る後に八一飛と成る方が得であるが、手順に玉を安全な方に移す意味で態と二八龍と引かしたのである、續いて九一龍は三三香打と二九香打の順があるので駒得を圖つたのである、石原氏の三六歩は敵に四五歩と取られ三七桂打があるのでそれを消しつゝ入玉を圖る意味で、續いて四五同銀は四三金と逃げると七三馬と寄られて悪いのである。

第廿九回 滿日特選碁戰

先々先番 四段 中川新
三段 渡邊英夫

解說 白非勢なれば百二十二で百四十二にツイで戰ふべきであるが優勢と見ての悠々振り、黑としては却つて此の方がいやである 白百二十八なども落着いたものである 黑百二十九と足を揃つて行つたが、百三十五までさしたる事もなく此處で白が百三十六で（い）と用心して了つたならば、恐らくそれ迄のものであらう

—【7】—

滿日各地版

カフエー飲食店の許可區域制限

許可は寛大に、制限範圍は擴大 奉天署の新方針決定

【奉天】人口增加に伴ふ大奉天の發展振りは目ざましいものがあるが殊にカフエー飲食店の如きは雨後の筍の如く各所に現れ常に其の尖端を切つて居る從來奉天附屬地内に於けるカフエー飲食店等に對しては關東廳に於て病院學校教會からは二丁以上離れて居なければ許可されぬ事に規定されこの原則に對し特別の事情あれば許可される除外例を認めた事も多く殆ど原則に從つて來たがそれでは國際都市を誇る大奉天の發展上大いに考慮すべき點があるので奉天署では滿鐵當局と交渉し新に都市計畫を樹立し從來の原則を緩和すると共に新にカフエー、飲食店の許可區域制限を設けた、卽ち奉天館附近住吉町六番地、琴平町五番地平安座附近にはカフエー、飲食店の營業許可願が出れば奉天署は事情調査の上大なる支障のない限り許可すると同時にこれまでカフエー、飲食店とも不許可區域となつてゐる春日町富士町浪速通のほか千代田通も許可されない事となつた

撫順地方委員當選者決定

五日最後のヘビー戰

【撫順】ドタン場に來て立候補を宣した瀬戸辰五郎氏によつて定員一名超過となつた撫順の地委戰は俄然戰線に異狀を來たし、最後のヘビー戰が展開されたが、遂に戰爭の日、五日は來た、昨日まで各所に散在してゐた旗幟鮮かな立看板がけふは投票所の公會堂前に總動員されズラリと立ちならんでゐる、各候補者の選擧事務所も全部こゝに引つ越し、野外陣營を張つて實に物々しい、投票開始の定刻八時まへから早くも投票者がつめかけた、けふのトップを切つて先づ第一着に淸き一票を投じたのは福田洋行の御主人、仙太郎さんであつた、後から後からと押しかける投票者でまたたく間に投票場前には淸き一票が一票、二票、數十票とズラリ立往生してしまふ、拔け目のない運動員は投票場前に頑張つて來る人ごとに特製のデッカイ候補者の名刺をピヨコンと顋をさげて渡してゐる、正午になると炭礦方面からはバスで淸き一票を大量生產にかり出して來た、まさに混戰である、一票でもより多きを望む各候補者の顏は極度に緊張してゐる、斯くて時間はいよいよ切迫し、締切りの午後四時三分前撫順驛長が淸き一票をのがしてはとあたふたと驅けつけた、まさに四時、合圖の振鈴によつて撫順區地方委員選擧の投票は打ち切られた、その結果、投票數三四七一票、棄權數四五四票、非常な好成績であつた、なほ引續き、午後五時より勝つたか、負けたか、候補者の運命を決定する開票が愈々始まり結局左の如く當選者決定した

五二四 白石竹一
三八八 菅野誠
三〇二 松本猶藏
二八二 前島昇一
二五七 椋梨哲治
二三一 荒賀直彦
二一八 守屋剛二
二〇一 寺西圭之
一九二 瀬戸辰五郎
一五六 松本軍平
一三三 瀬田修逸
一二八 蜂谷文平
一一五 松井佐兵衛
九三 荻野萬次郎
八九 坂木吉三郎
五四 新井三喜男
三七 河瀬留一
三三 飛島井埔他郎
次點

熊岳城地委選擧當選者

【熊岳城】熊岳城に於ける地方委員の選擧戰の結果左の如し

得票數 氏名
二八票 大宮市助(新)
二八票 渡邊柳藏(新)
二五票 岡島貞(舊)
二五票 鷲野鷲雄(舊)
二三票 山下喜兵衛
二二票 高瀬川
次點者一四票 藏山

鞍山の强盜

【鞍山】三日午後六時頃昭和製鋼所王家保子採礦所苦力宿舍王德春方に拳銃所持の二名組强盜闖入、驚く家人を尻目にかけながら同家の支那式長銃一挺彈丸四十發を强奪したる上長男永勳(一〇)を拉致裏山に麻繩でしばりつけて回贖金五百圓を要求したので王德春は我子可愛さに泣いて引渡方歎願したが回贖金を持參せねば斷じて應ぜずとその儘奥地へ連行せんとするので止むなく五百圓を調達漸く奪還したと

匪賊の減少

内外人共に驚嘆 杉村公使奉天で語る

【奉天】來滿以來各地を視察しつゝある杉村陽太郎公使は五日來奉し午後五時半領事館で記者團と會見左の如く語つた

新京にしばらく滯在中飛行機で間島、富錦、ハルビン方面を視察したが治安の確立は非常なもので御當人の日本人でさへこんなに早く

匪賊

が少くなるとは思つて居なかつた事だらう、來滿の外人等も出合ふ毎に口を揃へて感心して居る、今度の事變に對しては聯盟内に二つの流れがあつた、一つは日本の行動を飽迄びれらうとするもので他は黄色人種の住む東洋に植民地を持ち日本と結ぶことによつて其の利益を得て居るため調停的だつた諸國である、ライヒマン等は前者に屬するものだ、所謂近代國家としての面目を整へて居ない支那は、よく世界の政治問題の發生地となる、只かうした國に手を借すライヒマン等に對しては今度も出合つて特に日本側に誤解を持たせない樣に働きなさいと忠告する考へで居る、然し列强は現に非常時で

支那

に投資する樣な餘力はない位だ、たとへ投資するとしてもそれを政治的に利用せぬ樣にしたいものだ、歐洲における二つの流行は英佛の如き現狀維持派と獨伊の如き新興の意氣ある現狀打破を主張する流れだ、斯くて國内問題に忙殺されて居る狀態で歐洲流に極東問題を解決しやうとする者も今は殆んどない、ドーズ氏等も極東の問題は日本以外處理し得る國はない只日本は後指を指されない樣にやればいゝのだと云つて居る、實力が解決するのだ、ブリアン氏等も當事者間のみで解決することを望んで居た、軍縮問題等は今は早勝れた新興民族と老衰せる

民族

の調和を主眼とせぬ限り餘り問題にならんね

と大正六年頃廣田、有田、赤塚等の諸氏と奉天で問題の二十一ケ條條約の施行細則を協議した當時の面白い追憶談に花を咲かせながら會見を終つた、なほ同氏は七日午前十時二十五分發奉山線で支那に向ふ

北鮮鐵道沿線素描 (3)

北鮮交通の樞要地

約束する上三峰の發展

△**會寧驛** 中島驛より十三粁餘にして會寧峠につく日滿の國境を劃する豆滿江は市街の西北を貫流し數丁の距離にあり、西南一帶は約四里平方の平野にして市街は鰲山の南方斜面に展開してゐる、古來北邊六鎭の一に數へられ國境防備の要衝にして交通機關の發達と共に間島地方との通商貿易上にも重きをなしてゐる附近の地下には約三億噸の無盡の炭層を埋藏し咸北、遊仙等の有名な諸炭礦からは良質の石炭を搬出し、又奥地より流下する多くの木材は當地に陸揚集散せられ製材工業も盛んで市況頗に活氣を呈して居る、三千六百四十六戸(内地人六百九十六戸)一萬七千七百二十六人(内地人二千六百五十四人)の一都邑をなし官衙其他等一通り備はつて居る

附近に名所多く會寧城趾は李朝世宗の時鎭を置き土城を築きしが後中宗の時石城に改築したものので今は城壁の一部を殘存す、驛より南約三丁(バス、人力車の便あり)の地點に顯忠碑がある、文祿の役後加藤淸正は長驅この會寧迄軍を進めた時の府使鞠景仁は臨海、順和の二王と其從者を捕へて淸正の軍門に降り更に自分に敵意あるものを殺さんとしたので中世後等の八烈士は義兵を擧げて鞠景仁を斬殺した、碑はこの次第を錄したもので三百年前の建立である、驛の西四里雲頭山上にある五國城趾は周圍一萬七千餘尺の城壁で今を距る八百餘年前女眞族の建設にかゝり西北の二邊は豆滿江に臨む要害の地で今尚城壁を殘してゐる、土產物に陶器會寧燒がある、優雅の色彩を有する燒物で花瓶、壺、菓子器等を始めとして多種多樣の器物產出され年產二萬圓に達して居る

◇……◇

△**金生驛** 往時は間島對岸との交通頻繁にして穀取引も盛んなりしが昔日の俤なく只僅かに冬期に於て日用雜貨の取引あるのみ附近には竹浦、弓心と云ふ兩炭礦がある、驛より數丁の山上に白泉寺がある朝鮮古來の寺院で風致に富み每春擧行さるゝ祭典には善男善女の參詣數萬を以て數へられ盛大を極むる程である、更に驛の對岸にある間島富士は富士山に酷似せるためかく呼び加藤淸正が名付けたと云ひ傳へらる

△**高嶺鎭驛** 背に山を負ひ前面は豆滿江に臨んだ人家二百七十餘戸の一寒村で附近には往時豆滿江の氾濫を防ぐ爲めに大石を積上げて築いた榑水臺と稱する城壁樣の防水堤が一部殘存して珍重がられてゐる

◇……◇

△**鶴浦驛** 江岸に面する人家百戸ばかりの小村で見るべきものがない

△**新田驛** 豆滿江は附近では曲折極まりなく兩岸に屹立して迫る谿間を鐵道と並行して走つてゐる、人家乏しい一僻村に過ぎないが間島大蒜洞と極めて接近せる地點にあるので警備の要地として知らる

△**間坪驛** 全く山間の一小部落で驛員の居ない簡易驛である

◇……◇

△**上三峰驛** 上三峰は元、豆滿江畔の一農村であつたが大正九年圖們鐵道の開通によつて奥地間島地方との交通の衝路となり更に對岸開山屯より龍井、延吉に天圖鐵道の開通するあり、昭和二年には國際鐵橋の架設等あつて益々來往客多く繁盛を來すに至つた、現在人家約七百戸人口三千三百餘人を擁する都邑となつた、然も待望久しかりし敦圖線は完成し朝陽川より分岐して龍井を經て上三峰に來るところの所謂南廻線の廣軌に改築中で近く同完成の曉は新京と淸津、京城方面とを繫ぐ交通の要點となるので軍事上商取引にも今後益々重きをなすもので十月一日より滿鐵經營北鮮鐵道の南側國境驛である

名所として烽燧臺がある、往時當地方の住民が附近の山に三個の烽燧臺を設け女眞族の侵寇に備へたるにより三峰の名も之に因み付けられたと云ふ、現在驛の東北約十町の山上に其趾跡歷然として殘されてあるのを見ることが出來る、更に國際鐵橋は間島と北鮮を繋ぐため延長一千五十五呎の橋で人道、軌道の通行に便し日安合辦の出資により朝鮮總督府鐵道局に於て架橋したものである(京城支局發)

宿屋は超滿員

匪襲は一度もなし 拓けゆく熱河朝陽

【錦州】朝陽警察分署の中川署長は事務打合せの爲め三日來錦したが朝陽事情に就いて左の如く語る

朝陽は目下邦人戸數二百四十戸人口約八百名である、その内譯はカフエー、そば屋、おでん屋飲食店が十八軒、料理店が十六軒、雜貨店が六軒、宿屋が四軒運送屋が四軒、その他理髮屋、電氣器具販賣、自轉車附屬品販賣、自動車屋、御用商人、その他で女給や女中が百六十名、藝酌婦が百四十名、料理屋の揚高九月中で二萬四千圓である、宿屋は何時も超滿員といふ盛況ぶりであるが先月の中頃からは稍々落目になつた模樣である、それでも之れ等接客業者は今まで相當儲けてゐる、物價は奉天値段と比較し甚だしいのは二十割も三十割も高いが平均して七、八割は高い樣である、警備狀態は高田旅團が引き揚げても第〇師團の川原旅團がその後に移駐して來たので完全に治安が保たれ附近には相當匪賊も多い樣だが朝陽には一回も襲つて來ない

增加する在鄕軍人

滿洲を舞臺に働かうと 奉天では既に四千八百人突破

【奉天】奉天署管内における在鄕軍人は毎月二百名乃至は三百名も增加し本月一日調査によればその數昨年の同月に比し千七百餘名も增加し實に四千八百四十名に達してゐるが、之等の在鄕軍人は二十五歳から三十四、五歳までの最も元氣盛りのものが最も多く、又その殆どが滿洲を舞臺に活躍せんとする意氣に燃え憧れの滿洲にやつて來たもので、そのうちには滿洲各地を討匪、警備に東奔西走し重任を果して滿期除隊となり更に滿洲に足をとゞめて活躍せんとするものも亦尠くない、そして又武裝移民團と共に佳木斯まで赴いたが餘りにも人里離れた邊境ではとても働けないと逃げ出して奉天に留まり就職口を探してゐるものも三十餘名ある

かうして來奉する在鄕軍人は職を求め適當な處がなければ他に移るといつた徑路を常に辿つてゐるのでその移動數は他所に比し奉天が最高位を占め本年一月から九ケ月だけでも五千五百五十名に及んでゐる、かやうに多數轉出入する在鄕軍人の屆書の整理をする奉天署兵事係りでは菊池警部、村岡氏等が毎日轉手古舞で、殊に無屆のまゝ轉出入するものゝ多いのには整理も出來ないとコボしてゐる

一方在鄕軍人聯合分會でもこれ等來滿者に對し出來るだけ助勢をなし就職の斡旋に努めてゐるがその成績は良好で何れも感謝してゐる……奉天の景氣の一現象を如實に物語つてゐる

正義の名に隱れ不法に捕縛

滿洲正義團員の不祥事

【奉天】「王道のもとに正義の大道を踏む」……をモットーのもとに生れた大滿洲正義團員が黨をたのんで立黨の主旨「正義」に反した不良團員によつて滿洲正義團の名を穢す不詳事件が續出し要路者をして顰蹙せしめてゐる事件があり奉天總領事館警察署高等係ではこの程來秘密裡に活動を開始し目下關係者を引致取調べ中であるが右は市内松島町十二番地居住の佐賀縣生れ遠藤宗一郞(四一)はかねて工業區北市場廿六番地において正義團員たる滿人等に名義を貸し阿片密賣に從事してゐたが最近該名義料不拂及び滿人等が同人名義宅で賭博を開帳するのでこれに反對せる關係から暗鬪を續け滿人は幸ひ正義團員なるを奇貨としてこれを近くの正義團第八支部長于海沈(四七)に申出で援助を依賴し、これとは知らず遠藤は二十四日朝十時ごろ自宅より前記秘密營業所に至り戸を開けんとしたところ既に同家は表裏共に正義團員のため釘付けとなつて居り、之れを開かんとしたところ團員劉文彦(三二)外一名が現はれ遠藤を支部事務所に連行せんとしたため遠藤は身の危險を感じ一日附近の久保田某方に避難し同人と共に再び現場に向つたところ今度は于支部長自ら六名の團員を引率して來り脅迫暴行を加へんとしたので久保田は自宅に逃げ歸り遠藤はその場で團員のため取り卷かれた有より兩手兩足を取られ無理矢理に客馬車に舁ぎ込み車上で更に麻繩をもつて後手に縛し上げ馬車を連れて城内小北門裡の正義團本部に運び入れしかも支部長等は本部の一丁ほど手前で遠藤の縛を解き「この日本人が正義團員を捕へて故意に喧嘩を賣り銃を揮つて暴行した」と報告し同本部では之が解決を城内の〇〇隊に依賴した同隊では團員等の虚言で單なる喧嘩と推定し嚴重戒告をなして双方を引き取らせたが偶々領警高等係にてこれが眞相を聞き込み去る二十六日以來活動を續け取調べた結果漸く右事實が明瞭となり正義團將來のため徹底的調査を遂げ近く滿洲國へ引渡し嚴重處分する筈で目下同署では支部長于海沈外五名を留置取調中である、右につき同署高等係では

彼等滿洲人は正義團に入れば當然かゝる行爲をなしてもよいと考へて居り斯樣な越權行爲に對しては將來もあり斷乎たる處置に出でる筈である

安奉線の信號所竣工

【安東】安奉線の驛と驛の中間に新設する全線十六ケ所の信號所は目下晝夜兼行工事を急いでゐるが安東保線區管内の老古溝、高力、張家堡子、南于、小家莊、雞冠の六信號所は十一月中に橋梁の架設を竣へ十二月中に線路を敷設し來春三月に全部を完工し四月より使用を開始する豫定であるが全線信號所使用開始の曉には貨物列車の牽引車輛數及び運轉列車數は現在に倍加し複線と同樣の運輸能力を發揮することになつてゐる

錦縣教育視察團

五日内地へ

【錦州】錦縣教育視察團一行八名は五日出發し往復二十八日間の豫定を以つて朝鮮經由東京へ直行し日光、横濱、名古屋、京都、奈良大阪、神戸、別府、阿蘇山、熊本八幡製鐵所等の教育文化施設並びに名所舊跡を視察し十一月二日大連經由歸縣するが一行の顏振れは左の通りである

▲教育局長李子榮▲教育會長劉仙閣▲縣公署總務科長郭瑞周▲縣公署外事秘書妻文濤▲縣督學張淑民▲成德女學校長陶傑人▲凌川縣立女師教務主任晏致中▲中學校長高用章

滿洲市場會社取扱高激增

【奉天】滿洲市場會社の八月中取扱高は八萬六千五百七十一圓餘で七月の七萬九千六百四圓餘に比し六千八百九十六圓餘の增加で前年八月の四萬三千八百十五圓餘に比し四萬二千七百五十六圓餘卽ち五割餘の增加を示して居る、之を事變前の二萬四千六百四十五圓餘に比べれば六萬一千九百二十五圓餘で七割餘の激增振である、なほ本年八月の主要取扱ひ物を示せば

品目	金額
鮮魚介	七二七三七圓一八
鹽干魚	三三五二八、八三
製造品	二〇八、〇一
野菜	六四三三、二四
果實	三六六四、二〇
計	八六五七一、四六

錦州の淸潔施行

【錦州】當地領事館警察署では來る十日より十五日まで淸潔施行期間とし十六日に檢査を行ふと

書館の玄關で阿片自殺未遂

【奉天】市内淸樂町三番地范玉亭(二〇)は兩親の外に妹(一七)と三人暮しで妹は平康里の群仙書館で美玉と名乘り娼妓として稼ぎ僅かに一家を支へてゐる家庭であるが、范は霞町六番地協茂商店で働いてゐた時二十九圓七十錢の借金あり、四日は丁度仲秋節であつたため之が返濟方を要求されて無一文で支拂も出來ず困り切つてゐると協茂商店の店員はその親に請求して出た、之を知つた親は范をしたゝか叱責したので范はスッカリ悲觀し四日午後十一時頃群仙書館玄關で阿片を飲下し自殺を圖つたが、藤田醫院に入院應急手當を加へた結果生命は取止めた、或は親に面當の狂言自殺を企てたものではないかと云はれてゐる

各地片々

◇**營口** 營口旅券査證辨事處に於て九月中取扱たる旅券査證は十八人にして其國籍は白系露一六米國一、諸威一にして之が職業は商人四、汽車夫三、牧師一、工程師一、店員二、保姆一音樂師二、守衛一、無職三で營口入港船數が百十一隻之れを國別にすると滿洲國八、中華民國六二、日本三三英國五、諸威一で總乘客數は一九三二四人で内前記外國人一八、日本人一〇人ある而して前々月に比し非常な減じ方であるが本十月は尚激減するものと見られてゐる

◇**鐵嶺** 鐵嶺神社大鳥居の注文を兼ねて歸省し奥州方面まで視察してゐた鐵嶺商議會頭紀藤義也氏は五日午後四時特急で歸鐵した

◇**鐵嶺** 青年訓練所では今七日午後一時より練兵場において秋季査閲を實施するにつき靑訓後援會員を始め一般多數の參觀を希望すると

◇**鐵嶺** 華道の大家根本如空氏の生花講演會は今七日午後七時より滿鐵クラブに於て開催すると

◇**鐵嶺** 篤志婦人會員四十餘名は五日午前十時より龍首山に於て懇親會を開催し麗らかな天候に惠まれて愉快に一日を過した

◇**鐵嶺** 日滿官民有志の觀月會は東湯道討匪行より凱旋せる布上少佐を始め將校二名の歡迎會を兼ね四日龍首山上に催されたが折惡しく天候不良で月の影も見えず加之大暴風雨に襲はれたがそれでも飲むだけは充分滿足して下山した

◇**普蘭店** 十月五日普蘭店果樹組合支部主催州外果樹園視察團は管内日滿富業者を始め會技補等の參加により七十名の多數に達し民政署藤田氏團長となり三日午前八時普蘭店驛出發瓦房店を二時間程視察し當日は熊岳城一泊下野農園外三四の園を視察四日正午熊岳城驛發車南下午後一時二十八分得利寺驛下車池田農園始め笠原木幡農園等を視察し各自相當の收穫を得て同四時五十分普蘭店驛着解散した

◇**四平街** 滿洲產花卉利用の生花講演講習會が來る十日午前十時より午後三時まで滿鐵倶樂部において開催、午前中は華道一般理論につき講演あり、午後は主として滿洲產花卉を材料として活け方の實習指導をなすと、講師は帝國華道院講師の根本如空氏で這回同院の依囑に依り日本固有の華道を滿洲に於ける日滿人家庭に普及のため派遣せられたる斯界の重鎭である、因に會費は不要であると

◇**公主嶺** 公主嶺公學校秋季陸上大運動會は四日午前八時より同校運動場に於いて盛大に擧行されたが、この日夜來の斷續的降雨にも拘はらず舊十五夜の祝日なので滿人側の來觀者と邦人側の來賓に觀覽席を埋め全男女生の體操及各種競技は日本兒童に見る元氣とスポーツ精神を發揮し校長外職員一同が教授に努力の效果を如實に物語り近年になき好成績をあげ午後四時盛況裡に閉會した

◇**奉天** 新任奉天商業學校長として玉井靜一氏が着任し五日各方面を廳訪挨拶した

◇**金州** 辭表提出中であつた當地警察署警務主任佐藤警部補は今回依願免官となり滿洲國警務關係機關に行くことになつたが三日各方面へ挨拶に廻つた

◇**金州** 當地小學校では七日午前九時から靑年團と聯合で秋季運動會を行ふ事になつた

◇**鞍山** 在鞍イーグル、ハーモニカ、ソサエテー主催軍警慰問音樂會は七日夜小學校講堂に於て開催さるゝが、一般入場者は會費三十錢であると

◇**奉天** 奉天省教育會では來る十五日午前十時から臨時總會を開催し役員の改選その他につき協議決定すると

◇**撫順** 撫順工業實習所では永安臺守備隊下に新築中の校舍及び寄宿舍が竣工したので本月中旬移轉すると

◇**撫順** 奉天駐剳の自動車隊は二十數臺の自動車に將校以下二百二十一名が分乘行軍し三日午後三時半撫順に到着した、二泊し五日離撫すると

鬱勃と燃え揚る"製鋼所氣質"
地元民との密接な關係を持ち 從事員の素質統一

【鞍山】昭和製鋼所は今や工場の建設擴張に事務所の新設に人員の整備に等々來るべき事業開始に對するあらゆる準備が着々として整へてゐるが、一方一億圓といふ巨資の大會社であるのと事業能率は單なる機械力だけで上るものに非ず全從業員の眞劍なる活動に待つものが多いといふことゝは自然工場並に本社所在地たる地元鞍山と密接なる關係を有し殊に製鋼所從事員の氣風素質如何は直に事業能率に影響する所甚大なるに鑑み心ある社員間には早くも右の二大問題に對する製鋼所當局並に製鋼所從事員の善處が切望されてゐる、而して前者地元鞍山に對する第一の試練は過般の當地地方委員選擧に當つてその片鱗を顯はした如く當局も又社員も現在を以つて大鞍山建設時てふ重要時期たるを自覺し製鋼所員の積極的活動をなすことを以てその任務なりとし折角活動を期待されてゐる次第であるが後者製鋼所從業員の精神的方面については其の根本を重大使命を持つ昭和製鋼所從事員たると置くとともに鞍山の公民として明なる存在を示すべしとし今より漸次この意味に於ける製鋼所社風をもり立てやがて明年度より大々的に增員さるゝ今後の新入社員を加へることにより眞の昭和製鋼所氣質を完成せんことに志してゐるが、創設の需要期を控へ目下全機能をあげて採炭增加に努めてゐる

撫順炭の出炭高 飛躍的激增
九月は五十九萬餘トン

【撫順】石炭の需要增加から最近撫順炭礦の出炭は非常な勢ひで增加しつゝあるが、五日炭礦事務所の發表によると九月分の出炭成績は

古城子二十七萬八千百噸▲楊柏堡三萬三千六百噸▲東岡八百噸▲以上露天掘計三十一萬二千五百噸▲大山坑五萬八千四百噸▲東鄕坑四萬一千噸▲老虎臺坑四萬三千六百噸▲萬達屋坑四萬八千噸▲新屯坑四萬三千八百噸▲龍鳳坑二萬五千四百噸▲以上坑內掘計二十六萬二百噸

、のほか南昌洋行坑の二萬五千六百二十噸があり、以上總計五十九萬八千三百廿噸に達し露天掘は前月に比し四萬三千六百噸增、前年同月より十九萬五千六百噸增、坑內掘は前月に比し一千四百噸增、前年同月より六萬九千百噸增、南昌洋行坑は前月に比し一千百五十六噸減、前年同月より三千四百トン增となつて居り、この統計に於て前月に比し四萬三千八百四十四トン增、前年同月に比し二十六萬八千トン增といふ飛躍的な好成績を示してゐる、なほこれから冬期

田代司令官 初巡視
熱河管內を

【錦州】關東軍田代憲兵司令官は三日から熱河憲兵隊管內を初巡視するがプログラム左の通りである

▲三日午後三時四十分錦州驛着、直ちに錦州ホテルに投宿▲四日早朝凌源、承德、古北口方面へ向け飛行機で出發▲七日正午頃承德より飛行機で歸錦▲同日午後一時十分發列車で山海關へ出發、八日午後二時五十五分山海關より歸錦▲九日早朝朝陽赤峰へ飛行機で出發、十一日午前十時五十一分着列車で朝陽より歸錦▲同日午後三時五分發列車で新京へ向け出發

庭球リーグ
日滿人提携

【チチハル】スポーツを通じて北滿第一線に立つ日滿人の堅き握手を交すべき重大使命のもとに組織された黑龍江省庭球聯盟の發會式を兼ねた第一回庭球リーグ戰は一日午前九時から龍沙公園コートに於て擧行されたが、朝來秋晴れのスポーツ日和に內田領事はじめファンは定刻前より黑垣をつくり秋空を高く奏する白球の球戰譜に間斷なき拍手と聲援の嵐を送つて試合を彌が上にも高潮させ未曾有の盛況裡に午後五時終了したが戰績は左の如くである

▲團體リーグ戰順位

- 五勝　日本軍隊
- 四勝一敗　滿人學生
- 三勝二敗　日本市民
- 二勝三敗　滿洲官衙
- 一勝四敗　滿洲軍隊
- 五敗　日本官衙

▲個人戰順位

- 優勝　武富、早乙女組(日軍)
- 二位　石井、菊池組(日軍)

殉職追悼會
海邊警察隊の

【營口】去る八月二日鳳城縣北井子附近に於て戰死したる海邊警察隊第一巡船乘組警士趙蔚然氏の殉職追悼會は六日午後三時より營口商市街三江會館において嚴かに執行された

輕便鐵道敷設許可出願
西海口と錦州間に

【錦州】錦州、大連、山海關を繫ぐ定期航路は滿洲輪船公司によつて計畫され既に一日より就航を見つゝあるが錦州の船着場といはれる西海口が錦州驛より約二十哩の南方にあり船の發着每荷物の運搬に鮮からざる不便を來してゐるので同公司經營者の一人である當地富原氏は右西海口と錦州間の輕便鐵道敷設許可方を領事館に出願した、目下後藤領事は滿洲國側と折衝中

奉天省內の實情調査進捗す
既に二十三縣を終了

【奉天】馬賊の危險を冒し未だかつて行はれて居ない、奉天省五十八縣の經濟狀態と關稅及び地方稅の徵收機關の事變後の實狀及び地方農村の生活要素その他の調査の爲め奉天稅務監督署では三浦副署長以下各科長係員が四班に分れ各縣を踏査した結果第一期の生きた資料を得、いづれも十一月には歸奉の筈で調査を終へた縣は五十八縣中左記二十三縣に及んで居る

安東、輯安、臨江、長白、懷德、梨樹、昌圖、新民、遼中、義縣、北鎭、西豐、東豐、輝南、金川、柳河、海龍、開原、寬甸、西安、清源、彰武、瀋陽

右につき三浦副署長は語る

先づ豫算第一期實地調査を終つたが第二期には著しく改めればならぬものはよく研究し調査方針を決定する考へである、署員各位が馴れない食事で危險地帶に出入し少しの日數で殆んど資料のないものから其の基礎を築いて行く努力に對して感謝して居る次第で豫定の如く來年度一月末迄には完了するであらう一行の歸奉を待つて今後の調査方針を協議するさ

日滿徒歩縱走
井上氏過溪す

【本溪湖】皇國日本の現狀を憂ひ都市在住三十三萬の豫備役在鄕軍人の活路を求めて在鄕軍人移民團を組織すべくその試踏のため單身七月十日東京を徒歩にて出發せる大日本國防少年團々長井上亭氏は三日當地に到着四日夜は支局に宿泊した上五日午前八時再び健脚を新京に延ばすべくそぼ降る雨を衝いて出發した

滿洲國産飛行機進空式

【奉天】滿洲航空工廠で純滿洲器材で製作された最初の滿航式一一八號一一九號の進空式は五日小磯參謀長、日下來滿中の土岐陸軍政務次官その他日滿官民代表者參列の上盛大に擧行された【寫眞は進空式にテープを切斷する小磯參謀長】

決濟は良好ながら なほ瘡痍は癒えず
仲秋節と滿人商工界

【奉天】仲秋節における滿人商工界は決濟は殆ど七割方に行はれ昨年に比して非常に良好なる成績であり各方面とも順調であつたが總體的にみると日滿貿易の輸入成績に比較して一般滿人小賣業者は未だ事變前後の瘡痍から脫したものとはみられない、特に中央銀行の緊縮政策により小中商工業者は極度の金融梗塞に困つてゐる狀態である、右につき上田貿易商組合長は語る

昨年よりは滿人商店方面はよくなつた、特に邦商は景氣を恢復したが小賣業者は上流滿人の少くなつた結果從來絹物が賣れてゐたのが綿製品の購買者となり金額の上において著しい減退を示し洋雜貨類は約半割に落ちた樣子で店舖では奉天城內一流の金融關係がよくない結果であつて一般小賣業者としては香しくない傾向である、これは農村の本年の如き豐作飢饉では農民も浮ばれないであらう、然し仲秋節決濟で倒産した者は殆どないといつてよいであらう

公主嶺の蔬菜品評會

【公主嶺】公主嶺に於ける地方事務所主催の蔬菜品評會は滿洲事變突發のため催はなかつたが本年は第十八回蔬菜品評會を盛大に二十一の兩日午前十時より午後三時まで滿鐵社員倶樂部において開催することになつた

出品物は一人にて多數出品差支なく現品は十九日までに出品名數量住所氏名を明記し地方事務所に持參のこと入賞出品物は品評會に寄贈入賞せざる出品物は相當値段にて賣却又は現品返送す出品物の數量は大根五本、人參五本、牛蒡十本、南瓜二個、山芋三本、白菜三個、馬鈴薯十個、聖護院三個、其他は右に準ずるさ

開原火災二件

【開原】三日午後七時五十分頃開原公會堂にて活動寫眞興行中フキルムに引火したが機敏にフキルムを切斷し有吉興行主が逸早く上衣を脫ぎ火を抑へたので大事に至らず鎭火したのは不幸中の幸ひであつたが何分興行中の事とて觀衆は驚愕し總立ちとなり一時は混雜したるも幸ひに損傷なく濟んだ

四日午前六時頃開原附屬地隆盛街滿人李某宅の炊事場より發火し二タ間を燒燼したるも時を移さず驅付けた消防隊の活動により類燒なく鎭火した

鞍山署異動

【鞍山】鞍山警察署眞野部長は營口署へ下川部長は公主嶺署へ今回高等科卒業と同時に轉任することとなつたが、後任は同期生の近藤、菅井兩部長來任の筈さ

第一線に立ち理想に邁進
齋藤新警察署長談

【チチハル】新任チチハル領事館警察署長齋藤保治警部は二日朝往訪の記者に次の如く抱負を語つた

チチハルは初めての土地で、しかも全然白紙で赴任して來たのだから、何も別にお話しする樣なこともないが、第一に感じたのは軍部、滿洲國側と連絡が非常によくされてゐて、治安の維持されてゐる事だつた、私は今まで撫順にゐたので、西豐、開原、綏鎭等近縣の諸問題を整理してゆくだけであつたが、チチハルは黑龍江省の省城でもあり、アムールを隔てゝ黑河を控へ、更にソウエート聯邦と國境を接してゐる關係上、拜藥もひろく問題も複雜であるから、大いに研究し動きたいと將來を樂しんでゐる、それには先づ第一に軍部省當局と密接な連絡をとる必要があるが、幸ひにチチハルは以前から頗る緊密に連絡がされてゐるので、すべての折衝が順調に進捗するであらうといふ確信を得た、私は過渡期といふ言葉が頗る不愉快に感ぜられるからこの觀念を沒却し北滿の第一線に立つて確乎たる信念の下に理想にむかつて邁進する心算であるから、在留邦人各位も我々の意を諒として大いに援助して頂きたいものである

營口署異動

【營口】營口警察署にては松岡、相良、前田の三氏は辭任の上滿洲國警務指導官となるべくこれが後任として三井、新野、池田の三氏後任として來營すさ

電氣記念日

【四平街】滿洲電氣記念日の一日は大同電氣の主催の下に同日午後六時半より電氣關係者の盛大なる懇親會が公記飯店において催されたが、更に二日は社員總動員の下に十二班に分れて電氣需要家訪問サービスが行はれた、奇拔な旗指物に襷掛けの社員街頭進出は各所で好評を受けてゐたが尙午前十一時より小學校講堂に於て小學校兒童を對象とする電氣知識普及の目的の下に各種の見本を示して通俗電氣講演會を開催した、講師は富田事務及び鈴木工務課長であつた

公主嶺排球戰

【公主嶺】公主嶺體育協會排球部秋季排球リーグ戰を八日午前九時より小學校の運動場に於て開催することになつた、參加團體は官衙農事試驗場、鐵道部、地方部の四團體にして實業隊權試合は抽籤により定むさ

全滿米收穫高
百十五萬石豫想

【奉天】本年度における滿洲農作物は非常に豐作で奉天附近の米作も一昨年に比し非常な豐況で作付反別五千九百十三天地、收穫豫想九萬四千六百八石、日本桝十二萬一千九十八石で全滿における收穫見込は百十五萬四千五百七十九石日本桝百四十七萬七千八百六十一石である

自動車と衝突

【奉天】五日午前六時五十分頃市內紅梅町八番地大橋丹吉(三九)が自轉車で八幡町に赴き歸途千代田通りと藤浪町の交叉點に差掛かつた際奉天驛前より南市場大タク運轉手金鍾瓊(二〇)が四十哩の速度で疾走し來りアワヤと見る間に衝突し大橋は自轉車諸共道路上につき飛され後頭部、左足等に全治二週間の重輕傷を負うた奉天署では關係者を召喚し目下取調中である

商業實習生元氣で歸る

【營口】去る九月二十四日營口を出發して奉天、新京、ハルビン、チチハルに向つた營口商業實習所生徒は中野、野元兩指導員附添ひの下に豫定の行程を了へて三日午前十一時無事歸營した

第一部生はチチハルに到る豫定であつたが途中の故障で行くことが出來なかつた爲めにハルビンに豫定より一日多く滯在した今回の販賣實習は案外の好成績にて滿洲國側の購買力の旺盛なることゝ購求品の上級品を要望し低級品は顧みられず生活の向上はすばらしきものにて其賣上金も八百圓を突破するの有樣で豫期以上の好成績で終始したさ

吉岡海軍中將

【撫順】海軍燃料廠長吉岡海軍中將は高橋機關長、勝尾技師を伴ひ八日午前七時五十五分列車で來撫し製油工場、並に古城子露天掘を視察するさ

奉天省公署縣參事異動

【奉天】省公署では左の如く縣參事官の異動を行つた

- 任遼陽縣參事官　省公署事務官　濱田　義丸
- 任昌圖縣參事官　同　佐藤　半重
- 任興京縣參事官　盤山縣參事官　中尾　優
- 任海城縣參事官　安東縣　高岡　重利
- 任安東縣參事官　海城縣　鎌田　政明

遼陽金組成績

【遼陽】遼陽金融組合の九月中に於ける實績左の如くである

組合員勘定、出資金一萬七千三百五十圓、拂込未濟出資金三千七百二十五圓、新加入十四名、脫退一名、現在組合員百四名▲貸付金勘定、前月末現在五萬二千六百七圓十八錢、本月末現在五萬九千四百八十四圓二十二錢內手形貸付二萬九千八百七十六圓二十二錢、低資貸付二萬九千六百八圓▲預り金勘定、前月末現在一萬六千二百九十八圓四十九錢、本月末現在一萬五千五百三十一圓八十二錢、內拂込充當貯金三百九十二圓九十七錢、定期預金三千七百圓、小口貯蓄預金一萬一千二百八十三圓八十五錢、据置貯蓄預金百五十五圓

德川圀順公

【安東】日本赤十字副社長德川圀順公は有吉理事以下を隨へ六日夜半壤より新義州着七日同地における平安北道赤十字社總會に臨席し八日朝安東着安東神社、表忠碑參拜後二時より領事館における有功章及び特別社員に對する社員章授與式に臨み同夜ホテルに一泊九日朝七時新京に直行する、なほその後の日程は九日新京着、十四日ハルビン着、十九日奉天、撫順訪問、二十一日湯崗子宿泊、二十四日大連着、二十七日大連乘船歸東の筈である

橫山理財課長

【安東】二日夜來安した橫山關東廳理財課長は三日正午安東銀行集會所招待の午餐會に臨み午後三時から中川安東商議副會頭等から安東に庶民金融組合を速かに設置されるやう陳情を受け四時より公學堂において商議會員及び一般有志のため本月五日から施行される外國爲替管理規則に就いて說明講演した

森所長赴連

【鞍山】森地方事務所長は五日夜行にて赴連したが、右は昭和製鋼所其他新設法人及來住者に對する公費課金が本年度に於て約二萬二、三千圓の增收を見ることに決定したのでこれが使途並に明年度實施計畫中の當地各種社會施設實行に關する打合を行ふためであるが、增收公費は既報の如く主として道路公園の改修に充當する豫定で、決定の上は眞に未鋪裝の大正通を始め南三條通外二、三道路の鋪裝及び驛前廣場中央廣場の整備、改造工事に着手する筈さ

若林一郎氏慰靈祭執行

【チチハル】昨年十月三日滿洲國協和會チチハル事務局勤務若林一郎氏が昂々溪の宣撫工作の歸途齊門屯附近に於て李海青軍敗殘兵匪の襲撃をうけ遂に前途幾多春秋に富む二十四歲を一期に建國の人柱となつてから早くも滿一ケ年、三日はその一周忌に相當するので同事務局ではこの尊き英靈を弔ふため午後二時より龍門大街の曹洞宗日滿寺に於て同僚相寄つて慰靈祭を行ふと共に遭難地に墓標を樹て偉勳を永久に偲ぶことに決定した

德川家正氏

【鞍山】加奈陀公使德川家正氏は五日朝湯崗子より來鞍昭和製鋼所を見學の上午後二時五十三分はとにて大連へ向つた

岡本曹長榮轉

【營口】營口憲兵分隊に班長として服務の岡本憲兵曹長は十月三日付發令を以て通化憲兵分遣隊長に榮轉することゝなり七日出發離營

キング

十二月號

驚異の大躍進!!

初めて公開した貴重篇!!

明治大正の人傑を語る(尾崎行雄)

(尾崎氏)

見よ! 巨人を繞る生々しい秘話感話逸話! 感激に滿ち、時代を照す得難き大記録!!

▲大隈重信 ▲原敬 ▲板垣退助 ▲後藤象二郎 ▲星亨 ▲濱口雄幸 ▲伊藤博文 ▲山縣有朋 ▲桂太郎 ▲西園寺公望 ▲後藤新平 ▲犬養毅

壯烈快絶 敵中挺進六百里

手兵僅かに百七十六騎! 大膽不敵にも敵の背後深く潜入して神出鬼沒、或は壯烈決死の激戰大亂鬪! 或は大鐵橋爆破の冒險等千古に輝く大偉勲を樹てた永沼挺進隊の痛快悲壯な大難行大活躍! 一讀熱血迸る!!

南次郎大將推獎 山中峯太郎

映畫 大特輯

人氣花形 秘話珍談集

▲燃える掛布團……千惠プロ 片岡千惠藏
▲五十錢玉のトリック……松竹 栗島すみ子
▲九升のうらみ……日活 山田五十鈴
▲不倶戴天の仇……日活 大河内傳次郎
▲死の飛込……入江プロ 入江たか子
▲一生一度の男泣き……阪妻プロ 阪東妻三郎
▲烏賊のお刺身……松竹 田中絹代
▲川崎弘子さんの唇……松竹 結城一朗
▲私が出雲の神樣に……日活 市川春代
▲過ぎた惡戯……松竹 武田春郎

▲俳優試驗の珍談漫景
▲人氣スター戸籍調べ
▲人氣男女優蟇口調べ
▲夫婦もの獨身もの調べ
▲人氣花形藝名の由來
▲初めて渡來した映畫
▲ブロマイド屋から見たら人氣俳優

嘘の樣な本當の話や笑へぬ珍談等秘中の秘話公開! 各社スターの戸籍が一目で分る! 映畫ファン必讀! 不意を襲つて蟇口拜見! 中から一體何が出たか? まあ! と聞いて吃驚、見て吃驚!! 藝名の蔭にはこんなロマンスが秘められてゐる。初めて日本へ來た映畫とその當時の面白い回顧談(寫眞と人氣俳優の關係)

▲田中鬼大隊長部下を憶ふ涙の手記
▲南洋首狩り蠻族と五十日暮した冒險記
▲新外相廣田弘毅痛快物語

北滿の曠野に轉戰十數度、鬼隊長の勇名を轟かした田中信男少佐が嫩江河畔に壯烈な戰死を遂げた富澤上等兵を偲ぶ血涙の大手記! 獰猛飽くなき食人種と五十日間、椰子の葉蔭に雜魚寢して彼等の奇異な生活振りを審さに調査して歸朝した小倉清太郎博士の土産話! 數奇な立志の動機、青少年時代の痛快談、歐米局長、駐露大使時代の活躍等腕の人、腹の人として期待される非常時外相のロマンス!

泣いて五・一五事件の公判を聽く

熱涙下る憂國の大文字!!

全國民の視聽を集めて嚴かに開かれた五・一五事件の公判に、特に傍聽を許された兩氏が、目の邊りに見る法廷の劇的情景に熱涙滂沱、血を吐く思ひで書綴つた憂國熱血の大文字!! 全同胞の熱讀を切望!!

果然人氣爆發!! 愈々面白い二大巨篇!!

長篇小說 **金環蝕**(久米正雄)

戀と結婚! 惱みの處女

可憐な處女絹枝を繞つて相爭ふ二つの魂! 歡喜か悲劇か? 三人の若人の胸からパッと咲出た戀の花よ! 何たる面白さ素晴しさ! 胸はときめき頬は熱す戀の最高潮!!

長篇小說 **日像月像**(菊池寛)

危機に立つ美貌の姉妹

凜々しい青年士官は姉妹のどちらに愛の微笑を送るか? 戀の冒險を前に一喜一憂する乙女心の、あゝ戀は悲し、縒れに縺れた戀の糸が果して誰が解く?

菊池寛氏傑作『日像月像』の美しき姉妹……挿繪

明治天皇の御逸事

申すも畏き明治大帝の御仁慈御高德、聖なる感激に萬人ひとしく襟を正す御逸話の數々!!……佐藤紅綠

▲紳士淑女の常識讀本……加藤武雄
▲英雄の作つた小唄
▲内證話・縮尻話……三名家
▲天文臺漫畫のぞ記……和田邦坊
▲誰でも喜ぶ面白繪讀本

畫壇の花形 伊東深水氏自叙傳(小說)

父の事業の失敗から一家は散り〳〵になり、少年時代から凡ゆる苦難を嘗めた氏が見よ此の大成功の花……

▲臍を警戒せよ(快男子の痛快談)……尾崎士郎
▲日本畫の見方洋畫の見方……川合玉堂 中澤弘光
▲婚約解消の娘は曰く……日本女子大學教授 高良富子

名作物語 **ひねくれ息子**……岸田國士
美男美女 **青空無限城**……三上於菟吉
處女哀史 **光りを行く**……野村愛正
裁判秘帖 **鬼奉行佛奉行**……中内蝶二

乙女の純情によって、一家の魂は清められ、今迄暗嘩口論の絶間なかつた山の水車小屋にも樂しい春が再び廻つて來た……

勇士太郎の身邊に影の如くつき纏ふ美しい女密偵はそも何者? 嚴密新五郎と志士新兵衞、美女お律奈を中心に戀と意氣地の大渦卷!!

捲起る小作爭議の大嵐、愛羽子と喜作、敏彦とお八重、この二組の戀はどうなるか? 自覺めて行く農村を背景に戀と運命の……

若い女の血塗れ死體! 水野越前守に覆いて黒裝束の武士が風の如く現れた! 春まだ淺い大江戸の街は火事場のやうな大騷ぎ

愛は輝く **この使命**(野村愛正)

處女の一念

戰雲を越えて愛は輝く! 見よ! 一切の怨恨を打棄て、看護婦としての重大使命を果した細腕神の如き乙女!

▲慘怪奇 **獵奇船の秘密**……大上哲夫
▲武勇講談 **山中鹿之助**……神田山越
▲理想小說 **幻の兵車**……賀川豐彦
▲新作落語 **南禪寺**……中山紅夢

第二の怪事件突發! 恐怖と戰慄、謎の怪盜船活躍! 鹿之助の運命、九重姫とお駒の驚き、戀と運命の危機に立つ熱情の快青年! 腹の底から笑ひが爆發! 評判の落語

喜劇 **首賣り山左郎**(金子洋文)

首の買ひ手が人もあらうに凄い程の年増美人とは? 首を賣物の男を挾んで二人の美人が擲つた挾んだの大悶着! 面白いこと無類の大名篇!!

臨終の日の **名妓高尾**

聞くも涙、語るも涙! 名妓の悲戀哀史!!

伊達綱宗の身請の相談さへポンとはね退けて愛人に操を立てゝ來た高尾太夫……曾ては里一番の名妓と謳はれ、飛ぶ鳥落す勢だった高尾も今は戀に痩せ、病に蝕まれて、日夜悶々愛人の名を呼續ける姿——哀婉悲痛! 涙をそゝる名妓の臨終!

(野村胡堂)

▲義血熱血 **東風來る**……市川柳太郎
▲美人薄命 **松島の局**……一龍齋貞丈
劍難女難 **萬五郎青春記**

戀も名譽も幸福も一時に飄込で昨日に變る今日の笑顏 絶世の美女と美男劍士の哀戀物語!

密書を繞る血腥い殺陣、惱ましい女難の大繪卷!! 血塗れの女の慘殺死體と謎の密書の行方? 俄然不敵な人物が出現して局面大轉開!

定價 五十錢 送料四錢

東京市本鄕區駒込 振替東京二九一〇一

大日本雄辯會講談社

數々の勳を土産に 父母在す故國へ
第六師團將兵出發す

坂本師團長以下の師團司令部將星と飯田部隊長に指揮された凱旋兵士等は、御用船春晴丸で六日午後五時、七彩テープの綾とバンドの奏出すリズムに送られ、歡聲の渦の中を懐しい故郷の山河に接すべく晴れの凱旋の途についた、凱旋部隊は午後二時各隊毎に市中を行軍埠頭に集合、一まづ自由解散の上本社並びに婦人團の接待になる最後の模擬店に歡を盡し午後四時乘船開始する

一方坂本師團長始め佐々木參謀長、荒木、高橋各參謀、池田高級副官、上田松村兩副官、越川運輸、近藤經理、太田原法務各部長等は午後四時宿營地遼東ホテルを出で、殺到した市民の中を來埠

坂本師團長は市民の間を擧手の禮をもつて一巡し直に乘船する

凱旋部隊を見送るべく關東軍を代表して小磯參謀長、名越副官溥儀執政代表石丸侍從武官長、安藤要塞司令官、中根副官その他小川市長、御影池民政署長、大内市會議長、滿鐵側より八田副總裁、十河、山西、竹中、村上各理事、山内電々總裁、高柳中將、岩井鄕軍分會長等知名士が上甲板にしつらへられた宴席で最後の別盃を酌み交す

かくて定刻に近づくや、まづ小川市長起つて凱旋部隊を送る辭を述べ、坂本師團長は感激裡に左の如く挨拶した

今思出多い滿洲の國土を離れるにあたり日滿官民各位より受けた絶大な御同情御援助に對し、第六師團將兵一同を代表して謹んで厚く感謝する、私達は尊き犧牲となりし戰友の英靈を呼び迎へ、相共に凱旋する氣持を以つて再び故國に歸る旅に上ります、お別れに臨み衷心より滿洲國の發達を慶賀し、三千萬民衆をして王道樂土の福祉を享有せしめ、東洋平和の基礎愈々鞏固ならん事を祈りて已まない次第です

いよ〳〵驂としてあす（七日）内地に歸還します、この御恩は終生忘れることの出來ないものであります、それと共に目下國は非常時であります、皆樣は益々滿洲國の健全なる發展を圖ると共に國策の遂行に努力あらんことをお願ひします

と頗る感激に滿ちた答辭あり、それより北村席美妓連の餘興あつて賑かに凱旋祝盃を取交したが、午後八時御影池民政署長の發聲にて凱旋將兵の萬歳を三唱し盛會裡に散會した

勝美と中薗 七日神戸發護送

【和歌山にて長谷部特派員六日發】邪戀の勝美と中薗がいよ〳〵大連に送られる日が來た、護送方法は殺到する彌次馬を避けるため幾度か時間の變更が行はれた結果、六日午後十一時和歌山發に決し、三日間冷やかな留置場で苦悶の日を送つた二人は出發を前にし山田刑事課長から途中間違ひのないやう懇々と訓戒を受けた、勝美は高野山以來のお禮をあつく述べ錦紗の單衣を肌寒さうに着直し、やつれた顏にコンパクトを叩き薄化粧し、中薗は鼠色縞背廣にきちんとネクタイをしめ、血の氣の失せた顏に一抹の淋しさを漂はせて出發を待ちつゝ、此の日宵から降り出した秋雨は夜の更けるにつれて烈しくなつたが、早くも群衆は和歌山署の門前に黒山を築き物凄い光景を呈し、多數の警官に護られて自動車に乘り取卷く彌次馬からあらゆる罵聲の礫をあび和歌山驛から南海電車で一路大阪に向つた、難波驛でも彌次馬の殺到に惱まされ、多數警官の警戒裡に辛うじて自動車に乘せて、秋雨降りしきる阪神道路を神戸に向け疾走した、七日正午はるびん丸にのる豫定である

高井檢察官 眞造氏と會見

午前中兒玉博士の實兄眞造氏、從弟彥衞氏と會見した高井檢察官は午後二時より御幡三輪子を喚問、勝美夫人を繞る中薗と青柳の關係につき午後五時過ぎまで嚴重なる訊問を行つた

木蘭襲撃は 孫朝洋一味

【チチハル五日發國通】木蘭を襲撃して縣廳を燒き久泉參事官を殺害した匪賊は本年八月實縣を襲撃した部下一千を有する孫朝洋の一味が、城内警察隊の一部を買收し反逆を企てたものであることが判明した

滿洲をオトリに インチキ團體續出
當局嚴重取締を決意

【東京特電六日發】滿洲事變以來國民の滿洲熱が昂まつたに乘じて東京を中心に滿洲又は滿蒙の名稱をつけた各種の事業會社團體が續出し、その中にはいかゞはしきもの尠からず、殊に滿洲の名を附して三文雜誌を發刊しこれによつて各方面を荒し廻るものあり、警視廳の調査では東京市内のみで約四百餘の滿蒙利用團體があるので拓務、外務兩省と打合せの上今後滿蒙を利用する不良團體事業を嚴重取締ることゝなつた

高田部隊歡迎宴 六日夜遼東ホテルで

熊本第六師團凱旋の殿を承つた高田○團長並びに伊藤○隊の將校歡迎宴は六日午後六時半より遼東ホテル七階で盛大に擧行された、來賓側よりは高田○團長、伊藤○隊長以下各統部將校、歡迎者側よりは小川市長、御影池民政署長、高柳中將、岩井少將等その他百餘名の官民列席し、小川市長先づ起つて勞苦に酬ゆる凱旋歡迎の辭を述べれば、高田○團長はこれに對し莊重な語調を以て

日滿各位、殊に當地の各位から多大の後援を賜り今茲に任務を終つて内地歸還の途につくに當つて誠に感謝感激に堪へない次第です、只今は市長閣下より手厚い歡迎の辭を頂きましたが、長城線確保には右に服部○團あり、左には日高○團あつて、はじめて長城線突破、古北口の戰闘に目的を達し得たのであります、それにも拘らず市長の御言葉、また斯くの如き手厚いおもてなし、將兵一同御禮の御言葉もありません、本日は師團長の見送りに行つて驚きました、このやうなことは鹿兒島においても見ることは出來ません、

（上左）小磯參謀長　（右）坂本師團長　（左）凱旋部隊乘船

（下）ミス滿洲に接待される兵隊さん

旅役者に戀して 家出した人妻
またも大連有閑マダムの醜聞

【大阪特電六日發】問題の兒玉勝美夫人によつて、大連における醜き性生活の一端を曝け出した大連にも、こゝに劣らずも大連社交界マダム達によつて組織されてゐる大連婦人倶樂部の内幕が明るみに曝け出され、爛れきつた彼女等の愛慾生活に取調べの當局を驚かした

六日大阪島ノ内署では浪速區川原町辨天座に開演中の富士獅五郎一座の俳優進藤劍之助こと山下兼男（二七）と同人の情夫大連市桃源臺九五ノ一滿鐵社員經理課金子秀治妻フミ子（二九）兩名を引致取調中であるがフミ子は滿鐵社員長谷川一郎妻ハナ子同じく秋吉元雄妻キミ子等と共に大連市の有閑マダムによつて組織されてゐる大連婦人倶樂部の演藝部員であつたが、フミ子とキミ子は去る五月富士一座が大連にかゝつた頃、山下との邪戀を生じ、山下はフミ子ハナ子キミ子とも關係し四角關係を生じその後一座が名古屋帝國座に出演中ハナ子はフミ子と共に湯治に行くと稱し夫より各五百圓づゝをとつて名古屋に赴いたが、山下は美貌のフミ子のみを愛するので、ハナ子は悲觀して唯一人大連へ引きあげたことが判明した

文子の主人は 溫厚な人

文子夫人の問題で渦中にまき込まれた氣の毒な金田秀治君は極く靜かな善良な人で某會社内の同僚中でも評判がよい、たゞ夫人と結婚して久しいが子供がなく姪を養子のやうにして置いて居る、夫人は相當派手好きの方で最近夫妻でダンスホールなどにも姿を見せる事があつたと、なほ金田君は六日は平生通り出勤して執務してゐたので、同僚たちは「果してそんな事實があるのだらうか」と首をかしげてゐた

婦人倶樂部 大連にはない

兒玉博士邸の殺人事件が全日本的に喧傳されてゐる折柄、金田文子の桃色行状記も亦大連出身者なるが故に相當好奇の目を以て迎へられてゐるが、文子の戀愛行を華やかに飾り立てゝゐる劍劇團及び大連婦人倶樂部なるものについて昭和五年八月來連した劍劇團は富士野五郎一座で、別項富士獅太郎はこの富士野五郎のことではないかと見られ、又大連に於て劇研究を行つてゐる女性團體は滿洲國女性會のみで、他に劇研究團體は存在しない、或は一種の秘密クラブが存在してゐるのではあるまいか

武專柔劍道軍 大連で對戰
兩軍のメンバー決る

滿鮮武者修業の旅にある京都武德會武道專門學校柔劍道四年生の一行は磯貝小川兩範士に引率され七日午後四時三十分着連、翌八日劍道は正午より柔道は午後二時よりそれ〴〵滿鐵大連道場に於て大連軍と對戰するがメンバー交換の結果左の如く決定した（入場無料）

劍道之部

（審判―岡野、星野兩教士、高野中西兩五段）

▲武專軍　大將四段石原一人、副將同重岡昇、同小倉直明、同崎本武志、同橫松武次郎、同眞諸孝正、三段本田賢治、同中島巨勢男、同渡邊功、同荻野寓一郎、同牧元紀男、同高本如水、同久保田宗男、同鈴木道明、同松浦利夫、先鋒同的場三郎

▲大連軍　大將四段菅原惠三郎、副將同綿男、同赤塚明男、同畑中中、同熊本政之、同山添岩雄、同瀨戸廣雄、三段荒川好一、同是枝熊吉、同澁谷昇、同篠原清一郎、同山本健一、同只熊猛、同關興志男、二段柳田純秀、先鋒初段溝口初芳、補缺四段寺田政雄、三段茅根一郎、二段大石末雄、同赤城定雄、同溝口虎太郎

柔道之部

（審判―磯貝九段、二宮六段）

▲武專軍　大將五段高木桑一郎、副將四段新原勇、同篠原久雄、同愛甲敏人、同奧田實、同岡林幸二、同坂井吉雄、同郡吉茂、同浮川秀雄、三段谷口千代治、同西山德貫、同中野桑吉、同鵜飼正八、同伊勢村喜一、同原田輝男、同石坂末勝、先鋒甲斐二雄

▲大連軍　大將五段日浦勳喜、副將同伊勢治、同星亮三郎、四段林博、同岡部勝馬、同宗川昇、同後藤五男、同大野孝之介、三段小原盛夫、田中虎雄、同加藤巳之助、同門脇倫、同田中保、同山本高司、同山上年雄、同桑流水道造、先鋒同井上政夫、補缺四段刈谷勝美、同宮崎嚴州、二段前田豐四

奉天の住宅難
新築の千餘戸も 既に約束ずみ
店舖には巨額の權利

【奉天電話】滿鐵社員の代用社宅として五百戸の新築をみたが、鐵路總局勤務の滿鐵系の社員に對してはその二分の一より貸與されないので、最近總局の警務處に新に採用した局員の住宅は全く見當がつかず、目下各方面の家屋を物色してをり既に一般市中においてすら家屋拂底に惱まされてゐる狀態であるため餘裕のありさうなこともなく、庶務、人事科では總動員をして家屋の調査中である、かうした調子である關官吏ため日系滿洲のうちには住宅組合を設けてはとの意見が擡頭し各總務廳處務秘書官の手許で目下希望者の募集中であるが、住宅豫定地は附屬地と商埠地との東方滿洲國農事試驗所裏の空地を利用し中央銀行より年六分の低利を受け十ケ年間の月賦償還にて安住の家屋を得やうといふ計畫で各廳では多數の希望申込者ある樣子であり何れにしても奉天は今や住宅難に直面して各方面では悲鳴をあげ本年度の新築家屋一千三百餘戸が全部約束ずみといふ家主の天下となり店舖には巨額の權利金がついてゐるといふ狀態である

リーグ戰豫想 立教優勝か

【東京特電六日發】大學リーグ戰は秋季の三十試合のうち十八戰を終りあと十二戰を殘すが、五日迄のところでは立教九勝二敗、明治八勝五敗、慶應五勝四敗、法政五勝六敗、早稻田四勝五敗、帝大二勝十一敗で立教が斷然優勢にあり既に法政、帝大に完勝し早稻田に二勝、あと慶明兩者と戰ふのだがその實力では殘る四戰に二勝は確實で、明治には二勝するかも知れない、七日の對慶應戰が重大の影響を齎すものとみられるが、リーグを通じて老巧の點で双璧菊谷三宅の對戰が興味を集めるであらう明治は既に十三戰し、帝大に三勝早慶に二勝したが、法政に一勝のみで立教に若しあと二勝すれば、立教が慶應に連敗する場合、明治の優勝となるがこれは疑問だ、慶應は殘る早、立、法三校との六戰に六勝又は五勝しなくては優勝が出來ない、法政はあと早慶との四戰だが、これに完勝しても既に優勝の望みなく、早稻田が連敗に暫起して殘る六戰に六勝すれば圈内に這入るが、今の早稻田チームにはそれは期待されない、要するに立教が覇權に近づき明治がこれと爭ふといふ狀態で今後の試合は慶立、明立の二戰に興味が集中し、早慶戰は優勝に係はりのないものとなつた觀がある

大連の名譽 淫蕩な町と聞いて驅落

大阪泉北郡大津の織物商楠田周三（二九）と神戸市加納町バー山の茶屋の女給中山スミ（二一）の兩人は、六日入港のしあとる丸で手に手を取つて驅落ちして來たが、中山スミは大阪泉尾女學校出身の頗る美人で大阪で大丸等に勤務したことあり、決して男と關係はなく單に男が一緒に來いといつたのと、噂に聞けば大連は淫風吹き荒び金儲けによいところとの話だから、ダンサーにでもならうと思つてやつて來たと述べるので目下鄕里の親元に問合せ中

凱旋將兵接待
七日第三次凱旋部隊を午前十時より關東倉庫内にて

滿日婦人團員並に各女學校同窓會有志會員は午前九時までに關東倉庫にお集り下さい

滿洲日報社
滿日婦人團

滿日婦人團の接待 ミス滿洲も手傳ひ

埠頭待合所における本社並びに滿日婦人團及び各女學校同窓生のやさしい手で開かれたおでん、だん……この模擬店は六日は午後二時から一齊に開いたが、待兼れた樣に無邪氣な兵隊さんが殺到してまたゝく間に品切れと云ふ景氣よさ、特に文化協會の技藝女學校の生徒等が「姿達だつてだまつてゐられませんわ滿洲國の爲に戰つていたゞいた勇士等です、お手傳ひさせて下さいな」とばかり約二十名許りの滿洲の娘さんが可愛い日本語でサービスして、只でさへ喜び切つた兵隊さん達をすつかり有頂天にして了つて、正に日滿融合の美しい一場面を呈した、かくて第二日目も充分效果をあげたが、七日は少し方法を變へ午前十時より關東倉庫内に模擬店を開き凱旋時間迄充分おもてなしをしやうと云ふのである

光瑞會發會式

一千數百名の會員を有し市内知名士を網羅せる光瑞會は八日午前十時播磨町大連幼稚園運動場において發會、大谷光瑞氏の大講演會を開催し同氏の「時事問題に就て」の演題下に世界經濟大觀より滿蒙の經濟ブロックを論じ延いて地理的に見た關東州大連の將來、各局面の動向等につき大講演會を開催する由にて當日も開會前會場において加入有志の名刺を以て入會申込み受付をなすと

大運動場 來秋神宮外苑に

【東京六日發國通】明治神宮外苑の增營は奉贊會によつて計畫を進められ、來秋繪畫館の完成によつて一通り終了するが更に新規に第二次内苑、外苑の增營に取かゝる方針で明治神宮外苑を中心に體育の綜合的大殿堂を建設する計畫である、即ち第二次增營計畫は

一、ラグビー競技場、一、テニス・コート、一、競馬場、一、體育會館

等でオリムピックの東京開催問題と紀元二千六百年の接近とは右の計畫を促進するだらうと云はれてゐる

鞍山丸船長

去る五月二十五日鞍山丸が大連より清水に向け航行中午後八時頃、後水道を通過の際天候不良のため佐田岬に乘り揚げ船首を大破したる事件の船長吉岡忠義に係る海事審判は六日午前九時より海事審判室において木村理事、岡本委員長、關根、江原兩委員出席の下に開廷され大塚輔佐人の辯論あつたが、放漫なる運航によつて惹起された事件であるからと懲戒法第一條第二號を適用され職務執行停止二ケ月を科せられた

安樂椅子

滿鐵の無事故表彰内規によつて四百萬粁を無事故走破して表彰され而もその賞金を本社に託して國防資金に獻納した大連列車區の美擧は滿鐵現業員の眞劍さを語る一つのエピソードとして推稱されて居るがこの「無事故走破四百萬粁」といふ數字について計算の結果は左のやうな面白い結論が現れた。

◇……

一口に「四百萬粁」といふがこれを鐵道線路の延長として見る時は、大連を起點として朝鮮、下關、橫濱を經て太平洋を渡りホノルル、桑港、紐育、それから更に大西洋を渡つてロンドンベルリン、モスクワから、滿洲里を經て元の大連まで歸還する距離が恰度四百萬粁に當る勘定。

◇……

即ち大連列車區今回の表彰は、この長區間を無事故で百回も運行したわけであり、それだけ現業員諸氏平素の緊張振り、細心振りが立證されてゐる。

青空ホテル (3)

近江帆三
吉邨二郎 書

娘物言うた（三）

自分ひとりがこつそりと居殘らうとするのは、なか〳〵技巧を要する。

四時が鳴つてからも、那賀はまだ帳簿をいぢくりながら、横眼でみんなの氣配を窺つてゐたが、なぜか今日に限つてみなは愚圖々々してゐる。課長の方を見ると、逸見さんも時計を出したり入れたりしてゐる。机はとうの昔に片付いてゐるので、いかにも不恰好だ。

爲方なしに那賀は帳簿をひろげたまゝ、立つて便所へ出かけた。そして、出たくもない小用を無理に足して、裏庭をぶらついてゐると、同じなやみの逸見さんが飄然とやつて來た。しかし課長だけに弱味は見せない。

「さあ、出かけようか、君」
「はあ」
「何も遠慮することはないよ」
「はあ」
「君は案外小膽だね」

（挿絵）「君は案外小胆だね」

「さうでもありませんが、少しどうも」
「何も惡いことしようといふのぢやないから、堂々とやりたまへ」
「はあ。それぢやお伴しませう」
「何、さう急がんでもよいがね」

と、低氣壓も私的交渉になると案外氣が弱い。

「どこがよいかなあ」
「どこでも結構です」
「カフエーも落着かんね」

と、逸見さんは落着きたいのである。

一時間の後、二人は築地のなだ萬の二階へあがつていつた。

「あーら、お珍しい。どうなすつたの」

と、婢たちは逸見さんを取卷いた。

「そんなにおれの顔が見たかつたか」
「見たかつたわよう」
「ぢや、今夜はうんと見せてやらう。少々賣殘りだがね」
「賣殘り、結構よ。そんな賣殘りならいつでも頂くわ」
「どうせお前たちも賣殘りさ、れなだ萬だの、たゞまんだのつて嫁なもんぢやない」

と、逸見さんも女にかゝつては眼がない。

「いゝところですなあ」

那賀は爲方なしにそんなことをいつて、床の掛軸に眼をやつた。

「讀めるかね？」

と、逸見さんが訊ねた。

「讀めませんが、いゝ字ですな」
「はつはつは。讀めなくて字ばかり褒めても爲方がない。――何？翠壁縣の如く自ら關を作す、家流水に臨む白雲の間、か。違つたかな？」と、逸見さんはもうそれきりで、後を讀まうとはせずに「僕はこれで漢詩は大分やつたよ。うちの課でも、漢詩研究會を開くといゝな」
「さうですね」
「算盤や帳簿と首ツ引きでは、人間がカス〳〵してしまつていかん。漢詩でもやつて大いに浩然の氣を養ふんだね。カフエーでは浩然の氣は養へんよ。陶然の氣は養へるかも知れんが。はつはつは」

と、逸見さんは今日はよく笑ふ。

「蓄音器がガア〳〵鳴つてゐては陶然の氣も養へませんよ」
「いや、さうでもあるまい。はつはつは」

と逸見さんはまた笑つた。

「漢詩會にはぜひ入れて頂きたいですね」

那賀は如才のないことをいつた。御馳走になる身は辛い。

そこへ銚子を運んで來た。

「さあ、君。こちらへ來たまへ。今日は君が賓客だ」

と、逸見さんは尻を上げた。

「いや〳〵。僕はここで結構です」
「さうかねえ。それぢや御自由に」

さういつて、逸見さんは床の前にまたどかりと胡坐をかいた。最初から正座へ坐る氣なのである。

滿洲日報
十月六日發行
發行人 鈴木… 編輯人 橋本… 印刷人 村…
大連市東公園町三十一番地 發行所 株式會社滿洲日報社

漸く表面化して來た在滿重要機關の改革
關係各方面愼重に研究

滿鐵および關東軍特務部等の在滿重要機關の改革問題が今秋政治シーズンに入るに及び表面化し來るべきことは豫報のごとくであるが果して十月の聲を聞くと共に漸次具體的となり、從來のごとき抽象的議論の時代を離れて實行に近づきつゝあるを思はしめて居る、即ち關東軍特務部よりは總務課長沼田中佐が上京し、滿鐵よりはこの方面の擔當者たる經濟調査會の岡田第五部主査、宮崎第一部主査が相ついで上京、中央部と密接な連絡をとりつゝ計畫立案に參與してゐる、しかして滿洲の經濟開發については關東軍に特務部、滿鐵に經濟調査會が設けられて立案に當り、滿鐵および滿洲國がその局に當つて居るが事變後二個年を過ぎ戰時狀態を離れて經濟工作に主力を置く時代となりつゝあるに伴ひ、如何にして最も妥當な制度を設くるかゞ論議の中心となつてゐる、第一に起つてゐる問題は滿鐵の經濟開發については從來拓務省が滿鐵や關東廳を通じて行つてゐたが、事變後は非常時に順應して現地において多くの重要問題が決定され、拓務省は具に備はるに過ぎざることゝなる事が往々あり、故に今後は事變前のごとく拓務省が管理するか、又は關東軍が監督しこれを陸軍省につけるか、又は總理大臣直屬にするかにあり拓務省の權限に關するので政治問題と化せんとしてゐる、第二は現在は陰の機關として存在し正式に日本の官制には出てゐないが實際は滿洲の經濟開發の根本方針を定むる重要機關たる特務部を如何にするかの問題で擴大强化して經濟參謀本部として正式に表面に乘出さしむべしとの意見が有力に傳へられてゐる、この問題はその補助機關たる滿鐵の經濟調査會を如何にすべきかの問題とも關聯して居り同會內にも各種の意見が渦卷いてゐる、第三は滿鐵自體を如何にすべきかの問題で多年の懸案たる地方行政の移管問題に波及し、さらに治外法權撤廢問題にも關聯して行くので、結局滿洲全體の局面を一新せしむるが如き大變革を招來せしむる可能性がありそれだけに關係各方面とも極めて愼重なる態度を持し、今後も本問題を中心とする要人の往來が頻繁とならうとしてゐる

今更經濟參謀部等の看板を出す必要なし
特務部と滿鐵經調會合併必要
けさ來連の小磯關東軍參謀長談

關東軍小磯參謀長は名越副官帶同六日午前七時四十分大連着列車で來連、滿鐵八田副總裁、河本理事、御影池大連民政署長、石井大連署長等の出迎へを受け直に星の家に入つたが、同參謀長は六日華々しく凱旋する坂本第六師團長を埠頭に見送り、更に八日金福線碧家屯に建設された日露戰役第二軍上陸記念碑の除幕式に參列同夜大連發列車で歸京の筈である、途中金州まで出迎への記者が六日附本紙朝刊所載の特務部、滿鐵改組の記事を差出して質問すればしばし默讀した後「フフン、大分異つてゐるな」と答へ「どうだ關東軍の惡口でも聞かさんか」とくだけた態度で、左の問答を行つた

問・ドリヴィエ氏が滿鐵と交涉中の佛財團の投資問題に關しては

答・まだ具體的問題にまで行つてないんぢやないか然し趣旨は結構だと思ふ、滿洲國も國策産業基礎産業が日滿經濟ブロックによつて增大しそれを害するとさへなければ大いに歡迎する外資の進出だらう、滿鐵からも一寸話があつたが私も贊成だ、要するに話は投資する機關を造らうではないかといふ程度だと思ふ、事業をやるとすれば都市建設、上下水道敷設、電氣、瓦斯、鐵道工事等の所謂土木工事やその他色々あると思ふ

問・朝刊の記事は間違ひだらけのお話であるが、特務部の機構擴大は經調の合併と共に早晩實現すべきものではないか

答・特務部と滿鐵經濟調査會は合併の必要があるし、また合併も出來るやうになつてゐる、然しさうだからといつて今更經濟參謀部なんて看板を出す必要もないし、機構を大きくすることも無い、今のまゝでも出來やうぢやないか、要するに看板よりもそれの運用如何だ

問・滿鐵を經濟産業機關にするといふことも旣に各方面で唱へられてゐることであり、滿鐵幹部中にも滿鐵は鐵道一本になるべきだといつてゐる人もあるが

答・鐵道一本といふのは可笑しい全滿經濟産業機關とすると解するべきではなからうか、滿鐵といふ從來の機構が有効なものとされ絶大の信用があつたればこそ巨額の增資が出來たのだ、從つてこの意味は單に鐵道だけでなく、石炭やその他一切の國策産業、自由産業を包含した經濟産業機關にするといはれるべきではなからうか、鐵道一本にするなんてことは退嬰的だ

問・然し滿洲の各産業は電氣にしろ石炭にしろ、石油にしろ、漸次全滿的に個々に統制されつゝあるのではないか

答・然しそれでは統制が出來てゐないんではないか、國家統制といふことは個々の産業を一括統制するところにその意義を生じて來るのだ

問・非武裝地帶もやつと一段落となつたが、結局今のまゝでは永久に紛爭の絶えやうが無く、改めて第二次會議の必要があると思はれるが

答・昨日も或る外人記者が同じ質問をした、然し何も非武裝地帶は亂れてゐないではないか、軍隊が入つてくればやつつけるまでだから心配はない、方振武も、こつちの態度に驚いて兵を引いたが、もう他の連中も今度でこりたらうから入つて來る心配はない、先日もゴタゴタ時分に干學忠の武裝隊が灤州まで來たから抗議をしたら早速引揚げてしまつた

鄭總理の菱刈軍司令官歡迎會

五日正午新京ヤマトホテルにおける鄭國務總理の菱刈軍司令官着任歡迎會……左側左端より多田少將

ドイツ商品を米國から驅逐せよ
米國勞働大會の決議

【東京特電六日發】ワシントン來電＝四日開催された米國勞働總同盟全國大會においてヒツトラーのドイツ國內勞働諸團體に下しつゝある壓迫振り、特に勞働組合運動を潰滅せしめた暴狀に對しこれが報復手段としてドイツ商品を全アメリカより驅逐すべしとの決議案が提出された、この表決は來週中に行はれ異議なく採擇されるものとみられる、なほ總同盟は二十五萬より成る全勞働戰線の實力を握るものである

會議失敗遺憾
最近の歐洲政局惡化は事實 ドイツのナチス跋扈は不評
石井全權の歸朝談

【東京六日發國通】世界經濟會議に出席した石井、深井兩全權は外務首腦部をはじめ實業團其他多數の出迎へを受け午前九時東京驛着歸京した、石井全權は車中出迎への記者に對し左の如く語つた

世界經濟會議が不幸にして失敗に終つたことは我々代表としても洵に遺憾に思つてゐる、しかしあの會議だけで今日の世界の難問題を總て解決しやうと望んだことは餘りに過分の期待であつたといはねばならぬ、我々は今回の失敗を失敗として終らしめることなく、來るべき次の會議の土臺たらしむるやうにせねばなるまい、會議の進行中、英米、佛主要國間では利害關係の大きいだけに相當緊張したこともあつたが、わが國は終始樂な立場にあつた、最近における歐洲の國際政局は經濟的不況が原因となつてかなり惡化してゐるが、もかし一九一四年の世界大戰前におけるやうな切迫した危機には直面してゐないやうに思ふ、たゞドイツのナチスの跋扈に對しては歐洲諸國はかなり不滿の色を示してゐる

會議決裂の原因
深井經濟全權語る

通貨問題に對する各國の態度は最初より

一、自國の半永久的策が自國の發展を健全に導くものであり、一時的便益のため自國通貨を根本的に改變するやうな協定には全然反對である

一、通貨は目前の利益のみを目標に暫定的協定を繰返す事によつて益々健全なる協定に達しやう

以上の二派に分れてゐたがこれは會議が不結果に終つた重大原因であつたと考へる、而して後者の事項を理想とする國々と雖も結局通貨安定問題に歸らればならぬその精神は共通してゐたやうであつた即ちこれは今後の新らしい比較的安定した情勢に對應する新金本位制の確立である、會議中盛んに傳へられた英米佛等安定協定問題については本會議には何等表面的に現はれず、兩國間にどの程度に進行してゐたか全然知らぬ、會議後特に痛感したことは會議が殆んど無結果に終つた結果、英の英帝國オツタワ會議に基き各屬領を含んで成立した關稅協定は各國に一大警告を與へたことである

第二次五相會議
けふ閣議後に開く

【東京六日發國通】政府は豫算編成期も切迫して來たためこの豫算編成に先だち決定を要する不動の國策確立を急いで居り、殊に外交國防の國策と、財政との調査に關しては速かに決定して置く必要あるため、三日の閣議散會後五相會議を開いて協議するところあつたが、更に六日の閣議散會後も第二次五相會議を開き、外交國防國策の遂行と財政の調整に關する具體的協議をする豫定であるが、當日は前回の會議における荒木陸相、大角海相、廣田外相等よりの說明に對して、高橋藏相が事務當局より財政の現狀についての說明を聽取した結果を報告し、更に外交國防國策の具體化と、財政との調整に關して重大協議を爲すこととなつた

八田滿鐵副總裁 小磯參謀長訪問
重要問題の意見交換

六日朝新京より大連に到着した小磯參謀長は自動車にて直に星乃家に入つたが、その跡を追うて、八田滿鐵副總裁は午前八時半同旅館に參謀長を訪れ、秋晴れの海を見渡す階上の一室で兩巨頭は人目を避けて約三時間に亘つて密議をなした、十一時半星乃家を辭去した八田副總裁は直に自動車を走らせて滿鐵本社に到り、折柄開かれてゐた滿鐵重役會議に臨んだが、滿鐵本社では先週來、連日午前午後に亘つて重役會議を續開してゐること、內地においては在滿機關の改革問題が相當進行した模樣であること等より推して、六日の兩巨頭會議は極めて重要なる意義を有するものとごとく、滿鐵を中心とする各種重要問題が今後如何に展開するか、各方面の關心を集めてゐる

滿鐵重役會議

滿鐵では六日午前十時から總裁室に林總裁以下在連各重役佐藤建設局長、山崎同庶務課長、石本總務部長、囑託將校後宮大佐（八田副總裁は午前十一時四十五分から參加）等參集のうへ新線問題に關して重役會議を開催午後零時三十分散會した

日本雜貨排斥案可決
英保守黨大會

【バーミンガム五日發國通】五日當地で英國保守黨年次大會が開催されたが、左の如き日本雜貨排斥の決議案を上程、植民次官ヌルマンス卿の反對あり多數を以て否決さる

日本がイギリスより生活程度を低め挑戰する以上、日本産の刄物その他雜貨の英植民地輸入を禁壓すべき適當なる方法を講ずべし

谷參事官北滿視察

【新京六日發國通】谷大使館參事官は約一週間の豫定で北滿及び滿洲里方面視察のため六日午前八時飛行機でハルビンに赴いた

奉天、新京、四平街 三驛大擴張
總工費百八十萬圓で

滿鐵々道部では十月一日からのダイヤ改正と共に奉天、四平街、新京の各驛をそれぞれの隣接鐵道との共同使用驛とすることゝなつたため、これに伴ふ設備改善の要があり、今夏來輸送、營業、工務の各關係課で具體的

設計案を

作成中のところ鐵路總局が特にこれの實現を急ぐ關係から最近同改造設計を完成八年度追加豫算として一兩日中に重役會議の審議に懸けることとなつた同改造案によれば最も大きな改造を見るのは奉天驛で、新京、四平街兩驛は驛舍建物の內部的改造に止まり總工費約百八十萬圓のうち百五十萬圓は奉天驛の改造費に當てられてゐる、卽ち奉天驛は共同使用驛となつた關係から一時に滿海、奉山兩線の旅客を同驛で取扱ふことゝなつたゝめ現在の

三ケ所の

ホームでは自然混雜を來し、こゝに第四ホーム造築の必要が起つたもので、これの新築およびこれに伴ふ線路敷設替その他工事に以上の金額を計上したもので重役會議の決裁を得次第本年中に工事に着手明年十月一日のダイヤ改正と共に新ホームを使用する豫定である

奉天省の納稅良好

【奉天電話】奉天省稅務監督署管內の三十八稅捐局は大同二年度第一期徵稅については昨年度よりは非常に良好なる成績を示し長白臨江の如き馬匪賊の巢窟地帶にあつても豫定徵收額の徵稅が行はれつゝあり本年度よりは田賦稅その他一切の國稅は定期に徵收することになつたが、田賦は納稅期にはなつてならぬが現在の狀況から納稅は確實と見られてゐる、只問題であるのは農作物の暴落により農村の耕作資金に對し中央政府において何等かの救濟對策が行はれざる限り農村の疲弊は免れずこれが納稅方面に累を爲す危險性はあるが奉天省としては何れも豫定徵稅額を突破する模樣であると樂觀してゐる

英艦隊司令官
日英協會で招待

【東京六日發國通】日英協會では五日午後七時より帝國ホテルにおいて秩父總裁宮、同妃兩殿下の台臨を仰ぎ、來朝中の英國支那艦隊司令官ドレーヤ提督並に幕僚を招待して歡迎大晩餐會を催し、カナダ公使マラー氏起ち、我兩陛下のため乾盃、次いで秩父宮殿下より英國皇帝陛下の御健康を祝され、林權助男、ドレーヤ兩氏の挨拶あつて十時盛宴を閉ぢた

鐵道部社員登格
最少限度二百五十名

滿鐵々道部では重役會議の決議に基き鐵道部現從業員の臨時登格を行ふべく九月初來各方面の調査を急いでゐるが數日中に新定員の査定も終り鐵道省新入社員の來滿期である十月末日までには登格者の決定を見る筈である、登格人員については未だその基礎的調査が終了せず、即ち滿鐵々道部から近く總局に轉出する豫定の雇員以上の社員は約二百四十名であるが、鐵道部としてもこの際出來得る限り社員の昇進の途を開くうへからそれ以上を總局に派遣するやう各鐵道事務所に問合せ中でその報告は未だまとまらず、また定員數に關しても總務部の査定より遙かに多數な鐵道部で要求してゐる關係からこれまたその見當がつかず從つてこれ等の調査が終了した上でないと登格人員は決定を見ないが、鐵道部では最少限度二百五十名（事務員技術員および雇員への登格全部を含む）の登格は可能と見てゐる、なほ鐵道省から滿鐵に採用される社員二百名中月俸社員は約五十名でその他は現社員の登格には影響を及ぼさない乙種傭員の職工でこの五十名を新採用するものとしても以上の登格が可能であるとされてゐる、右に關し鐵道部石原庶務課長は語る

まだ人數は決つてゐないが出來るだけ多くを頑張るつもりだ、發表は或は鐵道省社員着任後になるかも知れぬが決定だけは是非それまでにするべく目下調査を急いでゐる

第六師團凱旋
（司令部並に飯田部隊）
けふ午後四時春晴丸乘船開始

凱旋將兵接待
七日第三次凱旋部隊を午前十時より關東倉庫內にて

滿日婦人團員並に各女學校同窓會有志會員は…關東倉庫にお集り下さい

滿洲日報社　滿日婦人團

定例閣議

德川家正公使 けふ滿鐵を訪問

土岐陸軍次官

うらる丸の船客

あめりか丸

小說「東天紅」

先立つた女の黑髮を抱き中年男一人心中

撫順で藝妓との情死に蘇生し死場所を探し奉天へ

【奉天電話】亡き戀人の黑髮と寫眞を懷き女の跡を追つて一人心中を圖つた男──去る四日市内富士町十番地商人旅館に投宿した長崎縣生れ大連市西公園町土木請負業村上龍吉（四）は五日午後五時頃カルモチン二十五グラムを嚥下し苦悶中を女中に發見され大騷ぎとなり屆出により奉天署より松尾警部補、藤巻警醫とともに現場に急行し同人を藤巻醫院に收容し應急手當を施したが六日朝遂に死亡した彼は去る九月十八日撫で馴染を重ねてゐた撫順一心樓抱へ藝妓山口みや子と情死を圖りみや子のみ死亡し自分は蘇生したのであるが、亡きみや子を戀ひ慕ひ彼女の黑髮と寫眞を懷中深く潜め撫順を出發各所を轉々し死に場所を探し求め一日奉天に來り腕時計その他を入質し金二十圓を得て死の場所を同旅館にもとめ四日投宿五日この始末に及んだものであることが判明した遺書とてはないがみや子との心中の際伯父に宛てた「女と馴染んで死ぬ自分の死體を女と共に埋葬して異れ賴む」との遺書あり、みや子の跡を追つて一人情死を圖つたものと見られてゐる、死體は七日來奉する大連在住の彼の實兄に引渡す筈である

セネタース軍雪辱

攻守ともに冴え來る

ワールドシリーズ第三回戰

【東京特電六日發】ワシントン五日發ワールドシリーズ第三回目は、セネタースのホームグラウンドたるグリフイス・スタヂアムに於いて行はれたが、セネタースは最初より健棒を振つて攻撃を開始し加ふるにホワイト好投して遂に四A對零でジャイヤントを零敗せしめて復讐を遂げた

ジ軍
ムアー　7
クリツツ　4
テリー　3
オツト　9
デーヴイス　8
ジヤクソン　5
マンキユーソ　2
ライアン　6
フイツツ　1
シモンズ　PH
（ピール）
（ベル）　1

セ軍
マイヤー　4
ゴスリン　9
マヌーシユ　7
クローニン　6
シユルト　8
クルーゲ　3
ブルーエル　5
シユウルト…
ホワイト　1

經過

◇一回　ジ軍凡退▼セ軍マイヤー左前安打に出でゴスリン强氣に出で第一球を右二壘打マイヤー三進マヌーシユ遊飛の後クローニン一匍の時マイヤー生還シユルト右二壘打してゴスリンを還しクーヘルの三匍でシユルト挾殺されたがセ軍二點を先取して氣勢を揚ぐ

◇二回　ジ軍オツトの離飛球をマヌーシユ好く捕へデーヴイス三越安打し投手暴投に二進ジヤツクソン四球に續きしもマンキユーソの遊匍に併殺▼セ軍ブルージユ左翼二壘打シウエルの二匍で三進ホワイト・ヒル投手野選マイヤーの安打にブルージユ生還ゴスリンの左翼大飛球にホワイトヒル本壘をついて左翼手の好投に刺さる

◇三回　ジ軍一死後フイツツ、シモンズ遊撃を拔きムアーの遊匍に封殺されクリツツ二越安打したがテリー一匍▼セ軍二死後シユルトの一安打のみ

◇四回　ジ軍二死後ジヤツクソン二壘打したが後援なし▼セ軍凡退

◇五回　兩軍走者なし

◇六回　ジ軍はセ軍ホワイトの好投に凡退▼セ軍クローニン右翼安打に出でシユルツ一邪飛クーヘルの二匍にクローニン封殺クーヘルの二盜ならず

◇七回　ジ軍無爲▼セ軍一死後シウエル遊撃强襲に出で二盜なりホワイト・ヒルの二匍に三進しマイヤーの右翼安打に還りゴスリン三振

◇八回　ジ軍奮起し一死後PHビール遊越安打に出でムアーの遊匍失で走者二一壘よりの好機を迎へたがクリツツ投手テリー捕飛に終る▼セ軍（ジ軍投手ベルとなる）無爲

◇九回　ジ軍オツト四球を得たが後援なく零敗する

	敵	打	安	犠	盜	四	死	三	振	過	失
ジ軍	3	2	5	0	0	2	2	0			
セ軍	3	1	9	0	1	0	2	1			

ヒル好投しジ軍零敗

シモンズ潰滅

【東京特電六日發】ワシントン五日發、ジャイヤント對セネタース第三回戰は定刻大統領の始球式後ジャイヤント先攻で開始されたがセネタースは遂に別電の如くジヤイヤントを零敗せしめて見事復讐を遂げた、この日セ軍投手ホワイト・ヒルの好投はジ軍に五安打を許したのみで之を零敗せしめたほか一方鳴りを鎭めて居たセ軍の巨砲は本日に至り漸くその眞價を發揮しフイツツ・シモンズをノツクアウトして合計九本の適時安打を放ちジ軍を屈伏せしめた、本日の觀衆は約三萬、大統領も觀衆に混つて最後まで見物した、尚四回戰は引き續き明日午後一時半より當地に於いて行はれるが當日セ軍は新進左腕投手ウイーヴアーをジ軍は第一回戰の殊勳投手ハツベルを再度マウンドに送り對戰することゝなつた

滿洲舊文化保存に國立博物館を設立

近く文化委員會開催

【新京電話】過般大使官邸で菱刈大使と鄭總理との間で話題になつた滿洲舊文化保存の爲めに國立文化博物館設置の議はその後兩當局の間に具體化され近日來滿する日本側委員の來着を待つて十七、八九の三日間大使官邸において滿洲國文化委員會を開催具體的協議を行ふことになつたが、當日の出席者は左の如くである

▲日本側　服部宇之吉、關野貞、池内廣、濱田耕作、羽田亨、溝口貞次郎

▲滿洲國側　鄭孝胥、袁金鎧、羅振玉、寶熙、貴福、臧式毅、熙洽、榮厚、許汝棻

新港丸進水式

既報滿鐵大連埠頭事務所海務局使用船新港丸は六日午前十時關係者多數集合滿洲ドツクにて進水式を行つたが成績は非常に良好であつた

スピードアップの定期航空新ダイヤ

十一月一日から實施

十一月一日より東京、大阪間の夜間飛行が開始されるので日滿間の航空交通量の增加に對應すべく大連、東京間の空の旅が大いにスピードアツプされることになつた即ち日本航空會社の新ダイヤは目下關東廳に申請中にて不日認可さるべく、十一月一日より（三月迄）實施の上は郵便飛行において從來大連東京間上り二日を要したのが冬期一日半（夏期一日）同下り三日が冬期一日半（夏期同）と短縮され、旅客飛行においても左表の如く、上りにおいては殆ど變更ないが下りにおいて京城に一泊するに及ばず、廿二時間も短縮されるので利用者をウンと增すであらう

▲上り旅客機

	新	舊
大連發	前六、四〇	前六、五〇
新義州發	九、五〇	九、五〇
平壤發	一〇、五〇	一〇、四〇
京城發	一二、〇〇	一二、一〇
新義州發	三、二〇	後〇、一〇
大連着	四、〇〇	〇、五〇

▲下り旅客機

	新	舊
東京着	三、二〇	二、五〇
大阪發	後一、〇〇	後〇、三〇
同發	前九、〇〇	前九、〇〇
福岡着	四、〇〇	三、五〇
蔚山發	後二、〇〇	後二、一〇
東京發	前九、三〇	前八、四〇
大阪發	後一、〇〇	一一、三〇
福岡着	四、一〇	後二、四〇
同發	前八、四〇	前一一、四〇
蔚山發	一〇、四〇	後一、四〇
京城發	後〇、五〇	着三、五〇 發前九、三〇
平壤發	二、一〇	一〇、四〇

因に内地朝鮮は内地時間、大連は滿洲時間、なほ東京福岡間の二往復中一往復は郵便專用機を使用することになり、日曜休航制も左の如く變更されて日曜東京福岡間下り旅客機、同上り郵便機、東京大阪間下り郵便機、月曜大阪福岡間下り郵便機、福岡大連間上り下り旅客機、火曜東京、福岡間上り旅客機のみを休航することになつたなほ滿洲航空會社でも右改正に伴ひ新義州にて直に接續せしめ午後四時前に奉天に着くので東京、奉天間下りは矢張り一日近く短縮さるべく近く新ダイヤを發表するであらう

海軍側判決は月末言渡し

公明な判決に腐心

【東京特電六日發】五・一五海軍側公判々決は今月末言渡しと内定した、七月二十四日の公判以來内外に波瀾を捲き起し遂に海軍部内に重大な情勢さへ生ずるに至つたので高須裁判長は各方面と共に公判記錄を詳細綿密に檢討し公明なる判決を行ふべく腐心してゐるが、この上遲延を許さぬ事情もあるので大體右の如く内定したものであるといふ

洒々とした態度で離婚狀に捺印

三輪子遂に離婚さる

ピアノ教師の假面にかくれて飽くなき肉慾の化身として桃色の行狀──記すも限りなく繰り擴げてゐた御幡一助演者としてその行狀が白日の下にさらけ出され、今は小平島保養院に最後の愛人と共に潜み人目を恐れて哀れなその日〳〵を送つてゐるが、三年の月日を二人の愛兒のために今日まで三輪子の歸つて來るのを待つてゐた市内某會社に勤務中の御幡氏も遂に官能の奴隸となつた三輪子の赤裸々な姿に愛想をつかして離婚を決意し、五日沙河口署谷川警務主任に離婚方斡旋を依賴し、離婚狀をあづけて行つたが谷川主任の呼び出しを受けた三輪子は六日正午沙河口署を訪れ、洒々とした態度で離婚狀に捺印、子供のこと等全く念頭にないかの如くに、さつさと引き揚げて行つた

中薗、勝美の護送に苦心

兩名非難の投書頻り

【和歌山にて長谷部特派員五日發】世界的學者として研究室に閉籠る夫を捨て邪戀に狂ひ血で彩つた桃色行狀記の終焉を高野山に求めて聖地を汚した勝美、中薗に對し京阪一帶の人々は驟然の礫を投げかけ二人を非難した投書が毎日多數和歌山署に舞込み有閑階級に對する反感を昂めてゐるので護送途中の萬一が氣遣はれ上郡山、阿部兩刑事は和歌山縣刑事課と打合せ護送の時刻か護送プロの變更を行ひ一方神戸における大混亂も豫想されるので兩刑事は六日朝神戸に行き水上署と如何に彌次馬をまくかにつき打合せたが結局七日一番列車で神戸に向ひ直にはるびん丸に乘込ませる豫定であるまた罪の弟に面會を求めて許されず空しく歸阪した中薗の實兄源之進氏は五日秀雄が預けたトランク四個を受取りのため訪れた阿部刑事らに廿圓を託し憎い奴ですがどうかこの金で大連までの辨當を差し入れて下さいと肉親愛のうるはしいところをみせ刑事をホロリとさせた【寫眞は高野山を下る中薗と勝美】

實兄眞造氏檢察局訪問

切々たる兄弟愛に取るものも取り敢ず從弟と共に來連した博士の實兄兒玉眞造氏は六日午前十時半從弟兒玉彥衞氏と共に檢察局を訪れ高井檢察官に面會、事件發生以來の辛勞を謝し、同十一時過ぎ檢察局を辭したが、社會の疑惑を恐れた兩氏は博士との會見については一言も語らなかつた模樣で、たゞ尋ねた程度で、少い言葉の裡にも斷ち切れぬ肉身愛の溫かさを見せてゐたと云はれてゐるなほ眞造氏は故鄕において縣會議員等の名譽職にある關係上大連に長く留まることを許されず、或ひは博士に面會することを得ず、萬事を彥衞氏に依賴し淋しい心を抱いて近く歸國する模樣である

兒玉博士を刑務所に移す

兒玉博士は去る二十四日の夜沙河口署に自首以來同署に留置され、種々取調べを受けてゐたが、沙河口署の取調べも終了したので、今後檢察局との連絡上今明日中に刑務所に送られ、直接檢察官の取調べを受けることゝなつた

兇器の短刀大搜査

依然不明

兒玉事件の唯一の物的證據品として中薗秀雄が青柳を刺した兇器九寸五分細身の短刀調査は去る二日より博士を實地檢證させ寺内刑事その他總掛りで搜査に當つてゐたが所在判明せず、四日再び滿洲人草刈が拾つて持歸つたのではないかと同方面草刈を軒每に調べたがそれも判らず一時調査を打切つてゐたが、今日又も高井檢察官、谷川元司法主任は留置場の博士について訊問し六日早朝より馬欄河附近滿洲人草刈と小崗子方面滿人古物商及小盜兒市場を中心に大搜査を命じ沙河口署刑事全部出動兇器大搜査を開始したが午前中には依然不明であつた

久泉木蘭縣參事官

匪賊を擊退戰死

警察隊を率ゐて奮戰

【ハルビン特電六日發】ハルビンより下流五十支里木蘭縣城に四日夜九時孫朝陽一味の匪賊來襲縣參事官久泉隆氏は警察隊を率ゐ夜を徹して奮戰五日朝匪賊を擊退したが久泉參事官は壯烈な戰死を遂げた、久泉氏は同文書院出身、昭和七年十月木蘭縣參事官に就任以來縣政に獻身的努力を捧げた人で本年三十三歲、夫人みつ子は大連久方町に居住してゐる

奉天にも贋札

國幣と鮮銀券ともに

【奉天電話】この頃奉天で滿洲國の五十錢紙幣と十錢白銅の僞造が多數市中に流通するので兩替屋或は滿人商店に非常な恐慌を來してゐるが奉天の馬車洋車の苦力賃も拾十錢、五十錢の貨幣を僞造と思つて受取らないので各所にいろいろな問題を起してゐるが朝鮮銀行券の十錢、五十錢の僞造紙幣も發見されるといふ有樣で當局では極力その出所を探査中であるが多分天津方面の日支人が共謀してこの大罪を犯してゐるものと目星をつけ目下嚴探中である

不逞鮮人檢擧

【新義州五日發國通】平安北道警察部特高課長は新義州署と連絡を取り、極秘裡に大活躍を開始したが、これは去る三日鴨綠江入港の支那汽船感康號に二名の鮮人が上海から潜入したゝめで署に連行嚴重取調中であるが右は滿洲國〇〇〇暗殺陰謀事件に關係あるらしく重大視されてゐる

田口省吾畫伯

滯佛三年昨春歸朝後二科第十九回展に滯歐特別陳列をなし直に審査員に推され本年は首號の力作「牛肉屋」その他を出品し既に實典雅な寫實主義の作風が賞揚されてゐる田口省吾畫伯は滿鐵林總裁及八田副總裁の推擧を得て十日より十五日迄社員クラブに於て個人展を開くため六日入港のしあとる丸で來連した

阿片密輸發覺

市内岩代町三七鎌谷義行（三）は奧地より阿片多量を取寄せその密輸を企てゝゐたがその手先として元謀巨額の金錢を儲けて華やかな享樂生活を送つてゐたが四日その手先東田良夫（二七）と共に沙河口工場職工東田良夫が市内小崗子方面に阿片賣買に出掛けたところ豫て注意中の小崗子署刑事に逮捕された、なほ鎌谷は發覺に氣付いてゐたのかその前夜何處かへ逃走し目下密輸犯人として各地に手配中である

凱旋勇士盜難

第六師團の伊藤部隊が華々しく凱旋した五日朝九時三十分頃、凱旋部隊の今田曹長が所持の中型トランクを驛第一ホーム階段降り口に置いて出迎へ人と挨拶を交してゐる隙に該トランクを竊取した太々しい泥棒がゐる、トランク中には匪賊の血をなめた榮譽の日本刀二振り、現金三十七圓六十錢その他があつたが屆出により大連署では目下犯人嚴探中

北村女將奇禍

市内美濃町八七藝妓置屋北村席北村りう（五）は五日午前十二時三十分吉野町大タク月洞義雄（二）の運轉する自動車に乘り吉野町六十一番地道路に差蒐つた時車が急カーブをなさんとし雨の爲め後車輪がスリップし人道に乘上げこれが爲め乘合せたりうさんは自動車の硝子破片で頭部に治療二週間の負傷をなした、直に聖濟病院に擔ぎ込み手當をなした

青訓射擊大會

關東廳學務課、同體育研究所共同主催になる關東州内青年訓練生第二回射擊大會は來る八日午前九時から大連春日池射擊場に於て擧行されるが本年は特に個人優勝者に對し關東軍司令官より一等から三等迄の個人賞が授與される

江口課長盜難

【新京電話】鐵道省國際觀光局事業課長江口胤顯氏は四日午前七時着列車で來京したが下車の際一等寢臺車内に現金百五十五圓及鐵道省、鮮鐵滿鐵、内地、私鐵などの一等パス在中の金入れを忘れたのをヤマトホテル洗濯部職人閻砂鄕（一七）及び姜寶振（一七）に竊取されパスは洗濯ボイラーに投入燒却されたが現金は新京署の活動で全部本人の手に戻つた

制服の警佐が泥醉し暴行

新京日本橋派出所で

【新京電話】民政部警務司廳官長谷川文吉及び新京城内長通路警察署勤務首都警察廳の警佐大泉桂之助の兩人は五日午後十時半頃へべれけに醉つ拂つた揚句日本橋派出所内に暴れこみ硝子戶を破壞するなどの暴行を働き派出所員に檢束され本署に連行說諭されたが大泉は警佐の制服制帽のまゝで日系官吏横暴の聲が高い折柄この種の醜行には一般から非難されてゐる

惟神協會本祭

若狹町惟神協會では七日午後七時より宵祭八日午後一時より本祭を執行する本祭終了後神子大和舞、津田彥六先生の講演、活動寫眞等あり、七八兩日に亘り奉納生花の催しがある多數の參拜者を歡迎する由

三倉家不幸

市内東公園町七番地三倉商店主三倉誠吉氏夫人春子さんは豫て病氣療養中のところ四日午後十時死去、葬儀は六日午後四時より天神町明照寺に於て執行した

敦賀新潟行

河北丸

大連發　十月七日午後四時
敦賀着　十一日早朝一泊
新潟着　十三日早朝

	敦賀	新潟
特等	三五圓	四〇圓
並等	一五圓	一八圓

大連汽船株式會社　電話七一三一番
埠頭二〇番バース前に切符發賣所あり

天氣豫報

七日　北西の風（晴）一時曇

滿潮（午前零時一〇分／午後六時一五分）
干潮（午前六時／午後一五分）

各地溫度（六日午前十一時）

大連	一九	奉天	一四
旅順	一九	新京	一三
營口	一六	新義州	一九

けふの小洋相場（十一時半）

金百圓につき一二一圓八〇錢

善鬼惡鬼（220）

平山蘆江作　刈谷深隍繪

命にかけて（五）

女鹿屋へ入つたおはまは、金太郎を靄のはなれへ待たしておいてしばらく奥へ入つてゐた。

女鹿屋の表のものも、奥のものも、お濱のする事に、文句をいふものもなく、不審を打つものもなかつた。

尤も、船から上る時、おはまは「ねえ、金太、鐵五郎の死んだ事を、私たちの口から皆に云つたものだらうか、どうだらうね」と聞いた。

「仰しやつた方が好いと思ひますが」

「でも、それを今いふと、私は當分、あと始末の爲めに、ここへ殘らねばならない。殘るのは當然かも知れないが、そんな事で、一日でも二日でも、日をすごすと、樂齋の、あの氣性で、又しても、どんな事を仕出來さないとは限らないんだが――」

さう云つて、考へ込んでゐたのだつた。

「それもさうでござんすね」

「いつその事、不實のやうだが、けふのところは、默つてゐやうぢやないか。いづれ、一刻か半刻の後には、藤助の方から知らしてくれるにちがひないんだから」

さういふ風の申し合せで、おはまは女鹿屋へ入つたのだから、金太も離れにおはまを待つてゐる間議にも餘計な事はいはなかつた。

舊惡を持つてゐる鐵五郎が死んだのだから、この事を、家のものに、早々と知らせたら、女鹿屋の身上をお上へ沒收される時機を早める事にもなるんだといふ事が、金太にも判つてゐた。

默つたまゝで、離れで待つてゐる金太の目前に、おはまが戻つたのは七つ下りといふ時刻であつた。

あとはすぐに舟は千住の岸を出て、小梅へ一直線に大川を突切りはじめた。

その舟の中で

「金太郎」とおはまが呼んだ。

「お前、いくつにおなりだえ」

「二十一でございます」

「好い若い衆におなりだね」

「へイ」

「お前、これから先どうする氣だえ」

「どうと云つて、別にかはりはございませんが」

「お前さんは覺悟をしておいでの筈だが、お前の父さんはもう長い壽命ぢやあるまい」

「へイ」

「女鹿屋の方だつて、綾瀬の繩張だつて、鐵五郎がなくなつた以上これとても、例の女房殺しの一件で、お上へ沒收になるんだね」

「へイ、大方さうなるでございませう」

「そこで、お前はどうするといふのさ」

「へイ、どうと云つて――」

「まさか、その盛りの身體で、意氣地もなく、尾久の里の渡し守になつて了ふのもあんまり藝がないやうだが」

金太は默つてゐた。自分もその事を考へないではなかつたのだ。考へても、これから先の始末はついてゐなかつたのだから、默つてゐるより仕方がなかつた。

「私と一緒に小梅の人になる氣はないかえ」

「ありがたうございます、併し、お邸へ行きましても――」

「なアに、そんな心配には及ばない。知つての通り、樂齋さんだつて、五郎兵衛だつて、あれだけの數れつここになつておいでだもの、お前一人の出世の道ぐらゐはどうにだつてつくといふものさ」

金太は何となく、ゆく末が明るくなつた氣持だつた。

「實をいふと、私は今、女鹿屋に預かつてあるおこのを見たので、不圖思ひついたのでお前にこんな事をいふ氣になつたんだが、おこのを引取つて、お前と見合はしたら、好い夫婦になるんぢやないかと、まア、そんな事を考へてゐたのだが」

此の話も、金太を嬉しがらせる話にちがひなかつた。

「考へるまでもない事だらう、何もかも私に任せておきなよ」

舟から上り際に、命令のやうに云つた。

一足先に岸へ上つた金太が、さし出した手を兩手でしつかり押へて、ニッコリ笑ひながら

「かういふ風に、何もかも、私へ任せてお置きといふのさ」とニッコリ笑つて見せた。こんな時の顏がぞつとするほど仇つぽいお濱である。

協和會館映畫『青の光』上映

大連滿鐵社員倶樂部では來る七日午後六時四十分から協和會館で映畫會を開催上映々畫は獨逸ゾーカル山岳映畫「青の光」パ社喜劇映畫「戀愛百科全書」及び前寫しパ社映畫「子供のレヴュー」コロムビア映畫「水兵の夢」で會費四十錢、會員外六十錢である

大劇に篠田實

浪曲篠田實が六、七、八日の三日間大連劇場に出演、得意の「紺屋高尾」を呼びものに入場料は八十錢均一で初日讀物は左の如くである

▲鼠小僧次郎吉、篠田實行▲野狐三次、浪花節傳▲友情の田植木村友明▲大石內藏之助、東家樂友▲釀釜の血煙、浪花亭愛吉▲紺屋高尾、寛政力士傳、篠田實

尺八セロ名手鈴木藤枝女史
近く來連協和會館で演奏會を開催

日本女大出身のセリストとして又本邦女流尺八界の名手として令名あり昭和三年セロ研究のため渡歐し巴里のカザール氏その他各國の巨匠に就いて學び殊に尺八と洋樂の結合に成功し時の佛國大統領ドゥ[illegible]ル氏にその妙技を[illegible]五年の[illegible]鈴木藤枝女史は[illegible]行曲の後、近く來連し協和會館のステージでその妙技を示すこととなつた【寫眞は鈴木女史】

七年出廻年度 重要特産輸出成績

意外の成績を示す歐洲仕向

滿洲重要物産組合調査による昭和七年度(七年十月より八年九月に至る)の大連輸出特産をみるさ、大豆は百九十一萬八百十九瓲、豆粕は七十一萬七千六百五十五瓲、豆油は五萬九千五十九瓲、高粱は六萬九百七十一瓲であつて、これを前年度の輸出に比較するさ、大豆は二十九萬一千九百六十瓲の激増を來したが、豆粕は十九萬四千七百六十一瓲減、豆油は四萬一千九百三十四瓲減、高粱は十二萬二十八瓲減さいづれも減少を示してゐる、今仕向地別に前年度さ比較すれば左の如くである(單位瓲)

大豆

	自七年十月至八年九月	前年度同期
日本	三六八、六六〇	三二四、三三四
歐洲	一、四三四、七三七	九三一、九六四
米國	—	一〇九
南洋	五四、三三〇	七三、一八九
中國	三三、一一三	三六八、二六八
朝鮮	—	—
合計	一、九一〇、八八九	一、六一八、八四四

豆粕

	自七年十月至八年九月	前年度同期
日本	六〇五、一七四	六〇九、六六五
歐洲	七〇、七七九	六四、三六九
米國	三四、二六	一五、二三四
南洋	四八二	四七
中國	一〇、七七七	二三五、九七〇
朝鮮	六、三三八	六、三三一
合計	七七七、六六五	九二二、三三六

豆油

	自七年十月至八年九月	前年度同期
日本	一〇三	一一五
歐洲	三三、七七三	三五、八九三
米國	二、一七三	二〇九
南洋	—	四
中國	三三、〇一六	六四、七六〇
朝鮮	一四	二三
合計	五九、〇九九	一〇〇、九九三

高粱

	自七年十月至八年九月	前年度同期
日本	三六、四八二	六三、〇〇四
歐洲	—	二一、五九九
米國	—	—
南洋	—	—
中國	三、九五九	九四、三〇一
朝鮮	五三〇	二、〇八八
合計	六〇、九七一	一八〇、九九九

右の如く大豆は浦鹽輸出の激減から日本向で十三萬瓲増、歐洲向で五十萬瓲の激増を示したが、支那向に於ては例のボイコット的高率關税の障壁に妨げられて三十三萬五千瓲餘の激減を示し、南洋向にて二萬瓲減を來したので、總計に於ては二十九萬瓲の激減さなつてゐる、豆粕にあつては日本、歐洲、米國、南洋等いづれも差した變りはないが支那向に於て一擧二十萬瓲の激減を示し、豆油にあつても同様支那向に於て四萬瓲の減少、高粱は歐洲向皆無さなつたが二萬一千五百瓲の減少を示すさ共に、支那向で九萬瓲の激減を來し日本向、朝鮮向の輕微の減少さ合し十二萬瓲の減少さなつてゐる

獨の壓迫政策

まだ實際に響かない

浦鹽經由減少も一原因

昭和七年度滿洲大豆歐洲向大連輸出は別項の如く百四十三萬四千瓲餘で前年度に比較し五十一萬瓲の著増を示した、之が主要原因は浦鹽輸出並に北鐵による陸路輸送激減の結果さみらる、卽ち前年度の歐洲向浦鹽輸出大豆は四十六萬瓲陸路輸送は約二十三萬瓲合計六十九萬二千瓲である、然るに昭和七年度の浦鹽輸出は大約十九萬瓲さみられるから差引前年度に比して五十萬瓲の減少さなるわけである故にそれだけ南下して大連輸出が著増したものさみて大體差支なからう、陸路歐洲向輸出が今年度に於て幾何であつたかは容易に判明し難いが、いづれにせよ特記するに値せざるべく、かくて歐洲向滿洲大豆は大連輸出百四十三萬瓲、浦鹽輸出十九萬瓲、合計百六十二萬瓲さなり、例年の輸出を百五十萬瓲さすれば却て増加したわけであり、ドイツの滿洲大豆壓迫の課税政策は未だ數量的に現れなかつたさみて宜い

原預金部課長の 滿洲金融視察

【東京六日發電】大藏省預金部運用課長原邦道氏は七日東京出發十一日朝釜山上陸滿洲へ直行最近における滿洲の金融狀態を視察することゝなつた

鮮米滿洲輸入

朝鮮米の滿洲輸入は事變以來激增を示してゐるが、九月中の輸入高は一萬六千石を超え昨年十一月以降の累計は八萬九千石を突破し昨年中の十一倍さなつた

印度側提出三案 我方で拒否

承認出來ぬものばかり

【シムラ五日發國通】日印シムラ會商は開會以來前後四回綿製品關税の引下げさ輸出統制さを骨子さする日本代表部の提案により果然本舞臺に入つたが、五日午前十一時より開會された第五次會商に於て印度代表部は豫想された如く日本代表部の關税引下げ要求には觸れず、印棉買付最低量の決定雜貨類の輸出統制並に圓爲替變動の對策等日本代表部の容易に容認し得ない頗る蟲のよい對案を提出し來り、比較的順調に進んで來た日印シムラ會商は俄然一大暗礁に直面するに至つた印度代表部の對案要旨次の如し

一、日本代表部は綿製品輸出を統制し右統制限度迄輸出量を日本綿製品に對して承認すべき事を要請したが右割當數量決定の交換條件さして日本政府は印棉買付年次最低量を公約し得るや

一、綿製品以外に印度市場に輸出される雜貨類につき輸出を統制し、印度市場に於ける割當量を決定し得るや

一、日印兩國間に於ける圓、ルピーの爲替率は將來何うなるか右爲替對比が大幅の變動を受け今回の會商に依つて成立すべき諸協定に影響を及ぼす場合爲替の變動に應じて協定に伸縮性を與へるか等で日本代表部は右提案の第一の問題に對しては帝國政府の關知する所でないさ印度代表部の要求を一蹴し印度代表は印棉買付量決定問題を日印民間協議會に移すことを提案し、日本代表も右提案に同意した、第二の問題に對しては日本側は明確にこれを拒否し更に圓及びルピー爲替比率の變動を豫想して豫め伸縮條項を設けることは不可能なる旨を言明した、かくして印度代表部の提出した三項目の殆んど全般に亘り日本代表部は明確に拒否的回答を與へた

上海在銀移動

【上海】當地五日の在銀は前週に比し左の通り增減を示した

兩銀	八十五萬三千兩	減少
弗銀	百四十七萬弗	增加

日印會商に暗礁

「印度側不承認案提示」

【シムラ五日發國通】第五次日印會商は五日午前十一時開會、印度側は豫期された如く日本側の關税引下げに觸れず、印棉買付査定量の決定、雜貨輸出統制並に爲替變動對策等日本代表部の容易に容認

突堤完成すれば 百萬噸能力發揮

明後年秋の羅津港

小川國際運輸海運課長談

國際運輸海運課長小川亮一氏は先般來北鮮方面の輸送關係を視察中であつたが、歸途京圖線經由五日夜のはさで歸連、左の如く語る

羅津港さ總督府さの連絡は大連港に對する關東廳の如く圓滑には行はれてゐないらしい、從つて北鮮鐵道管理局や羅津築港建設事務所幹部はこの點に腐心するさころ頗る多大なるものがあるやうだ、羅津方面の人は特産そのものに大した興味も知識もないらしく、愈々出廻つてみればどうなるか判らぬさいつた考へ方である、雄羅線は明後年秋に開通する豫定だが、それさ同時に羅津港の第一期工事さしての突堤が完成する、その際は百萬噸の貨物收容能力を發揮する

ここになるだらう、こんな事情で今秋の特産出廻りは大した期待は有たれぬわけだ、今回は北鮮の輸送關係を如何にするかの問題には觸れなかつた

防火塗料 實物耐火試驗

滿鐵大連工事事務所主催

滿鐵大連工事事務所ではかねて優秀防火塗料の調査をして居たが今度數種の優良品を得たので大連鐵道事務所及大連保線區さ協力し七日午後二時より大連機關庫北方滿

……を行ふ由で試驗品は

アンチパイロール　大倉
マグネシヤ塗料　大浦
ダフタイト　壽

の三種で、該塗料を素材及び枕木新品に塗布、數日間放置せしめた後石油を撒布點火し至炭火をふり掛けプローラン吹き附け試驗等を行ふもので催者側では各當業者に案內狀を出して居る

東新株上放れ 五品も昂騰

六日前場北濱定期の前場寄付は一圓十錢高、大新六十錢高、引け十錢高、鐘新二十錢安、……十錢乃至一圓二十錢高さ強調り東京短期の東新は八十錢安圓臺に寄つたが引は四圓二十……の百九十七圓ドタさ急騰した地高の原因は日銀の公債賣止やコールの引緩みから變態的引締りも緩和するものさの觀はれ一方日支關係好轉說など……れ突込み賣りの反動にて賣屋……れ上げによるさ傳へられるがは內地高につれ五品は小一圓昂騰し他株も強調を示した

州內果實品評會

明治節佳節をトし 旅順昭和園に於て

關東州果樹組合では創設以來品、多產、統制を目標さし、果樹園業の發達に努力し來つ……果、今や組合員三千二百餘人擁し、栽培面積五千百八十餘……生產額は二百五十萬貫に達し……も年々幾何級數的に增產する況にして、販路は南洋上海方……始め昨年よりは更に北滿地方大進出を試み、特に有望な市るハルビン、チチハル、新京……大量出荷する機運に際會せしめて、この機會に組合員を刺戟……層品質の向上さ大衆の嗜好……する目的により、來る十一月……

電報料引下問題 遞信局動く

電々會社に報告下命

右につき前田部長所見披瀝

大連商工會議所から火蓋を切つた電報料引上反對運動は料金の日滿經濟界に及ぼす影響……て重大で一般民心に多大の……を及ぼすため燎原の火の如く……に蔓延全滿各地の商議同業……齊に起ち反對運動を起します……

臺灣產バナナ 前年に對三倍の輸入

當業者は市場擴張に努力

滿洲國商標法の一瞥 (八)

中村如峰

七、聯合商標と團體商標(承前)

▲**團體商標**　滿洲國商標法における團體商標さは、同一商品に使用する商標を共同若くは共有する場合をいふが如くであり、その規定の如きも商標の登錄出願に依り生じたる權利が、共同出願に係るときは、他の出願者の同意あるに非ざれば、自己の權利を讓渡することを得ず(第七條第二項)さ出願中の權利讓渡を規定し、次に商標專用權が共有に係る場合に於ては、各共有者は他の共有者の同意あるに非ざれば、其の持分を讓渡することを得ず(第十七條第四項)さ專用權持分讓渡の場合を規定し、また數人共同して商標の登錄を出願する場合に於ては、營業を共にすることを證する書面の差出しを要し(施行細則第二十三條)出願請求其他の手續を爲す場合は特に代表者を定めて商標局に屆出でなければ、商標專用權の共有者卽ち團體商標權者は各人互に代表するものである(同第二十四條)之さ同樣の意味で團體商標專用權に關して、評定を請求する場合に於ては、其の共有者卽ち團體員全員を以て當事者さ爲す(同四十一條)ことになつて居る、團體商標に關する規定は大體以上の如くであるが、之に因つて略滿洲國商標法上の團體商標さはどんなものかを知ることが出來やう。◇

▲**規定の不備**　標章に就ては前章に述べしが如く、商標法上では商標さ標章の區別は、たゞ營利を目的さするや否やの相違……くが如くに見えるが、併し之を……錄商標さ登錄標章を識別する……はなるけれども、商標法上で……標章さいふ場合は、かゝる狹義のものではなく、營利を目的さすると否さを問はず、苟くも取引上に於て或る特定の種類の物品を彰するため、專用せる文字、圖形若くは記號又はその結合は、これを標章さ稱すべきものであると思ふ、商標さ標章さの關係を……く觀する時は、滿洲國商標法……ふ共有若くは共同の商標卽ち……

錢鈔市場の證據金引下げ

門野顧問到着

「世界は何處へ」 新聞聯合社發行

市況(六日)

特產

奧地筋買に高粱昂騰

定期前場

現物前場

錢鈔

材料高午ら反動安

株式

東新上放れ 五品強調

市場電報(六日)

銀塊及爲替

神戸日米

棉花

東京株式

大阪株式

大阪期米

神戸期米

東京期米

大阪棉花

大阪綿糸

橫濱生糸

印度麻袋

上海爲替情報

爲替相場

鮮銀

手形交換高(六日)

奧地相場

錢鈔

特產

各地特產發送高

大連埠頭着貨高

社説　特産低落の對策とその統制

滿洲にも豐年飢饉が襲つて來た。世界的商品である大豆の豐作が、忽ち安値を招び連日の暴落振りで、この分では農村は極度の打撃を免れまいと憂慮されてゐる。豐作が忽ち安値を伴ふ觀面の影響は、恰も日本の米の如き狀勢であるが、米は不作で高値の場合には商工界が打撃を受け高低どちらでも困る。滿洲の大豆は其所迄深刻でないけれども、その價格の高下が非常に重大なる經濟的影響のある事情は、日本の米と生糸とを兼ねたるが如くである。故に此の低落は唯り農村だけの問題でなく、滿洲經濟全體に關するものとして、大に考慮すべき案件であらねばならぬ。

◇

尤も特産暴落の理由は、豐作ばかりでなく、南北支那への輸出減、金融の不良及び獨逸の大豆關稅引上に依る對歐輸出の減少等が擧げられる。支那への輸出減は、滿支關係が恰も經濟的交戰狀態にある現狀に於て已むを得ないが、金融問題は銀高に依る買控へ氣配と共に、銀貨國たる滿洲に於て當然の現象である。周圍の諸國が金貨幣國で通貨價値が安く、滿洲國が支那と共に銀貨幣價値が高いのだから輸出は當然不利益を免れぬ。特産が輸出品の殆んど全部である滿洲は、貿易上損な立場に在るのだ。恰も爲替高の國が爲替安の國の商品に壓倒さるゝ如く、貿易關係が逆調を誘ふことになるので、之を現幣制の下に直に展開しやうとするは無理だ。時機を待つ外途がない。

◇

次に獨逸の關稅高も氣勢を殺ぐ原因となつてゐるが、元來大豆の對歐輸出は、大豆油が歐洲の植物油市場へ割込んだ關係に在るので、餘程警戒を要すべき事情がある。當面に於ては獨逸の關稅問題だけであるけれども、これ等の世界的關係は、將來に亘りて愼重に攻究されねばならぬ。畢竟大豆が世界的商品として立ち行くか否かの問題であるが、約二割の增收によりて忽ち商勢が崩れ、農商界に甚大なる打撃を與へることは餘程考へさせられる問題である。殊に中央銀行の特産解消に依り、自由開放の新局面を展開した特産界の第一聲が此くの如くであるから頗る皮肉な事象を與へたものと云へる。

◇

滿洲國實業部のこれが對策としては、傳へられた如く特産の倉積みを初め農村金融、輸出關稅引下、運賃低減等が擧げられてゐる。爲替關係と同一の金銀比價に依る買控へは、主として邦商の間に行はれるだらうから倉積みの方法が立てば、その賣却には暫く時機を待つのも一方法である。勿論これに伴ふ金融を必要と爲すから、當局は農政上の考慮を拂へるもの、如く、農村金融を掲げてゐるが、日本の生系の如く、特産商の手に渡つたもの、特殊も何れは惹起する問題であらう。又關稅引下と運賃低減は特産を商品として價値づける最も數字的な方法で、特に運賃低減は市場價の生産コストを引下げる具體的手段である。故にこれ等の方法が徹底すれば、其の効果的であることは疑ひを容れぬ。

◇

蓋し特産問題が如上の事態に逢着する時機の來ることは、吾人は一再ならず指摘した所であるが、豐作の上に上記の諸事由が加はり、その時機は案外早く到來した。而してこれに處する方法は、農政上のみならず、商工政策の立場から、特産の自由放任を許さず、適當の指導と統制とを加ふるにあることが、如上實に立證されたのである。上記の實業部の對策は、即ち當面の統制を行ふものであるが、これを徹底するためには、結局日本の米穀法の如く、又蠶絲法の如く、金融を伴ふ一種の統制法が生れるであらうことが想像される。吾人は徒らなる統制を好むものではないが、内外經濟界の複雜なる衝擊は、遂に自由開放を許さぬ現實の事態に逢着したことを思ふものである。

滿鐵經濟調査會の本據を何處に　新京移轉案立消えか

滿鐵經濟調査會の新京移轉が問題となつてゐることは屢報のごとくであるが、いよいよ十月も中旬に近く新京の經調用社宅も完成し、更に中央における關東軍特務部の改造問題も絡んで經濟調査會問題が再び論議されるに至つた、即ち經調は關東軍の北遷に伴ひ當然新京に進出する筈で職制上よりは新京に本據を置いて居るが社宅や事務所がなきために一時大連に大部分の委員及び調査員が駐在してゐた、しかるに今春來經調用として九十餘戸の社宅を建築中だつたので今秋は當然全員新京に進出すべきであるが、最近に至つて滿鐵社内に

經調は大連に本據を置いてこそ完全に機能を發揮し得べく又經調があらゆる資料を新京に持ち去れば滿鐵自體も困惑すべしとの意見が有力となり、これが大勢を制せんとする勢ひを示してゐる、しかし經調は單に滿鐵の機關でなく軍と滿鐵との共棲的機關なので軍の意向をも酌まねばならず殊に軍の特務部擴大强化論には經調を新京に進出せしめて之を完全なスタッフとせんとするものだけに經調北遷が沙汰止みとならんか軍と滿鐵との間にデリケートな感情を發生せしむる虞もあり從つて滿鐵の最高幹部も本問題に對しては極めて愼重な態度を示してゐる然るに最近に至り滿鐵内部において經調自體の擴大强化論が有力となりつゝあり、組織そのものを改造すると共に日滿經濟ブロックの眞の指導者たる使命を果すべく東京にも幹事と相當數の調査員を駐在せしめ現在の二幹事制（現在大連と新京に幹事駐在す）を三幹事制に改め大連を本據として新京と東京に羽翼を張るべしと唱道されるに至つた、しかして本據をいづれに置くにせよ經調が大連、新京及び東京の三箇所に幹事を置き充實した陣容を以て今後の滿洲の經濟開發に寄與せんとするは既定の事實と見られ、こゝに一時的非常時的機關であつた經調は半永久的平時的機關として更生せんとしてゐる

鐵路總局警務廳　新に陣容を整ふ

【奉天電話】鐵道愛護村の建設を外廓運動とする鐵路總局警務廳では鐵路警備の完璧を期する計畫の下に熟練せる關東廳出身の故參警察官約百名を新に採用したが、總局警務廳の統制下に奉天、チチハル、ハルビン、吉林の四ケ所の各路局管内に警務廳を設置し奉天は奉山、瀋海、吉林は吉長、吉敦、敦圖、チチハルは洮昂、齊克、洮索、ハルビンは呼海、拉濱を四平街には警務科を設けて四洮、打通線を各擔任し即時鐵路の安全を計ることゝなり警務科長に警務、防務、監察の各科を設くることになり警務科長には軍出身者を任命し各路局に警部級の警務科長を配置して路警員の人事その他一切の内面的事務を執らしめ防務科長には軍出身者を配して鐵道保護の任に當らしめる方針で六日奉山線には清水科長が任命され有田警務處長と森部警務主任は新任挨拶と紹介のため奉山線路局に向つたが各線警務廳の人事行政も近く決定する筈であり目下警務廳の服務規律と各科の人物詮衡を急いでゐる

燃料費の嵩む滿洲　加俸減は不可能　奉天で大場警務局長談

【奉天電話】菱刈軍司令官に新任の挨拶を述べ、關東廳出張所の事務關係を視察した大場警務局長は語る

新京には現在鹽原秘書官が在留し事務官の課長が交代して出張する外局長としても亦時に事務聯絡のため出張するので特に局長が出張せねばならぬといふこともないので當分は現狀で行くが軍司令部もあり大使館もあるので今後はできるだけ事務聯絡の圓滑を計れやうと考へてゐる

關東廳警察官　も全滿各地の領事館に約一千名派遣をすることゝなり、中七百餘名は既に開始したがその外恩給法の改正で個人としても胸算用から退職する者もあり、或は滿洲國に或は鐵路總局に轉出するので多少人心は動搖をしたが先づ人心の安定といふことが先決問題で一つ活を入れて行く必要を認めてゐる、警察官の配置方面から觀察すると奉天が全面的に中心となつたがそのため人事行政上の關係から警務課を奉天に移すかどうかは今のところでは議題として考へてならぬ、併し警察官の活動狀況から言へば奉天はやはり中心として考慮せねばならぬと思ふ

在外官吏加俸　を廢止するといふ意見は兩三年前にも傳へられたが、滿洲の現狀に在る我が警察官は加俸の點から言ふと何等かの率が好さそうにも思はれるが其割合に内地の機關に比べて俸給額の昇給が遲く結局恩給の點になると非常に率が惡いから加俸を撤廢する譯には行くまい、特に生活費として内地よりは餘分の燃料なども要することであり待遇關係については寧ろ昔より率が惡くなつてゐるのでこれ以上の加俸を撤廢することは出來ない、大藏省としては單に費用も要することだから何とか補給策を考へるかは知らぬが、警察官では一律には行かない、今後の警察事務については高等警察の充實といふことは滿洲においても將來力を加へねばならぬと思つてゐる、なほ全滿各地へ派遣の警察官に對する豫算は

出張旅費其他　手當等を考へて一名一千圓を要し一千名の人員とすれば約百萬圓の豫算を要するが外務省としても官舍その他の負擔は支出されるものと目下折衝中だ、何分着任早々のことであるから各地の情況をよく調査し大いに改革したいと考へてゐる

と局長は六日午後十時四十分發列車で歸旅した

滿洲への投資、移民　日本内地の滿洲認識はまだ淺い　岡喜七郎氏來滿談

【奉天電話】伯爵樺山愛輔氏を團長とする貴族院の滿洲視察團一行は安奉線で六日午後二時到着、驛貴賓室で休憩の後栗野所長、鎌田驛長の見送裡に三時新京に向つたが岡喜七郎氏は語る

何の目的で來たといふ使命は有つてならぬが各地において軍部を始め滿鐵その他民間代表者の意見を聽いて今後の研究に對する對策を自ら考へてみたいと思つてゐる、移民問題にしてもさう多數の人が一時に殺到しても不可能である、この施設も考へて見ればならず滿洲景氣で飛び出した者が旅館にゴロついて遂には日本に引揚げるやうな狀態では駄目であるから根本策をも研究する必要がある、投資するにしても何が好いかさへ内地では未だはつきり分つてならぬ狀態で、その他各種の問題についても容易に素通りしただけでは分らぬが、實情に照らして對策を講じたいと思つてゐる、何れ新京からハルビン方面を視察し十四、五日頃には奉天へ着し二十日頃大連へ着くつもりであると一同は元氣よく出發した

大村監督部長

關東軍交通監督部長大村卓一氏は十日夜着急行にて來連、十一日は滿鐵各重役と鐵道問題について協議を遂げ十二日出帆はるびん丸で東京に赴く豫定

"滿洲の鐵道"を政府に説明　山崎理事七日上京

滿鐵山崎理事は委任經營鐵道問題説明のため七日出帆のばいかる丸で上京するが、六日午後重役室で語る

鐵道問題だけで他に用事は無い佛國投資團の問題もまだドリヴイエ氏と副總裁とが會つてゐないから政府に持つて行くまでには行つてゐない、滿鐵の組織改造問題なども全然話も聞いてゐないしまたあつたとしてもそれ程の大問題なら正副總裁が上京されるだらう、村上理事も上京したいとかの話であつたし、交通監督部の大村部長も十二日に上京するが自分の仕事とは關係は無い、要するに鐵道問題の現狀を政府に説明し向ふの樣子も見て來やうといふのが要件で約二週間東京に滯在する

臺灣石油　試掘奬勵

【東京六日發國通】拓務省では嚢て臺灣總督府と協力して臺灣油田開發を目指して臺灣全島に亘つて試掘中の所この程世界の石油層中九十五パーセントを占める背斜面が臺灣には四十四條（一條の深さは二里乃至三里）あるを發見したのみならず内地最近の試掘成功率が九十一本に對し一本であるに臺灣では二十四本に對し五本といふ驚異的記錄を見るに至つたので來年度より大規模の試掘奬勵を斷行するに決し拓務省及び臺灣當局間に六日より具體的協議が行はれた鑛區として主なるものは鐵水であるが噴出著るしく一億立方呎平均の噴出し一晝夜の最大噴出量三億立方呎のレコードを有してゐる

十月十六日附　滿鐵社員登格

滿鐵では鐵道省からの新社員採用を機に滿鐵全體に亘つて現社員の大々的登格を行ふが六日その登格方針も決定を見、重役の決裁も得たので七日各部に向つてそれぞれ登格候補者を至急總務部人事課に報告するやう通達することゝなつた、登格人員は全く未定で發表の時期も相當に遲れる模樣であるが登格日附は各部共通して一律に十月十六日附を以てすることになつてゐる

復縣鹽田視察

滿洲の鹽田開發に復縣は最も重要な意義を有してゐるが滿鐵および關東廳では共同してこれが基本調査を行ふことになり調査團一行は六日大連發五、六日の豫定で現地に赴いた、なほ一行中滿鐵よりの參加者は奧村業務課長、世良審査役、石井經調々査員、小谷囑託その他數氏である

卸賣物價騰勢

【東京六日發國通】日本銀行調査に依れば前月一分二厘低落せる卸賣物價は本月に入り騰勢を示し調査品目五十六品中低落したるもの十六品なるに對し騰貴したるもの二十七品にして總平均指數は前年に比し一分三厘方騰貴した

井上司令官

【奉天電話】高粱刈取後も依然として匪賊の逃避所として討伐隊を惱ましてゐる遼河流域の蘆原地帶を中心とする四角地帶の匪賊討伐の徹底を期するため本年より斷然右蘆を刈取ることになつた、しかしてこれが視察のため井上獨立守備隊司令官は省警備司令部滿良少將同伴六日午前八時五十分發列車で營口に向つた

電報料問題　大連商議役員會

大連商工會議所では五日午後三時半より電報料問題につき役員會を開催、瓜谷兩副會頭以下各常議員、特に藤井遞信局長も特別常議員として臨席、高田會頭出張中のため築島副會頭議長席に着き關東廳よりの補助金下附其他の事務報告あり次いで櫻内實行委員長より上京運動の經過につき約一時間に亘つて詳細なる經過報告を行ひこれに對して小澤常議員よりも料金引上の一般民心に及ぼす悪影響甚大なるものあり死を賭して目的貫徹に邁進すべしと激勵、引續き石田書記長代理より電報料値下問題に對する中央滿蒙協會、遼陽實業協會の書信を朗讀し更に今後の運動方法に關して協議に入つたが藤井遞信局長より電報料金改正に關する經緯並に遞信局の態度につき詳細説明し種々意見の交換を遂げたが具體的決定を見ず實行委員會に一任することゝし五時五十分閉會したが實行委員會は七日の定例午餐會に引續き開催することに決した

日本商議總會に提案　電報料引下げ

電報料値上問題は去る三、四の兩日ハルビンで開催された滿洲商議聯合會に於ても鐵嶺、安東の兩商工會議所より提案され高田大連商議會頭よりも大連商議の運動經過並に櫻内實行委員長の上京運動經過に就き詳細説明を試み兩商議の提案を支持對策につき協議の結果料金引上の各方面に及ぼす影響の重大なるに鑑み舊料金に還元方滿場一致決議し十一月東京で開催される日本商議定期總會に滿洲商議聯合會案として提案目的貫徹に努めることに決定した

關東廳辭令（六日）

正六位新里朝明、正七位勳七等兒玉丙三、須田德市、米村甚太郎、野村廉治郎、有川博基、中村幸兵衛、片桐壽八、多田榮、橫井武夫、中川周作、井之上善藏、橋詰勉、從七位勳七等金丸勳、堀井長三郎、荒井芳太郎　敍勳六等授瑞寶章（各通）

正七位勳八等岩本宗太郎、國時英雄、從七位勳八等增田隆治、重信二郎、松永博學、林幹二、矢口清藏、佐々木伊久三郎　敍勳七等授瑞寶章（各通）

長谷忠二、鈴木惠四郎　敍勳八等授瑞寶章（各通）

人

▲坂西利八郎氏（貴族院議員陸軍中將）六日入港吉島丸にて來連
▲石井成一氏（滿鐵上海事務所長）同上來連
▲大淵三樹氏（滿鐵理事）六日午後四時二十分發列車にて新京へ
▲河本大作氏（同）同上
▲アール・エー・メー氏（日本ゼネラルモータース專務）來連挨拶のため六日午後本社訪問
▲加藤直士氏（同社專務補佐）同上

小觀

日印會商に、印度側は日本の要求せる關稅引下には觸れずして日本に對する要求だけを主張す▲答辯困難な場合には、顧みて他をいふのは國際談判の定石だ▲滿蘇の北鐵會商でも、蘇側は滿國の要求するルーブル換算率には觸れず、別の問題で引延ばす▲かくて、二つの會商共に未だ山は見えぬわけだが、さう手つとり早く運ばぬことは始めから覺悟せねばならぬ▲米國勞働總同盟全國大會、ドイツ商品を全米から驅逐せよと決議す▲ナチスの勞働團體彈壓に對する報復だが、ナチスの荒い鼻息には歐洲諸國にも反感漸く高まつて來た▲ヒットラーの内外八つあたりには、國内でも疑懼の念を懷くものがあるさうだ、ムッソリーニの始めの用意周到さとはやり口が違う樣だ▲米國在鄕軍人團大會、ソ聯承認反對、東洋移民制限制度否認を決議す▲初代のアフガニスタン公使來る、同國は日本を理解し、日本品を歡迎すると明言してゐる、東の光追々と西に及ぶ▲臺灣石油試掘好成績とは耳寄りの話――。

再燃せる米國の蘇聯承認論（上）　贊否兩論の根據

アメリカのソウエート聯邦承認説が再燃してゐる、一部では急迫せる極東方面の勢力關係に著眼するためとの噂もあるが、然し今春最近日を逐うて緊密化しつゝある兩國間の經濟關係を更に實質化せんためと見る方が妥當である。

×

ソウエート聯邦が五ケ年計畫を開始して以來多額の商品がアメリカより輸出された、殊に本年からは第二次五ケ年計畫が開始されて引續き各種アメリカ商品の輸出される可能性は益々多くなりつゝある之等が承認論を再燃させた根本原因である、然し貿易を促進させるために何故ソウエート聯邦の承認を必要とするか、ソウエート聯邦は周知の如く貿易國營を斷行してゐる、ロシアには一人の貿易商も一軒の取次店もない、貿易は總て當該國駐在通商代表部との直取引である、而してアメリカは未だロシアを承認してゐないから、この取引にアメリカ政府は表面干與しない、アメリカ商人は結局ロシア政府といふ漠然たる商人を相手に取引しなければならず、これは不便でもあり、不安でもある、一方現在迄の對露貿易の實際の經驗によると緊密な貿易關係にあり乍ら長期のクレヂットを設定しない限り取引が殆ど出來ない、而もアメリカ商人中には誰一人かゝるクレヂットを自力で設定して取引し得るものはゐない、大體右の如き事情から、兩國間貿易の促進には政府がロシアを承認して對露取引を補償するなり何なりしなければならぬといふことになつたのである

×

勿論アメリカ國内に於いては承認に就いては贊否區々であつてその危險性を説く者も可成り多い、然し贊成論者は次の如く述べて承認不可論の根據なき所を指摘してゐる――

ロシアが輸入決濟のためロシア商品を殊に法外の安値で輸出し、ためにアメリカ市場を攪亂するに至らんとの危惧があるが、之は一片の杞憂に過ぎない、蓋しロシアから送られる商品は毛皮、獸皮、藥用植物、麻等の類でアメリカ品と競爭的地位に立つべきものは殆どないからである。

又ロシアを承認するためにはロシアが帝政時代及ケレンスキー時代に殘した舊債務を支拂つてからでなければならぬと説く者があるが、若しさうとすれば戰債支拂を怠つてゐるフランス、ベルギー、借金を返さないベルギー、支那、トルコ等の承認も取消されねばならず、之は何等根據のない理論である。

更に彼等は嘗て一九〇五年に當時のルーズヴエルト大統領がポーツマス會議を開いて日露間を斡旋したこと及び一九二一年のロシア大飢饉の際商務長官たりしフーヴア氏がその救濟に乘り出したこと等を擧げて因緣の淺からぬことを説き、單なる感情的立場よりするロシア排撃を一蹴してゐる。

×

次に承認反對論者の意見を聞かう――

ロシアは貿易を國營してゐる從つてその貿易政策は人民の福祉の增進と云ふよりは國家政策と言ふ立場から左右される、その結果ロシアは現在國内工業化に必要なものゝみを買取つてゐる、從つて今後建設が一段落すれば自足自給狀態となり、最早や外國品を必要としなくなるであらう。

ロシアは輸入に對してはクレヂットによつてゐるが現金は支拂はない、之に反し輸出は全部現金の支拂を要求する、この手に乘つた國にイタリーがある、イタリーは二年間に二千九百萬弗のロシア品を輸入しその殆ど全部を現金で支拂つた、一方ロシアへ輸出した代金一千四百萬ドルは九ケ月乃至十二ケ月といふクレヂットである、然るにイタリー銀行はそのクレヂット手形に對する割引をせぬことに決したゝめ、今に至るもイタリーの商人連はそのクレヂット手形を抱へて弱つてゐる。

ソウエート聯邦は亦輸出入の均衡に腐心して居り、その辻褄を合せるため屢々廉價な原料品のダムピングを行ふから取引國の市場は混亂させられる、かゝる狀態では到底通商關係を保持して行くことは出來ない。

ロシア市場は元來生產財の買込先であつて消費商品の買込先ではない、而してアメリカの輸出すべき生產財は例へば工業機械に就て見ても各種消費商品の合成物である、一方ロシア政府は自國產の消費商品を强制的獨占的に國內市場で賣却してゐるかゝる現狀にあるに拘はらずアメリカ商品が果してロシア市場に有効に割込み得るであらうか

ロシアは第一次五ケ年計畫では專ら機械の輸入を行つたが、第二次計畫の開始された今年からは主として輕工業用商品を求めてゐる之はロシア市場が何等恒久性を有するものでないことを示すものである。

八相　驛の小荷物　迷惑生

投書歡迎

◇小生宅へは毎日内地より第三種郵便物が來る樣になつて居る、初め郵便で來て居たのを驛の方が一日速いので變更したが一月も事故なしに來た事がなく二三日遲れて來たり全然送つた荷物が着かぬ時もある。

◇こんな時問合せても要領を得ぬ返事許りだ、何とか確實な方法に出來ぬものか、先日は他所の荷物を渡された時もあるし、異つた人が調べたら有る時などあり、驛員の不注意の程察せられる。

◇又先日新聞で改正になつた事を問合せると知らぬ驛員の人も同樣だつた、新聞に出て居る事を告げられて初めて調べ直して宜しいと云ふ、荷物を引取に行くと少し大きい荷物なら赤帽を雇へと云ひ、出しに行くと秤にかけさせたり卸させたり丸で驛助手扱ひだ。

◇以上は支那人が小僧だから皆ぶつぶつ云ひながらも早く片附け度いために手傳つて居るがつまり驛員の緊張が缺け事變のためでもあらうが事務に馴れて居ないのと手不足も感じられる。

◇敏速正確に品物が到着する樣驛員を訓練すると同時に働く人員を增す必要があらう。

罪の原因を除け　平凡生

◇兒玉夫人の不倫事件に對する世間の批評が種々喧しいやうだが吾々の周圍を見る時これに類似した問題は決して少くはない。倫理學の公式に依つて批判する前に吾々は實際問題として自己の生活を見やう。

◇概して人は他人が罪に到る途上に於ては却てこれを喜び、甚だしきに至つてはこれに拍車をかけてやり、一度彼が罪に陷れば今迄の態度を豹變して酷評を浴びせかける事が多い。

◇吾々は罪を極度に憎みながらも罪の素因たる酒やダンスやその他の遊び事を友人、後輩に勸める事においては人後に落ちない寧ろそれはより深い友情とさへ考へられてゐる。

◇上役や先輩や年長者はこの點をよく考へて戴きたい。眞に隣人のために思ふならば、彼が罪に到る機會を出來るだけ少くしてやり、不幸にして彼が罪に走つたならば、酷評よりも寧ろ愛と慰めの言葉を以て彼を正しい悔改めに導き、更生の道を講じてやるべきではなからうか。

◇世の批評者よ、罪の機會を除去する事においては嚴にして、罪を責める事においては寛容たれ

市況（六日）

株式　東新株强調　五品續騰

東新後場强調を入れ當市の五品二三十錢高、東新は一二圓高と續騰した

◇後場

◇定期（單位十錢）

銘柄	當限	先限
五品 寄	[illegible]	[illegible]
五品 中	[illegible]	[illegible]
五品 引	[illegible]	[illegible]

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
錢鈔	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿鐵新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

特産　大豆昂騰　賣物薄に

後場の定期は大豆は品薄を眺め賣物薄く昂騰を示し、豆粕は閑散乍ら大豆に伴ひ強調を辿り、豆油は乘替の外買氣薄に軟調を呈し、高粱は大豆高を眺め強調を辿つた

◇定期後場（銀建）

▲大豆（昂騰）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　百七十車

▲普通大豆　出來不申

▲豆粕（强調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	一一〇〇	一一〇〇	一一〇〇	一一〇〇

出來高　六千枚

▲豆油（軟調）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
十月限	一一一〇	一一一〇	一一一〇	一一一〇
十二月限	一〇九〇	一〇九〇	一〇九〇	一〇九〇

出來高　二千箱

▲高粱（强調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　二十二車

▲包米　出來不申

◇現物後場（銀建）

品名	寄付	大引
混保大豆（袋込）（裸物）	四一八〇	四二二〇

出來高　三十車

普通大豆（袋込）（裸物）　出來不申

品名	寄付	大引
豆粕	一二〇〇	一二〇〇

出來高　二千枚

豆油　出來不申
高粱　出來不申
包米　出來不申

錢鈔　材料薄乍ら　鈔票軟調

後場材料薄ながら弱人氣で三四十錢安と軟調を辿つた

◇定期後場（單位錢）

限月	寄付	高値	安値	大引
期近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高期近　六十五萬圓

◇現物後場（單位錢）

時	銀對金	銀對洋	金對洋
一時	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高（銀對金九萬四千圓　銀對洋九千圓）

商品

商品後場　出來不申

奧地市況

限月	品名	寄付	大引
現物	▲奉天國幣對金票	一〇六、八〇	一〇六、八〇
先限	▲開原國幣對金票	九三、五五	九三、四〇
現物	▲新京國幣對金票	一〇六、七〇	一〇六、七〇
現物	▲哈爾濱國幣對金票	一〇六、九〇	一〇六、八〇
先限	▲安東鎭平銀	一、四七二	一、四七二
十月	▲哈爾濱大豆	五七〇〇	五七〇〇
十一月		五五〇〇	五五〇〇
十二月		五六〇〇	五六〇〇
十月	▲哈爾濱小麥	七五五〇	七五五〇
十一月		九八二五	九八二五
十二月		九九二五	九九二五
十月	▲新京大豆	一〇、三〇〇	—
十月	▲新京高粱	三、四〇〇	—

市場電報

神戸特産：大豆現物、豆粕現物、豆粕先物、滿洲小麥先物、豆油現物 [illegible]

東京株式（長期）：東株、東新、五品（寄付・後場引） [illegible]

東京株式（短期）：東株、東新、豆 [illegible]

大阪株式（長期）：大株、大新、鐘紡、鐘新、東株、東新、日糖、郵船、滿鐵、滿鐵新 [illegible]

大阪株式（短期）：寄値、引値、高値、安値 [illegible]

大阪期米：十月、十一月、十二月 [illegible]

神戸期米：十月、十一月、十二月 [illegible]

東京期米：十月、十一月、十二月 [illegible]

大阪綿糸：十月、十一月、十二月、一月、二月、三月、四月 [illegible]

橫濱生糸：十月、十一月、十二月、一月、二月、三月 [illegible]

家庭

女性の求人が多い 變つた現象

九月就職戰線風景

幾久屋デパート出現が描く

內地の深刻な就職難から失業群は日と共に增加する一方で如何なる對策も此の津浪のやうな群列を押し止める力がない、斯うして

逼迫 した經濟生活の重壓に苦しむ失業者達はいたづらに認識不足の風說にさらはれ一攫千金を夢みて渡滿し豫期に反した滿洲の實情に驚て一人々々この劇甚な生存戰線上から落伍し或は職業紹介所に……簡易宿泊所に……或は社會事業協會にその疲れた身體を持ち込んで行くといふ有樣である殊に事變以來

沿線 諸都市の人口の激增と各種社會問題の發生とは遂に滿鐵王國を動かし沿線各地に方面委員制度を設けこの物凄い失業群を救ひ出さうとする計畫案をまで產むに至つたが一體この滿洲の玄關ともいふべき大連市の本年の就職率は……とくらべてみると大連市の職業紹介所本年一月から九月迄の

	男	女	計
求人	五七六	五〇一	一〇七七
求職	一六八〇	三八二	二〇六八
就職	二八七	二〇五	四九六

未定ではあるがこの中の大部分は現在

新築 中の幾久屋デパートの店員希望者であり、それに次いで多いのは、僕婢、外交集金人、配達人等であるが配達人の就職は殆ど支那人がしめてゐる、この統計は勿論一例に過ぎないが明白に深刻な就職難を反映してゐる、更に九月中における統計を覗いてみると

	男	女	計
求人	一九三	二〇八	四〇一
求職	七八七	二三〇	一〇一七
就職	三六	一二二	一五八

（但し幾久屋デパートの就職者未定）

で特に女性の求人が多いのは新築デパートの關係であるが、大體においての女性の求人の多いことは內地に

比較 して變つた現象でその大部分は內地から來た人が多いといふことである【大連市職業紹介所調】

男子冬服のモード

今冬から……1934年にかけての殿方の〃冬服界〃を覗いてみませう

色調は茶・鼠系統が中心

◆スタイル…上着は衿が廣目になり、折返しの下部に圓味を持たせ襟先がヒシと劍襟になり技巧的怒り肩が今年はおとなしく自然の肩迴りに戾りました、袖は細目に締り加減で長目となり腰はピツタリ、胴の中央も矢張り締り加減で丈は長目、釦はシングルの三ツ釦で中釦一つをかけるだけが粋好みとされてゐます。

◆チヨツキ…胸開きが心持ち狹く丈は短くなつてゐます、釦はシングル好みの人には六つ普通五つ

◆ズボン…膝上のあたりから裾に行くに從つて細くなつてラッパズボンはノック・アウトされて來ました、腰迴りは餘裕をとつて前に襞二筋位を入れ股上は思ひ切つて丈を長くし極端なのは胸のあたりまでになりました。

◆生地…やはりラフな感のするもので手觸りの柔かいウーステツドウイド、ホームスパンが一般に歡迎されてゐます

◆色調…茶が先づ中心で日本人向きとして特に茶と同等に鼠系統がもてはやされてゐますが、この冬から一九三四年にかけての主調色となるものは例によつてプリンス・オヴ・ウエルス好みのフレツシユな濃綠が世界的に支配してゐます。

◆オヴア…チエスター型でウエルス殿下お好みのスタイルがやはり流行の中心となつてゐます

◆お値段…背廣國產で三十五圓―九十圓、舶來品背廣五十圓―百二、三十圓、オヴア三十五圓―九十圓、オヴア五十圓―二百五十圓位（大連連鎖街勝又洋服店調）

キヤンプ生活を家庭に延長せよ

大連少年團を去る

〃生みの親〃阿左見福馬先生

大連少年團創立以來十年間を此の事業のため盡力された大連常盤小學校の阿左見福馬先生は今度同校をお退きになり滿洲國の童子團のためお盡しになる事になりましたので先生をお訪れしてその尊い經驗談を伺つてみました。

十年前の創立當時は社會の人達から隨分白眼視されましたが最近は漸くその內容を理解されるやうになつて來たので嬉しく思つてゐます、この

長い十年間 に兒童を取扱つて感じた事はキヤンプ生活中兒童が非常に作業を歡び、御飯炊、薪の焚き方、お菜の作り方などを各自で出來るやうになり、然も日常生活が正確になることです、兒童達はキヤンプ生活によつて社會訓練をうける最もよき機會が與へられます、大連の兒童に勤勞教育の必要が最近教育者間に旺に叫ばれますが私はこの樣なキヤンプ生活のよいチヤンスを逃さず家庭の人が注意して之れを家庭にまで延長して戴きましたら

餘程效果を 舉げる事ができると思ひます、充分基礎を築かないで大連を去る事を大へん殘念に思ひますが大連も早創立以來十年も經過してゐるのです、これからは少年團出身者が中心となつてこれを充實させ立派なものとされる事を希ひ、同時に日滿兒童の提携の速かに來ることを希望してゐます。

（寫眞は阿左見先生）

可愛い運動會

大連幼稚園では五日午前九時から同園々庭で秋季運動會を催しました、可愛い嬢ちやんや坊ちやんが嬉々として走り廻る姿にお母さん達まで大喜びです【寫眞は（上）同園庭における運動會（下）面白いおんぶ競走】

臺所用具のお手入れ

日常使用されて居ります數々のお臺所用品はその取扱方によつて不衞生にも不經濟にもなるものでして、主婦は女中まかせにせず自身色々の注意をしなければなりません。毎日繰り返し使用される食器類を始め、すべての用具は夫々に相當した御手入れを施される事が肝要でございます。

お皿とお茶碗類

お皿やお碗は、お茶湯の中へ粉石鹼にソーダを少し溶し入れ、柔かいへちまの束子などでよく內外を洗ひ、も一度上からお湯をかけあとよく水すゝぎします。又油氣のものや魚肉類を盛つたあとのお皿は、一旦新聞紙などで油を拭き取つてから石鹼水か米のとぎ水で洗ふときれいになります。又湯呑茶碗などについた茶滋は鹽をつけてキユッキユッと磨くときれいに落ちますが又一晩ソーダの水につけて置いて洗ふと更にきれいになります。たゞしあとの方法は金泥の使つてあるものなどでは、はげるおそれがあります。

ガラス食器

少し位の汚れは食鹽をつけて洗ふときれいになりますが、全體が曇つてゐるやうなのはソーダ液か灰汁で煮洗ひをするときれいになります。煮るには水から入れ、すつかり冷めるまでそのまゝにして置いて取出す事、またコツプや瓶などを洗ふには玉子の殼をくだいて入れ、微溫湯を半分位入れてよく振りますと隅々まできれいになります。またお豆腐のおからに水を混ぜて入れ振り動かして洗つてもよい。またコツプなどは乾いた布巾で一旦拭いてから更にデパートの洋食器部などに賣つてゐるラスターといふ麻布巾できゆつ〳〵と拭くと艶が出て美しくなります

卓上日誌

▲旅順公學堂 七日午前八時同校々庭で秋季運動會開催、なほ兒童作品展も開く

けふのおめでた

▲中島洋海（二八）聖德街二丁目一七六（滿鐵社員）齋藤スミエ（二三）清水町一丁目三ノ八媒介人菊池夫妻、小川夫妻
▲春日寬一（二五）光風臺一九（會社員）橋本シズ子（二〇）旅順高千穗町媒介人八丁夫妻（以上七日大連神社）

家庭顧問

腹と脊中に赤い痣が……

【問】本年三十三歲の男子ですが昨年の春頃から今日までに腹部に六個、背部に五個、大腿部に二個の小さな赤色の痣が出來ましたが、癩病の血統でもあるのではないでせうか、愚妻にも本年になつてから腹部に二個ほど出來て來ました、傳染でもしたのでせうか？時々顏面や身體の各部に一名ニキビか水痘のやうな小さな小豆大の紅い吹出物でます、小さいのはアセモ大位で化膿する事もあります、放つておきましても痛痒も感ぜず自然に治ります、顏面には脂肪が多うございます、これは既に三ケ年間繼續してをります、今年四月大連市の某博士に血液檢査をして頂きましたが何の疾患もないと申されました、この原因と治療法をお教へ下さいませ（一讀者）

【答】恐らく癩病ではないと思ふ

恐らく癩病ではないと思ひますが左樣懸念されるのでしたら專門家の診斷を仰ぎなさい、殊に皮膚病は充分診見しなければ文書の上では確答が出來ません（辻慶太郎）

星ケ浦

前島いづみ

晝高き日を照り返しきらゝめく遠波に見ゆ三つの大岩。
さし潮すらし濁るなぎさ邊寄せかへす波足繁く水しぶき立ちて
分館寄りの堆かき石濱逍遙ふに傷みて堪へず皮靴の先。
子にまじり白き濱石拾ひ居り海面ゆ絕えせぬ潮鳴りの音。
驟雨の一しきり晴れて靑々しリンクの空を急ぎ行く雲。

ラヂオ

大連 JQAK 十月七日

▲午前六時 ラヂオ體操第一
▲午前六時卅分 ラヂオ體操第二
▲午前十一時 相場（錢鈔、特產株式、各地相場）
▲午後零時十分 相場（錢鈔、特產、株式、各地相場、公設市場値段）ニユース
▲午後三時三十分 相場（錢鈔、特產、株式、各地相場）ニユース
▲午後六時 ニユース
▲午後六時三十分 子供の時間（一）コドモノシンブン（二）童話

乘松隆一作曲）ホ、山椒の木（野口雨情作詞、平岡均之作曲）へ、靑い小島（川路柳虹作詞、山田耕作々曲）ト、むかし噺（北原白秋作詞、山田耕作々曲）ニ、オーケストラ（大阪ラヂオ・オーケストラ指揮編喜多鐵雄）喜歌劇「天國と地獄」序曲（オツフエンバツク作曲）▲午後五時二十五分趣味講座「落首から見た世相」小柴値一▲午後六時三十分時事解說、經濟學博士太田正孝▲午後七時二絃琴（一）四季の今樣（唄蘆舍蘆染、二絃琴蘆舍蘆水、蘆鳳、蘆天津、蘆信）（二）布袋（唄蘆舍蘆水、二絃琴蘆舍蘆信、蘆天津、蘆鳳）▲午後七時二十分祭り囃子笛（鈴木五郎）太皷（白倉留五郎、同毛利錠太郎、原田鈁太郎）鉦（根岸子之助）▲午後七時三十五分小唄（一）つがもれえ（二）ゆこか戾ろか（三）晩に忍ばゝ（四）きせる羽織（五）右こずば（六）うから〳〵▲午後七時五十分「映畫物語」モナ・リザの失踪」仙石雷鋒、伴奏指揮宇賀神に津男

東京 JOAK 十月七日

▲一、雛菊と雲雀 竹田幸雄
▲絃樂四重奏 第一ヴアイオリン岩熊來志、第二ヴアイオリン川口峯之助、ヴイオラ簗瀨成一、セロ大森喜久男
▲小夜樂（モツアルト作）第一樂章アレグロ、第二樂章アンダンテ（ロマンツア）、第三樂章メヌエツト（メヌエツト）第四樂章アレグロ（ロンド）
▲常磐津「關の扉」淨瑠璃常磐津正三津、同大掾とし松、三味線常磐津正惠、同大掾とめ
▲常磐津「三世相十萬億土」淨瑠璃常磐津三佐太夫、同常磐津三春太夫、三味線常磐津正惠
▲職業紹介事項
▲ニユース
▲氣象通報
▲午後五時（子供の時間）うたとオーケストラ（大阪より中繼）（一）獨唱（山下照子、伴奏金森愛子）イ、子守歌（堀內敬三作詞、ブラームス作曲）ロ、うぐひす（三木露風作詞、光りの會作曲）ハ、子鳩の歌（野口雨情作詞、山田耕作々曲）ニ、うづら（北原白秋作詞

本社特選 新棋戰（其六）

先六段△石井秀吉
平手 六段▲石原勇吉

【圖は三九飛迄の局面】

△石井氏持駒飛桂步

△六八玉 ▲一九飛成
△八二飛 ▲五二香
△八一飛成 ▲二八龍
△六七玉 ▲二五龍
△九一龍 ▲三六步
△四五步 ▲同銀
△四六步 ▲三四銀
△四五桂 ▲同銀
△同步 ▲六五桂
△四四桂 ▲五七桂成

累計九十六手

土居八段講評

石井君は敵が入玉に努めた際、少しも焦らず桂香を手にいれその武器を利用して四筋より攻勢を採つたのは場なれた指しぶりである。

萩原七段解說

石井氏の六八玉は五九步と打つてもよいがこの樣な局面では玉が上つて行く程安全になるので六八玉と指したのである、石原氏の五二香は四三玉では六一馬と指されて惡い、石井氏の八一飛成は一旦三三步となつて同銀、同桂と取り然る後に八一飛と成る方が得であるが、手順に玉を安全な方に移す意味で態と二八龍と引かしたのである、續いて九一龍は三三香打と二九香打の順があるので駒得を圖つたのである、石原氏の三六步は敵に四五步と取られ三七桂打があるのでそれを消しつゝ入玉を圖る意味で、續いて四五同銀は四三金と逃げると七三馬と寄られて惡いのである。

第廿九回 滿日特選碁戰

先々先先番 四段 中川新
三段 渡邊英夫

—【7】—

解說 白非勢なれば百二十二で百四十二にツイで戰ふべきであるが優勢と見ての悠々振り、黑としては却つて此の方がいやである
白百二十八なども落着いものである
黑百二十九と足を揃つて行つたが、百三十五までとしたる事もなく此處で白が百三十六で（い）と用心して了つたならば、恐らくそれ迄のものであらう

滿日各地版

カフエー飲食店の許可區域制限
許可は寬大に、制限範圍は擴大 奉天署の新方針決定

【奉天】人口增加に伴ふ大奉天の發展振りは目ざましいものがあるが殊にカフエー飲食店の如きは雨後の筍の如く各所に現れ常に其の尖端を切つて居る從來奉天附屬地內に於けるカフエー飲食店等に對しては關東廳に於て病院學校敎會からは二丁以上離れて居なければ許可されぬ事に規定されこの原則に對し特別の事情あれば許可される除外例を認めた事尠く殆ど原則に從つて來たがそれでは國際都市を誇る大奉天の發展上大いに考慮すべき點があるので奉天署では滿鐵當局と交涉し新に都市計畫を樹立し從來の原則を緩和すると共に新にカフエー、飲食店の許可區域制限を設けた、卽ち奉天館附近住吉町六番地、琴平町五番地平安座附近にはカフエー、飲食店の營業許可願が出れば奉天署は事情調査の上大なる支障のない限り許可すると同時にこれまでカフエー、飲食店とも不許可區域となつてゐる春日町富士町浪速通のほか千代田通も許可されない事となつた

撫順地方委員當選者決定
五日最後のヘビー戰

【撫順】ドタン場に來て立候補を宣した瀨戶辰五郎氏によつて定員一名超過となつた撫順の地委戰は俄然戰線に異狀を來たし、最後のヘビー戰が展開されたが、遂に裁斷の日、五日は來た、昨日まで各所に散在してゐた墨痕鮮かな立看板がけふは投票所の公會堂前に總動員されズラリと立ちならんでゐる、各候補者の選擧事務所も全部こゝに引つ越し、野外陣營を張つて實に物々しい、投票開始の定刻八時まへから早くも投票者がつめかけた、けふのトップを切つて先づ第一着に淸き一票を投じたのは織田洋行の御主人、仙太郎さんであつた、後から後からと押しかける投票者でまたたく間に投票場前には淸き一票が一票、二票、數十票とズラリ立往生してしまふ、拔け目のない運動員は投票場前に頑張つて來る人ごとに特製のデッカイ候補者の名刺をヒヨコンと頭をさげて渡してゐる、正午になると炭礦方面からはバスで淸き一票を大量生產にかり出して來た、まさに混戰である、一票でもより多きを望む各候補者の顏は極度に緊張してゐる、斯くて時間はいよいよ切迫し、締切りの午後四時三分前撫順驛長が淸き一票をのがしてはとあたふたと驅けつけた、まさに四時、合圖の振鐘によつて撫順區地方委員選擧の投票は打ち切られた、その結果、投票數三四七一票棄權數四五四票、非常な好成績であつた、なほ引續き、午後五時より勝つたか、負けたか、候補者の運命を決定する開票が愈々始まり結局左の如く當選者決定した

五二四 白石 竹一
三八八 菅野 誠
三〇二 松本 猶藏
二八二 前島 巽一
二五七 椋梨 哲治
二三一 荒賀 直彥
二一八 守屋 剛二
二〇一 寺西 圭之
一九二 瀨戶辰五郎
一五六 松本 重平
一三三 瀨田 修逸
一二八 蜂谷 文平
一一五 松井佐兵衛
九三 荻野萬次郎
八九 坂木吉三郎
五四 新井三喜男
三七 河瀨 留一
次點 三三 飛鳥井堉他郎

熊岳城地委選擧當選者

【熊岳城】熊岳城に於ける地方委員の選擧戰の結果左の如し

得票數 氏名
二八票 大宮 市助(新)
二五票 渡邊 柳藏(新)
二五票 岡島 貞(舊)
二三票 鷹野 鷲雄(舊)
二三票 山下喜兵衛
二二票 高 瀨 川
次點者一四票 鹹 藏 山

鞍山の强盜

【鞍山】三日午後六時頃昭和製鋼所王家保子採鑛所苦力宿舍王德春方に拳銃所持の二名組强盜闖入、驚く家人を尻目にかけながら同家の支那式長銃一挺彈丸四十發を强奪したる上長男永勳(一〇)を拉致裏山に麻繩でしばりつけて回贖金五百圓を要求したので王德春は我子可愛さに泣いて引渡方歎願したが回贖金を持參せねば斷じて應ぜずとその儘奧地へ連行せんとするので止むなく五百圓を調達漸く奪還したと

宿屋は超滿員
匪襲は一度もなし 拓けゆく熱河朝陽

【錦州】朝陽警察分署の中川署長は事務打合せの爲め三日來錦したが朝陽事情に就いて左の如く語る

朝陽は目下邦人戶數二百四十戶人口約八百名である、その內譯はカフエー、そば屋、おでん屋飲食店が十八軒、料理店が十六軒、雜貨店が六軒、宿屋が四軒運送屋が四軒、その他理髮屋、電氣器具販賣、自動車附屬品販賣、自轉車屋、御用商人、その他で女給や女中が百六十名、藝酌婦が百四十名、料理屋の揚げ高九月中で二萬四千圓である、

宿屋は何時も超滿員といふ盛況ぶりであるが先月の中頃からは稍々落目になつた模樣である、それでも之れ等接客營業者は今まで相當儲けてゐる、物價は奉天値段と比較し甚だしいのは二十割も三十割も高いが平均して七、八割は高い樣である、警備狀態は高田旅團が引き揚げても第○師團の川原旅團がその後に移駐して來たので完全に治安が保たれ附近には相當匪賊も多い樣だが朝陽には一回も襲つて來ない

增加する在鄕軍人
滿洲を舞臺に働かうと 奉天では既に四千八百人突破

【奉天】奉天署管內における在鄕軍人は每月二百名乃至は三百名も增加し本月一日調査によればその數昨年の同月に比し千七百餘名も增加し實に四千八百四十名に達してゐるが、之等の在鄕軍人は二十五歲から三十四、五歲までの最も元氣盛りのものが最も多く、又その殆どが滿洲を舞臺に活躍せんとする意氣に燃え憧れの滿洲にやつて來たものでそのうちには滿洲各地を討匪、警備に東奔西走し重任を果して滿期除隊となり更に滿洲に足をとゞめて活躍せんとするものも亦尠くない、そして又武裝移民團と共に佳木斯まで赴いたが餘りにも人里離れた邊境ではとても働けないと逃げ出して奉天に留まり就職口を探してゐるものも三十餘名ある

かうして來奉する在鄕軍人は職を求め適當な處がなければ他に移るといつた徑路を常に辿つてゐるのでその移動數は他所に比し奉天が最高位を占め本年一月から九ケ月だけでも五千五百五名に及んでゐる、かやうに多數轉出入する在鄕軍人の屆書の整理をする奉天署兵事係りでは菊池警部、村岡氏等が每日轉手古舞で、殊に無屆のまゝ轉出入するものゝ多いのには整理も出來ないとコボしてゐる

一方在鄕軍人聯合分會でもこれ等來滿者に對し出來るだけ助勢をなし就職の斡旋に努めてゐるがその成績は良好で何れも感謝してゐる……奉天の景氣の一現象を如實に物語つてゐる

匪賊の減少
內外人共に驚嘆 杉村公使奉天で語る

【奉天】來滿以來各地を視察しつゝある杉村陽太郎公使は五日來奉午後五時半領事館で記者團と會見左の如く語つた

新京にしばらく滯在中飛行機で間島、富錦、ハルビン方面を視察したが治安の確立は非常なもので御當人の日本人でさへこんなに早く

匪賊 が少くなるとは思つて居なかつた事だらう、來滿の外人等も出合ふ毎に口を揃へて感心して居る、今度の事變に對しては聯盟內に二つの流れがあつた、一つは日本の行動を飽迄ひれらうとするもので他は黃色人種の住む東洋に植民地を持ち日本と結ぶことによつて其の利益を得て居るため調停的だつた諸國である、ライヒマン等は前者に屬するものだ、所謂近代國家としての面目を整へて居ない支那は、よく世界の政治問題の發生地となる、只かうした國に手を借すライヒマン等に對しては今度も出合つて特に日本側に誤解を持たせない樣に働きなさいと忠告する考へで居る、然し列强は現に非常時で

支那 に投資する樣な餘力はない位だ、たとへ投資するとしてもそれを政治的に利用せぬ樣にしたいものだ、歐洲における二つの流行は英佛の如き現狀維持派と獨伊の如き新興の意氣ある現狀打破を主張する流れだ、斯くて國內問題に忙殺されて居る狀態で歐洲流に極東問題を解決しやうとする者も今は殆んどない、ドーズ氏等も極東の問題は日本以外處理し得る國はない只日本は後指を指されない樣にやればいゝのだと云つて居る、實力が解決するのだ、ブリアン氏等も當事者間のみで解決することを望んで居た、軍縮問題等は今は早勝れた新興民族と老衰せる

民族 の調和を主眼とせぬ限り餘り問題にならんれと大正六年頃廣田、有田、赤塚等の諸氏と奉天で問題の二十一ケ條條約の施行細則を協議した當時の面白い追憶談に花を咲かせながら會見を終つた、なほ同氏は七日午前十時二十五分發奉山線で支那に向ふと

正義の名に隱れ不法に捕縛
滿洲正義團員の不祥事

【奉天】「王道のもとに正義の大道を踏む」……をモットーのもとに生れた大滿洲正義團員が黨たのんで立黨の主旨「正義」に反し不良團員によつて滿洲正義團の名を穢す不祥事件が續出し要路者をして顰蹙せしめてゐる事件があり奉天總領事館警察署高等係ではこの程來秘密裡に活動を開始し目下關係者を引致取調べ中であるが右は市內松島町十二番地居住の佐賀縣生れ遠藤宗一郎(四一)はかねて工業區北市場廿六においで正義團員たる滿人等に名義を貸し阿片密賣に從事してゐたが最近該名義料不拂及び滿人等が同人名義宅で賭博を開帳するので之れに反對せる關係から暗鬪を續け滿人は幸ひ正義團員なるを奇貨としてこれを近くの正義團第八支部長于海沈(四七)に申出で援助を依賴し、これとは知らず遠藤は二十四日朝十時ごろ自宅より前記秘密營業所に至り戶を開けんとしたところ旣に同家は表裏共に正義團員のため釘付けとなつて居り、之れを開かんとしたところ團員劉文彥(三二)外一名が現はれ遠藤を支部事務所に連行せんとしたため遠藤は身の危險を感じ一旦附近の久保田某方に避難し同人と共に再び現場に向つたところ今度は于支部長自ら六名の團員を引率して來り脅迫暴行を加へんとしたので久保田は自宅に逃げ歸り遠藤はその場で團員のため取り卷かれた右より兩手兩足を取られ無理矢理に客馬車に舁ぎ込み車上で更に麻繩をもつて後手に縛し上げ馬車を連れて城內小北門裡の正義團本部に運び入れしかも支部長等は本部の一丁ほど手前で遠藤の縛を解き「この日本人が正義團員を捕へて故意に喧嘩を賣り鉞を揮つて暴行した」と報告し同本部では之が解決を城內の○○隊に依賴した同隊では團員等の虛言で單なる喧嘩と推定し嚴重戒告をなして双方を引き取らせたが偶々領警高等係にてこれが眞相を聞き込み去る二十六日以來活動を續け取調べた結果漸く右事實が明瞭となり正義團では近く將來のため徹底的調査を遂げ嚴重處分する筈で目下同署では支部長于海沈外五名を留置取調中である、右につき同署高等係では

彼等滿洲人は正義團に入れば當然かゝる行爲をなしてもよいと考へて居り斯樣な越權行爲に對しては將來もあり斷乎たる處置に出でる筈である

北鮮鐵道沿線素描(3)
北鮮交通の樞要地 約束する上三峰の發展

△**會寧驛** 中島驛より十三粁餘にして會寧驛につく日滿の國境を劃する豆滿江は市街の西北を貫流し數丁の距離にあり、西南一帶は約四里平方の平野にして市街は贅山の南方斜面に展開してゐる、古來北邊六鎭の一に數へられ國境防備の要衝にして交通機關の發達と共に間島地方との通商貿易上にも重きをなしてゐる附近の地下には約三億噸の無煙の炭層を埋藏し鼓北、遊仙等の有名な諸炭礦からは良質の石炭を搬出し、又奧地より流下する多くの木材は當地に陸揚集散せられ製材工業も盛んで市況頗る活氣を呈して居る、三千六百四十六戶(內地人六百九十六戶)一萬七千七百二十六人(內地人二千六百五十四人)の一都邑をなし官衙其他等一通り備はつて居る附近に名所多く會寧城趾は李朝世宗の時鎭を置き土城を築きしが後中宗の時石城に改築したもので今は城壁の一部を殘存す、驛より南約三丁(バス、人力車の便あり)の地點に顯忠碑がある、文祿の役後加藤清正は長驅この會寧迄軍を進めた時の府使鞠景仁は臨海、順和の二王と其從者を捕へて清正の軍門に降り更に自分に敵意あるものを殺さんとしたので申世俊等の八烈士は義兵を擧げて鞠景仁を斬殺した、碑はこの次第を錄したもので三百年前の建立である、驛の西四里雲頭山上にある五國城趾は周圍一萬七千餘尺の城壁で今を距る八百餘年前女眞族の建設にかゝり西北の二邊は豆滿江に臨む要害の地で今尙城壁を殘してる、土產物に陶器會寧燒がある、優雅の色彩を有する燒物で花瓶、壺、菓子器等を始めとして多種多樣の器物產出され年產二萬圓に達して居る

◇……◇

△**金生驛** 往時は間島對岸との交通頻繁にして商取引も盛んなりしが昔日の俤なく只僅かに冬期に於て日用雜貨の取引あるのみ附近には竹浦、弓心と云ふ兩炭礦がある、驛より數丁の山上に白泉寺がある朝鮮古來の寺院で風致に富み每春擧行さるゝ祭典には善男善女の參詣數萬を以て數へられ盛大を極むる程である、更に驛の對岸にある間島富士は富士山に酷似せるためかく呼び加藤清正が名付けたと云ひ傳へらる

△**高嶺鎭驛** 背に山を負ひ前面は豆滿江に臨んだ人家二百七十餘戶の一寒村で附近には往時豆滿江の氾濫を防ぐ爲めに大石を積上げて築いた桿水臺と稱する城壁樣の防水堤が一部殘存して珍重がられてる

◇……◇

△**鶴浦驛** 江岸に面する人家百戶ばかりの小村で見るべきものがない

△**新田驛** 豆滿江は附近では曲折極まりなく兩岸に屹立して迫る谿間を鐵道と並行して走つてゐる、人家尠い一僻村に過ぎないが間島大蒜洞と極めて接近せる地點にあるので警備の要地として知らる

△**間坪驛** 全く山間の一小部落で驛員の居ない簡易驛である

◇……◇

△**上三峰驛** 上三峰は元、豆滿江畔の一農村であつたが大正九年圖們鐵道の開通によつて奧地間島地方との交通の衝路となり更に對岸開山屯より龍井、延吉に天圖鐵道の開通するあり、昭和二年には國際線橋の架設等あつて益々來往客多く繁盛を來すに至つた、現在人家約七百戶人口三千三百餘人を擁する都邑となつた、然も待望久しかりし敦圖線は完成し朝陽川より分岐して龍井を經て上三峰に來るところの所謂南廻線の線軌改築中で近く同完成の曉は新京と淸津、京城方面とを繫ぐ交通の要點となるので軍事上商取引にも今後益々重きをなすもので十月一日より滿鐵經營北鮮鐵道の南陽國境驛である

名所として烽燧臺がある、往時當地方の住民が附近の山に三個の烽燧臺を設け女眞族の侵害に備へたるによりて三峰の名も之に因み付けられたと云ふ、現在驛の東北約十町の山上に其趾跡歷然として殘されてあるのを見ることが出來る、更に國際線橋は間島と北鮮を繫ぐため延長一千五十五呎の橋で人道、軌道の通行に便し日支合辦の出資により朝鮮總督府鐵道局に於て架橋したものである(京城支局發)

安奉線の信號所竣工

【安東】安奉線の驛と驛の中間に新設する全線十六ケ所の信號所は目下晝夜兼行工事を急いでゐるが安東保線區管內の老古溝、高力、張家堡子、南子、小家莊、雞黑の六信號所は十一月中に橋梁の架設を竣へ十二月中に線路を敷設し來春三月に全部を完工し四月より使用を開始する豫定であるが全線信號所使用開始の曉には貨物列車の牽引車輛數及び運轉列車數は現在に倍加し複線と同樣の運輸能力を發揮することになつてゐる

錦縣敎育視察團
五日內地へ

【錦州】錦縣敎育視察團一行八名は五日出發し往復二十八日間の豫定を以つて朝鮮經由東京へ直行し日光、橫濱、名古屋、京都、奈良、大阪、神戶、別府、阿蘇山、熊本八幡製鐵所等の敎育文化施設並びに名所舊跡を視察し十一月二日大連經由歸縣するが一行の顏振れは左の通りである

▲敎育局長李子榮▲敎育會長劉仙閣▲縣公署總務科長郭瑞周▲縣公署外事秘書妻文濤▲縣督學張淑民▲成德女學校長陶傑人▲縣立女師敎務主任晏致中▲淺川中學校長高用章

滿洲市場會社取扱高激增

【奉天】滿洲市場會社の八月中取扱高は八萬六千五百七十一圓餘で七月の七萬九千六百四圓餘に比し六千八百九十六圓餘の增加で前年八月の四萬三千八百十五圓餘に比し四萬二千七百五十六圓餘卽ち五割餘の增加を示して居る、之を事變前の二萬四千六百四十五圓餘に比べれば六萬一千九百二十五圓餘で七割餘の激增振である、なほ本年八月の主要取扱ひ物を示せば

品目	金額
鮮魚介	七二七三七圓一八
鹽干魚	三五二八、八三
製造品	二〇八、〇一
野菜	六四三三、二四
果實	三六六四、二〇
計	八六五七一、四六

錦州の淸潔施行

【錦州】當地領事館警察署では來る十日より十五日までを淸潔施行期間とし十六日に檢査を行ふと

書館の玄關で阿片自殺未遂

【奉天】市內青葉町三番地范玉亭(二〇)は兩親の外に妹(一七)と三人暮しで妹は平康里の祥仙書館で美玉と名乘り俳優として稼ぎ僅かに一家を支へてゐる家庭であるが、范は靑町六番地協茂商店で働いてゐた時二十九圓七十錢の借金あり、四日は丁度仲秋節であつたため之が返濟方を要求されて無一文で支拂も出來ず困り切つてゐると協茂商店の店員はその親に請求して出た、之を知つた親は范をしたゝか叱責したので范はスッカリ悲觀し四日午後十一時頃祥仙書館玄關で阿片を嚥下し自殺を圖つたが卷醫院に入院應急手當を加へた結果生命は取止めた、或は親の狂言自殺を企てたものではないかと云はれてゐる

各地片々

滿日案內

鬱勃と燃え揚る "製鋼所氣質"
地元民との密接な關係を持ち 從事員の素質統一

【鞍山】昭和製鋼所は今や工場の建設擴張に事務所の新設に人員の整備に等々來るべき事業開始に對するあらゆる準備を着々として整へてゐるが、一方一億圓といふ巨資の大會社であるのと事業能率は單なる機械力だけで上るものに非ず全從業員の眞劍なる活動に待つものが多いといふことゝは自然工場並に本社所在地たる地元鞍山と密接なる關係を有し殊に製鋼所從事員の氣風素質如何は直に事業能率に影響する所甚大なるに鑑み心ある社員間には早くも右の二大問題に對する製鋼所當局並に製鋼所從事員の善處が切望されてゐる、而して前者地元鞍山に對する第一の試煉は近般の當地地方委員選擧に當つてその片鱗を顯はした如く當局も又社員も現在を以つて大鞍山建設時てふ重要時期たるを自覺し製鋼所員の積極的活動をなすことを以てその任務なりとし折角活動を期待されてゐる次第であるが後者製鋼所從業員の精神的方面についてはその根本を重大使命を持つ昭和製鋼所從事員たるに置くとともに鞍山の公民として明なる存在を示すべしとし今より漸次この意味に於ける製鋼所社風をもり立てやがて明年度より大々的に增員さるゝ今後の新入社員を加へることにより眞の昭和製鋼所氣質を完成せんことに志してゐるが、創設淺き製鋼所はかくて今施設も人も鬱勃たる新興の意氣に燃え立つてゐる

撫順炭の出炭高 飛躍的激增
九月は五十九萬餘トン

【撫順】石炭の需要增加から最近撫順炭礦の出炭は非常な勢ひで增加しつゝあるが、五日炭礦事務所の發表による九月分の出炭成績は

古城子二十七萬八千百噸▲楊柏堡三萬三千六百噸▲東岡八百噸▲以上露天掘計三十一萬二千五百噸▲大山坑五萬八千四百噸▲東鄕坑四萬一千噸▲老虎臺坑四萬三千六百噸▲萬達屋坑四萬八千噸▲新屯坑四萬三千八百噸▲龍鳳坑二萬五千四百噸▲以上坑內掘計二十六萬二百噸

のほか南昌洋行坑の二萬五千六百二十噸があり、以上總計五十九萬八千三百廿噸に達し露天掘は前月に比し四萬三千六百噸增、前年同月より十九萬五千六百噸增、坑內掘は前月に比し一千四百噸增、前年同月より六萬九千百噸增、南昌洋行坑は前月に比し一千百五十六噸減、前年同月より三千四百トン增となつて居り、この統計に於て前月に比し四萬三千八百四十四トン增、前年同月に比し二十六萬八千トン增といふ飛躍的な好成績を示してゐる、なほこれから冬期の需要期を控へ目下全機能をあげて採炭增加に努めてゐる

田代司令官 初巡視 熱河管內を

【錦州】關東軍田代憲兵司令官は三日から熱河憲兵隊管內を初巡視するがプログラム左の通りである

▲三日午後三時四十分錦州驛着、直ちに錦州憲兵分隊巡視、錦州ホテルに投宿▲四日早朝凌源、承德、古北口方面へ向け飛行機で出發▲七日正午頃承德より飛行機で歸錦▲同日午後一時十分發列車で山海關へ出發、八日午後二時五十五分山海關より歸錦▲九日早朝朝陽赤峰へ飛行機で出發、十一日午前十時五十一分着列車で朝陽より歸錦▲同日午後三時五分發列車で新京へ向け出發

庭球リーグ 日滿人提携

【チチハル】スポーツを通じて北滿第一線に立つ日滿人の堅き握手を交すべき重大使命のもとに組織された黑龍江省庭球聯盟の發會式を兼ねた第一回庭球リーグ戰は一日午前九時から龍沙公園コートに於て擧行されたが、朝來秋晴れのスポーツ日和に內田領事はじめファンは定刻前より黑垣をつくり秋空を高く奏する白球の球戰譜に間斷なき拍手と聲援の嵐を送つて試合を彌やが上にも高潮させ未曾有の盛況裡に午後五時終了したが戰績は左の如くである

▲團體リーグ戰順位
五勝 日本軍隊
四勝一敗 滿人學生
三勝二敗 日本市民
二勝三敗 滿洲官衙
一勝四敗 滿洲軍隊
五敗 日本官衙

▲個人戰順位
優勝 武富、早乙女組(日軍)
二位 石井、菊池組(日軍)

殉職追悼會 海邊警察隊の

【營口】去る八月二日鳳城縣北井子附近に於て戰死したる海邊警察隊第一巡船乘組警士趙蔚然氏の殉職追悼會は六日午後三時より營口舊市街三江會館において嚴かに執行された

輕便鐵道敷設許可出願 西海口と錦州間に

【錦州】錦州、大連、山海關を繫ぐ定期航路は滿洲輪船公司によつて計畫され既に一日より就航を見つゝあるが錦州の船着場といはれる西海口が錦州驛より約二十哩の南方にあり船の發着毎荷物の運搬に尠からざる不便を來してゐるので同公司經營者の一人である當地宮原氏は右西海口と錦州間の輕便鐵道敷設許可方を領事館に出願した、目下後藤領事は滿洲國側と折衝中

日滿徒歩縱走 井上氏過溪す

【本溪湖】皇國日本の現狀を憂ひ都市在住三十三萬の後備役在鄕軍人の活路を求めて在鄕軍人移民團を組織すべくその試踏のため單身七月十日東京を徒步にて出發せる大日本國防少年團々長井上亭氏は三日當地に到着四日夜は支局に宿泊した上五日午前八時再び健脚を新京に延ばすべくそぼ降る雨を衝いて出發した

奉天省內の實情調查進捗す
既に二十三縣を終了

【奉天】馬賊の危險を冒し未だかつて行はれて居ない、奉天省五十八縣の經濟狀態と關稅及地方稅の徵收機關の事變後の實狀及び地方農村の生活要素その他の調査の爲め奉天稅務監督署では三浦副署長以下各科長係員が四班に分れ各縣を踏査した結果第一期の生きた資料を得、いづれも十一月には歸奉の筈で調査を終へた縣は五十八縣中左記二十三縣に及んで居る

安東、輯安、臨江、長白、懷德、梨樹、昌圖、新民、遼中、義縣、北鎭、西豐、東豐、輝南、金川、柳河、海龍、開原、寬甸、西安、清源、彰武、瀋陽

右につき三浦副署長は語る

先づ豫算第一期實地調査を終つたが第二期には著しく改めねばならぬものはよく研究し調査方針を決定する考へである、署員各位が馴れない食事で危險地帶に出入し少しの日數で殆んど資料のないものから其の基礎を築いて行く努力に對して感謝して居る次第で豫定の如く來年度一月末迄には完了するであらう一行の歸奉を待つて今後の調査方針を協議するさ

決濟は良好ながら なほ瘡痍は癒えず
仲秋節と滿人商工界

【奉天】仲秋節における滿人商工界は決濟は殆ど七割方に行はれ昨年に比して非常に良好なる成績であり各方面とも順調であつたが總體的にみると日滿貿易の輸入成績に比較して一般滿人小賣業者は未だ事變前後の瘡痍から脫したものとはみられない、特に中央銀行の緊縮政策により小中商工業者は極度の金融梗塞に困つてゐる狀態である、右につき上田貿易商組合長は語る

昨年よりは滿人商店方面はよくなつた、特に邦商は景氣を恢復したが小賣業者は上流滿人の少くなつた結果從來絹物が賣れてゐたのが綿製品の購買者となり金額の上において著しい減退を示し洋雜貨類は奉天城內一流の店舖では約半割に落ちた樣子で一般小賣業者としては香しくない傾向である、これは農村の金融關係がよくない結果であつて本年の如き豐作饑饉では農民も浮ばれないであらう、然し仲秋節決濟で倒產した者は殆どないといつてよいであらう

公主嶺の蔬菜品評會

【公主嶺】公主嶺における地方事務所主催の蔬菜品評會は滿洲事變勃發のため擧行しなかつたが本年は第十八回蔬菜品評會を盛大に二十二十一の兩日午前十時より午後三時まで滿鐵社員俱樂部において開催することになつた

出品物は一人にて多數出品差支なく現品は十九日までに出品名數量住所氏名を明記し地方事務所に持參のこと入賞出品物は品評會に寄贈入賞せざる出品物は相當値段にて賣却又は現品返送す出品物の數量は大根五本、人參五本、牛蒡十本、南瓜二個、山芋三本、白菜三個、馬鈴薯十個、聖護院三個、其他は右に準ずると

開原火災二件

【開原】三日午後七時五十分頃開原公會堂にて活動寫眞興行中フキルムに引火したが機敏にフキルムを切斷し有吉興行主が逸早く上衣を脫ぎ火を抑へたので大事に至らず鎭火したのは不幸中の幸ひであつたが何分興行中の事とて觀衆は驚愕し總立ちとなり一時は混雜したるも幸ひに損傷なく濟んだ

四日午前六時頃開原附屬地隆盛街滿人李某宅の炊事場より發火し二タ間を燒燼したるも時を移さず驅付けた消防隊の活動により類燒なく鎭火した

鞍山署異動

【鞍山】鞍山警察署濱野部長は營口署へ下川部長は公主嶺署へ今回高等科卒業と同時に轉任することとなつたが、後任は同期生の近藤、菅井兩部長來任の筈さ

第一線に立ち 理想に邁進
齋藤新警察署長談

【チチハル】新任チチハル領事館警察署長齋藤保治警部は二日赴任の記者に次の如く抱負を語つた

チチハルは初めての土地で、しかも全然白紙で赴任して來たのだから、何も別にお話しする樣な事もないが、第一に感じたのは軍部、滿洲國側と連絡が非常によくとれてゐて、治安の維持されてゐる事だつた、私は今まで梅原にゐたので、西豐、開原鐵嶺等近縣の諸問題を整理してゆくだけであつたが、チチハルは黑龍江省の省城でもあり、アムールを隔てゝ黑河を控へ、更にソウエート聯邦と國境を接してゐる關係上、舞臺もひろく問題も複雜であるから、大いに研究し働きたいと將來を樂しんでゐる、それには先づ第一に軍部當局と密接な連絡をとる必要があるが、幸ひにチチハルは以前から頗る緊密に連絡がされてゐるので、すべての折衝が順調に進捗するであらうといふ確信を得た、私は過渡期といふ言葉が頗る不愉快に感ぜられるからこの觀念を沒却し北滿の第一線に立つて確乎たる信念の下に理想にむかつて邁進する心算であるから、在留邦人各位も我々の意を諒として大いに援助して頂きたいものである

營口署異動

【營口】營口警察署にては松岡、相良、前田の三氏は辭任の上滿洲國警務指導官となるべくこれが後任として三井、新野、池田の三氏後任として來營すと

電氣記念日

【四平街】滿洲電氣記念日の一日は大同電氣の主催の下に同日午後六時半より電氣關係者の盛大なる懇親會が公記飯店において催されたが、更に二日は社員總動員の下に十二班に分れて電氣需要家訪問サービスが行はれた、奇拔な旗指物に襷掛けの社員街頭進出は各所で好評を受けてゐたが尙午前十一時より小學校講堂に於て小學校兒童を對象とする電氣知識普及の目的の下に各種の見本を示して通俗電氣講演會を開催した、講師は富田庶務及び鈴木工務課長であつた

公主嶺排球戰

【公主嶺】公主嶺體育協會排球部秋季排球リーグ戰を八日午前九時より小學校の運動場に於て開催することになつた、參加團體は官衙、農事試驗場、鐵道部、地方部の四團體にして實業團權試合は抽籤により定むさ

全滿米收穫高 百十五萬石豫想

【奉天】本年度における滿洲農作物は非常に豐作で奉天附近の米作も一昨年に比し非常な豐況で作付反別五千九百十三天地、收穫豫想九萬四千六百八石、日本桝十二萬一千九十八石で全滿における收穫見込は百十五萬四千五百七十九石日本桝百四十七萬七千八百六十一石である

自動車と衝突

【奉天】五日午前六時五十分頃市內紅梅町八番地大橋丹吉(三八)が自轉車で八幡町に赴き歸途千代田通りと藤浪町の交叉點に差掛かつた際奉天驛前より南市場大タク運轉手金鍾瓊(二〇)が四十哩の速度で疾走し來りアワヤと見る間に衝突し大橋は自轉車諸共道路上につき飛ばされ後頭部、左足等に全治二週間の重輕傷を負うた奉天署では關係者を召喚し目下取調中である

商業實習生 元氣で歸る

【營口】去る九月二十四日營口を出發して奉天、新京、ハルビン、チチハルに向つた營口商業實習所生徒は中野、野元兩指導員附添ひの下に豫定の行程を了へて三日午前十一時無事歸營した

第一部生はチチハルに到る豫定であつたが途中の故障で行くことが出來なかつた爲めにハルビンに豫定より一日多く滯在した今回の販賣實習は案外の好成績にて滿洲國側の購買力の旺盛なること、需求品の上級品を要望し低級品は顧みられず生活の向上はすばらしきものにて其賣上金も八百圓を突破するの有樣で豫期以上の好成績で終始したと

吉岡海軍中將

【撫順】海軍艦政本部長吉岡海軍中將は高橋機關長、藤尾技師を伴ひ八日午前七時五十五分列車で來撫し製油工場、並に古城子露天掘を視察するさ

奉天省公署 縣參事異動

【奉天】省公署では左の如く縣參事官の異動を行つた

任遼陽縣參事官 省公署事務官 濱田義丸
同 佐藤牛重
任昌圖縣參事官 盤山縣參事官 中尾優
任盤山縣參事官
任興京縣參事官 安東縣 高岡重利
任海城縣參事官 海城縣 鎌田政明
任安東縣參事官

遼陽金組成績

【遼陽】遼陽金融組合の九月中に於ける實績左の如くである

組合員勘定、出資金一萬七千三百五十圓、拂込未濟出資金三千七百二十五圓、新加入十四名、脫退一名、現在組合員百四名▲貸付金勘定、前月末現在五萬二千六百七圓十八錢、本月末現在五萬九千四百八十四圓二十二錢內手形貸付二萬九千八百七十六圓二十二錢、低資貸付二萬九千六百八圓▲預り金勘定、前月末現在一萬六千二百九十八圓四十九錢、本月末現在一萬五千五百三十一圓八十二錢、內拂込充當貯金三百九十二圓九十七錢、定期預金三千七百圓、小口貯蓄預金一萬一千二百八十三圓八十五錢、据置貯蓄預金百五十五圓

徳川圀順公

【安東】日本赤十字副社長徳川圀順公は有吉理事以下を隨へ六日夜平壤より新義州着七日同地における平安北道赤十字社總會に臨席し八日朝安東着安東神社、表忠碑參拜後二時より領事館における有功章及び特別社員に對する社員章授與式に臨み同夜ホテルに一泊九日朝七時新京に直行する、なほその後の日程は九日新京着、十四日ハルビン着、十九日奉天、撫順訪問、二十一日湯崗子宿泊、二十四日大連着、二十七日大連乘船歸東の筈である

橫山理財課長

【安東】二日夜來安した橫山關東廳理財課長は三日正午安東銀行集會所招待の午餐會に臨み午後三時から中川安東商議副會頭等から安東に庶民金融組合を速かに設置されるやう陳情を受け四時より公學堂において商議會員及び一般有志のため本月五日から施行される外國爲替管理規則に就いて說明講演した

森所長赴連

【鞍山】森地方事務所長は五日夜行にて赴連したが、右は昭和製鋼所其他新設法人及來住者に對する公費課金が本年度に於て約二萬二、三千圓の增收を見ることに決定したのでこれが使途並に明年度實施計畫中の當地各種社會施設實行に關する打合を行ふためであるが、增收公費は既報の如く主として道路公園の改修に充當する豫定で、決定の上は眞に未鋪裝の大正通を始め南三條通外二、三道路の鋪裝及び驛前廣場中央廣場の整備、改造工事に着手する筈さ

若林一郎氏 慰靈祭執行

【チチハル】昨年十月三日滿洲國協和會チチハル事務局勤務若林一郎氏が昂々溪の宣撫工作の歸途衛門屯附近に於て李海靑軍敗殘兵匪の襲擊をうけ遂に前途洋多春秋に富む二十四歲を一期に建國の人柱となつてから早くも滿一ケ年、三日はその一周忌に相當するので同事務局ではこの尊き英靈を弔ふため午後二時より龍門大街の曹洞宗日滿寺に於て同僚相寄つて慰靈祭を行ふと共に遭難地に墓標を樹て偉勳を永久に偲ぶことに決定した

徳川家正氏

【鞍山】加奈陀公使徳川家正氏は五日朝湯崗子より來鞍昭和製鋼所を見學の上午後二時五十三分はとにて大連へ向つた

岡本憲兵曹長榮轉

【營口】營口憲兵分隊に班長として服務の岡本憲兵曹長は十月三日付發令を以て通化憲兵分遣隊長に榮轉することとなり七日出發赴任することゝなつた

滿洲國產飛行機進空式

【奉天】滿洲航空工廠で滿洲資材で製作された最初の滿航式一一八號一一九號の進空式は五日小磯參謀長、目下來滿中の土岐陸軍政務次官その他日滿官民代表者參列の上盛大に擧行された【寫眞は進空式にテープを切斷する小磯參謀長】

キング

驚異の大躍進!!

十二月號

明治大正の人傑を語る（尾崎行雄）

初めて公開した貴重篇!!

見よ！巨人を繞る生々しい秘話感話逸話！感激に滿ち、時代を照す得難き大記錄!!

▲大隈重信 ▲原敬 ▲板垣退助 ▲後藤象二郎 ▲星亨 ▲濱口雄幸
▲伊藤博文 ▲山縣有朋 ▲桂太郎 ▲西園寺公望 ▲後藤新平 ▲犬養毅

（尾崎氏）

壯烈快絶 敵中挺進六百里

手兵僅かに百七十六騎！大膽不敵にも敵の背後深く潜入して神出鬼沒、或は壯烈決死の激戰大亂鬪！或は大鐵橋爆破の冒險等千古に輝く大偉勳を樹てた永沼挺進隊の痛快悲壯な大難行大活躍！一讀熱血迸る!!

南次郎大將推奨　山中峯太郎

映画大特輯

人氣花形秘話珍談集

▲燃える掛布團……千惠プロ 片岡千惠藏
▲五十錢玉のトリック……松竹 栗島すみ子
▲九升のうらみ……日活 山田五十鈴
▲不倶戴天の仇……日活 大河內傳次郎
▲死の飛込……入江プロ 入江たか子
▲一生一度の男泣き……阪妻プロ 阪東妻三郎
▲烏賊のお刺身……松竹 田中絹代
▲川崎弘子さんの唇……松竹 結城一朗
▲私が出雲の神様に……日活 市川春代
▲過ぎた惡戯……松竹 武田春郎

▲俳優試驗の珍談漫景
▲人氣スター戸籍調べ
▲人氣男女優蟇口調べ
▲夫婦もの獨身もの調べ
▲人氣花形藝名の由來
▲初めて渡來した映畫
▲ブロマイド屋から見た人氣俳優

臨終の日の名妓高尾

聞くも涙、語るも涙！名妓の悲戀哀史!!

曾ては里一番の名妓と謳はれ、飛ぶ鳥落す勢だった高尾も今は戀に瘦せ、病に蝕まれて、日夜悶々涙をそゝる名妓の臨終!

本田美禪 畫

▲義血熱血 東風來る……市川柳太郎
▲美人薄命 松島の局……一龍齋貞丈
▲劍難女難 萬五郎青春記
密書を繞る血腥い殺陣、惱ましい女難の大繪卷!!
（野村胡堂）

喜劇 首賣り山左郎（金子洋文）

首の買ひ手が人もあらうに凄い程の年增美人とは?

首を賣物の男を挾んで二人の美人が擦った揉んだの大悶着！面白いこと無類の大名篇!!

▲田中鬼大隊長部下を憶ふ涙の手記
▲南洋首狩り蠻族と五十日暮した冒險記
▲新外相廣田弘毅痛快物語

熱涙下る憂國の大文字!!

泣いて五・一五事件の公判を聽く

全國民の視聽を集めて嚴かに開かれた五・一五事件の公判に、特に傍聽を許された兩氏が、目の邊りに見る法廷の劇的情景に熱涙滂沱、血を吐く思ひで書綴った悲壯熱血の大文字!! 全同胞の熟讀を切望!!

果然人氣爆發!! 愈々面白い二大巨篇!!

▲長篇小説 金環蝕（久米正雄）
戀と結婚！惱みの處女

▲長篇小説 日像月像（菊池寛）
危機に立つ美貌の姉妹

菊池寛氏傑作『日像月像』の美しき姉妹……插繪

▲明治天皇の御軼事 ……佐藤紅綠
▲紳士淑女の常識讀本
▲英雄の作つた小唄……加藤武雄
▲內證話・縮尻話……三名家
▲天文臺漫畫のぞ記……和田邦坊
▲誰でも喜ぶ面白繪讀本

画壇の花形 伊東深水氏自叙傳（小説）

▲臍を警戒せよ（快男子の痛快談）……尾崎士郎
▲日本畫の見方洋畫の見方……川合玉堂 中澤弘光
▲婚約解消の娘は曰く……日本女子大學教授 高良富子

▲慘憺怪奇 獵奇船の秘密……大上哲夫
▲武勇講談 山中鹿之助……神田山陽
▲理想小説 幻の兵車……賀川豐彦
▲新作落語 南禪寺……中山紅夢

愛は輝く この使命（野村愛正）
處女の一念

恩讐を越えて愛は輝く！見よ！一切の怨恨を打棄てゝ看護婦としての重大使命を果した純眞神の如き乙女!

名作物語 ひねくれ息子……岸田國士
美男美女 青空無限城……三上於菟吉
處女哀史 光りを行く……野村愛正
裁判秘帖 鬼奉行佛奉行……中内蝶二

定價 五十錢（送料四錢）

大日本雄辯會講談社　東京市本鄉區駒込　振替東京二九一〇一

望鄕の夢を載せ 輝く凱旋兵出發
見送る人の厚き情よ 見送られる勇士に幸あれ

坂本中將麾下部隊の懷かしい凱旋行――昨冬大任を帶び勇躍滿洲に出動以來或は酷寒と戰ひ、或は朔風に惱まされながら轉戰十ケ月、世界戰史に超記錄的一頁を描き皇國の威力を中外に發揚した黎の志道部隊は、去る三日市民の歡呼裡に着連、關東倉庫に二泊後愈々懷しの故鄕へ凱旋すべく、五日午後四時より九番バース繫留中の第七平榮丸に乘船を開始した、この日降りみ降らずみの秋雨に一抹の哀愁を漂はせたが

小川市長、岩井少將、山崎、竹中滿鐵兩理事、市川經理部長等の知名士を始め學生團體多數の見送り人は、秋涼の風を犯しそぼふる雨を衝いて集りたちまち甲埠頭を埋め盡した

サツと飛び交ふテープの波は時雨る雨に濡れながら七彩の渦を卷き群衆の歡呼は港内を搖つて空にさく、やがて軍旗に最後の別れが終るや、小川市長は市民に代り多くの思ひ出を殘して滿洲をお立ちになる凱旋兵皆樣を心をこめてお見送りすると共に、輝やかしい武勳をお祝ひ申上げますと祝辭を述べ、志道大佐はこれに答へて

大連市民が我々の出陣中に、或は今度の凱旋に當つてお盡し下さつた御誠意は深く印象に殘つて一生忘れることはないでせう私共は内地に歸つても次の非常時に備へるべく奮鬪致します、皆樣も何卒一層東洋平和のため御盡瘁下さる樣お願ひ致します

と謝辭を述べ終るや、滿船飾の第七平榮丸は勇士達が私かに胸に湛へる望鄕の夢を乘せて、一路懷しの故國へと晴れの凱旋の途についた

志道〇隊長 聲明書

滿に際し志道〇隊長は左の如き聲明書を發表した

部隊の在滿中、殊に今次の歸國に關しては在滿同胞各位より多大の御同情と御援助をあたへられ、大連市においては滯在期間長く從つて市民各位より**非常な歡待**を蒙り將兵一同感謝してゐる、奧地において乾燥無味なる生活をなしてゐた將兵の荒んだ氣分を和らかにして下されたことは將兵一同の決して忘れ得ないものであります、**嬉し涙にむせんで**居ります……

□―凱旋部隊乘船□□

この母を見よ 瀕死の子を捨て
不倫の妻駈落ちす

愛慾史上特記すべき兒玉勝美夫人の戀愛行狀記が世間を騷がしてゐる折も折、この勝美夫人の不倫にも比すべき邪戀の道行、即ち若き愛人との情痴に狂つた揚句夫と瀕死に喘ぐ愛兒とを捨て、遠く北滿に駈落ちし温かるべき家庭を根底より破壞して顧みない人非人あり心ある人々の顰蹙をかつてゐる

東京市淀橋區大久保町の豫備陸軍主計將軍の長男と稱する石田榮次郎(二四)假名は昨年春來連、當時憲兵の嫌疑を以て大連署に留置されたことがあるが、その後各地放浪の後今年八月末市内伏見町靈研會に居を構へ、正氣療法の看板をかゝげて怪しげな治療に從事しつゝあつたが

その内患者の一人なる市内某官衙吏員加藤某氏の内縁の妻のり子(二五)と通じ、兩人は九月二十四日手に手を携へハルピン方面へ行方をくらました、而もこの不貞の妻のり子には本年六歳になるよし子といふ連れ子あり

實母に捨てられた無心のよし子は目下風邪發熱のため瀕死の病床にあり、母を慕つて泣きさけんでゐるので養父に當る某氏もほと〳〵困却の態にて、附近の同情を集めてゐるが、この實情を聞き込んだ警察當局でも餘りに不倫無道なのり子の行爲に憤慨し、目下義夫義婦の行方を嚴重捜査中である

滿洲國學生に 鐵道割引證

滿鐵々道部では現在日本人教育官公私立學校に對し學生割引證を發行してゐるが、時勢の進展に伴ひ在滿洲國の官公私立學校に對して學生割引證を交付することに意見一致し唯その交附條件として
一、一ケ年授業時間數七百時間を超えるもの
一、修業年限一ケ年以上
一、内容充實したるもの
一、地理的に滿鐵線の利用乘多か……

國境を侵し 赤衛軍馬を掠奪

【チチハル六日發國通】某所への報電に依ると、一日午前十時漠河の上流十六キロの地點に赤衛軍四名渡河越境し來り、滿洲國農民の馬四十五頭を掠奪し去つた、なほその際哨所に赤衛軍騎兵二名は挑發的射擊を爲してゐた

るべしと認められるものの四項を擧げ、これの學校認定方を滿洲國交通部學務司に問合せ中のところこの程鐵道部宛の回答があつた、從つて鐵道部ではその報告に基きそれ等の各學校に割引證を交付する筈であるが、唯鐵路總……

ボロい儲け
五弗の馬券が六萬圓
幸運の秩父丸司厨

【横濱六日發國通】日本郵船サンフランシスコ航路秩父丸乘組二等司廚高橋武雄(二七)氏は、一航海前に氣紛れに五弗で買つた馬券が今度航海中香港に立寄つて見るとそれが一等に當つて四萬八千弗(香港弗)邦貨に換算して六萬餘圓となつて戻つて來た、横濱港は今この幸運な船乘りの噂で持ち切つてゐる

六大學リーグ戰
明治勝つ
對法政三回戰

【東京五日發國通】明法三回戰は五日午後二時五分伊丹、本郷、片桐、片田四氏審判法政先攻に開始結局七A對二で明大勝つ閉戰四時三分

7A―2

法政	101	000	000	2
明治	100	030	30A	7A

バッテリー(明治)猪井、山脇
追畑(法政)若林、劉、倉

匪賊襲來
京圖線馬鞍山に

六日午前七時馬鞍山小蜒子間(京圖線拉法を距る三四キロの地點)警備のため守備兵〇名、鹿島組員六名〇〇〇で馬鞍山驛發現場に赴き、〇〇〇は馬鞍山に引返す途中約二キロを進んだ地點で機關銃の銃聲を聞いたため、馬鞍山から更に日滿合兵〇〇名を乘車せしめ七時三十分に出發、一方小蜒子からも八時十分守備兵〇〇名現地に出動した、匪賊は約三百名の集團より成り輕機關銃を以て猛烈に抵抗し、我軍は激戰の末これを撃退したがこの戰鬪で守備兵五名戰死、鹿島組員一名腹部に貫通銃創を受けた

旅役者に戀して 家出した人妻
またも大連有閑マダムの醜聞

【大阪六日發國通】六日大阪島之内署刑事室で、大阪千日前辨天座で開演中の劍劇富士彌太郞一座の東劍之助事山下兼雄(二七)と、大連桃源臺某會社員金田秀治(假名)妻文子(二七)を取調べたが、右は大連の有閑マダムが組織して居る大連婦人倶樂部員であつた文子が、昭和五年八月一座が大連で開演した際東と知り合ひ、他の二名の倶樂部婦人と東を中心に戀の葛藤を演じたが、本年七月同一座が名古屋市の帝國座で開演して居るのを聞き込み、文子は夫から内地へ湯治に行くとて五百圓を貰ひ戀仇の長谷川花子(二七)と共にやつて來たが、文子が戀の勝利者となりそれ以來東と各地を廻つて居た事が判明したので、同署では大連の夫の許に引取方を打電した

文子の主人は 溫厚な人

文子夫人の問題で滿中にまき込まれた氣の毒な金田秀治君は極く靜かな善良な人で某會社内の同僚中でも評判がよい、たゞ夫人と結婚して久しいが子供がなく娃な養子のやうにして置いて居る、夫人は相當派手好きの方で最近天津でダンスホールなどにも姿を見せる事があつたと、なほ金田君は六日は平生通り出勤して執務してゐたので、同僚たちは「果してそんな事實があるのだらうか」と首をかしげてゐた

新築の千餘戸も 既に約束ずみ
店舗には巨額の權利
奉天の住宅難

【奉天電話】滿鐵社員の代用社宅として五百戸の新築をみたが、鐵路總局勤務の滿鐵系の社員に對してはその二分の一より貸與されないので、最近總局の警務處に新に採用した局員の住宅は全く見當がつかず、目下各方面の家屋を物色してなり既に一般市中においてすら家屋拂底に惱まされてゐる狀態であるため餘裕のありさうなことなく、庶務、人事科では總動員をして家屋の調査中である、かうした調子であるため日系滿洲國官吏のうちには住宅組合を設けてはとの意見が擡頭し省營繕課に陳情書の手許で目下希望者の募集中であるが、住宅豫定地は附屬地と商埠地との東方滿洲國農事試驗所裏の空地を利用し中央銀行より年六分の低利を受け十ケ年間の月賦償還にて安住の家屋を得やうとの計畫で各團體が何れにしても奉天は今や住宅難に直面して各方面では悲鳴をあげ本年度の新築家屋一千三百餘戸が全部約束ずみといふ家主の天下となり店舗には巨額の權利金がついてゐるといふ狀態である

縣公署に放火し 監獄の四人解放
久泉參事官を襲撃した一味

【新京電話】木蘭縣城の警察第二第三小隊約三十名は五日午前一時頃匪賊廿餘名と合流して反亂を起し直に縣長、參事官の寢室を襲撃したので宮建明縣長は銃を取り抵抗したが及ばず窓より逃走し參事官久泉隆氏は激戰後午前三時半遂に戰死し縣長の娘小菊は重傷を負つた、なほ一旦逃走した宮縣長は財務局長、中隊長と共に警官及び兵士を率ゐ兩側面より敵を攻撃したるに、敵は遂に縣公署に放火し監獄の囚人を解放した上東北方山林中に逃走したが、事件の原因は半年に餘る給料不拂といふ折柄大暴風雨を利用し徒黨を組んで掠奪を企んだものである、なほ戰死をした久泉參事官は東亞同文書院出身本年三十五歳、原籍は京都府與謝郡與謝村、昭和七年六月滿洲國入りをなし前途を囑望されてゐた青年官吏であつた、因に大連在住の同氏夫人は計報に接し遺骸受取の爲め六日午後四時半發ハルピンに向つた

調書整理の上 第二の活躍

……兒玉博士を始め横山きみ、馬場ゆめ子等の參考人を呼び出し道井檢事は重要なる訊問を續けてゐたが、五日は關係者を一切呼び出さず調書の整理を行つてゐたが、午後四時過ぎ突然沙河口署を訪問約二十分に亙つて谷川主任と署長室にて密談を遂げた上、更に留置場に赴き警官詰所に兒玉博士を呼び出し、午後五時半近くまで訊問を行つた上引揚げた、内容は嚴秘に附されてゐるが一應調書の整理した高井檢察官は谷川主任と打合せの結果六日より更に第二段の活躍を開始するものと見られてゐる

呉淸源君
日本歸化を待機

【東京特電五日發】支那の生んだ棋界の天才呉淸源君は來朝以來破竹の勢ひを以て先輩を壓倒し年……

滿洲をオトリに
インチキ團體續出
當局嚴重取締を決意

【東京特電六日發】滿洲事變以來國民の滿洲熱が昂まつたに乘じて東京を中心に滿洲又は滿蒙の名稱をつけた各種の事業會社團體が續出し、その中にはいかがはしきものもあるので……當局では東京市内のみで約四百餘の滿蒙利用團體があるので……取締ることゝなつた

ラッキーボール 第一回全滿大會
八日奉天にて開催

從來各地において豫選を開催して居たラッキーボール第一回全滿洲軟式野球大會の各地出場チームは左記の如く決定したので來る八日午前九時より奉天において本社奉天支社並びに奉天滿洲日報社共同主催及び王騰閣運動具店後援の下に第一回爭霸戰を擧行することになつた

新京代表(地方事務所チーム)
四平街代表(全四平街チーム)
撫順代表(全撫順チーム)
遼陽代表(全遼陽チーム)
大連代表(實業倶樂部チーム)
鞍山代表(全鞍山チーム)
奉天代表(豫選中)

京城遠征滿倶 の試合日取

【京城特電六日發】入城中の大連滿倶一行は元氣旺盛で明日から鐵道グラウンドにて左の如く對戰に決し、ファンの期待は非常なもので前人氣盛んである
▲七日午後三時對鐵道一回戰▲八日午後二時對鐵道二回戰▲九日休▲十日午後四時對殖銀戰

樂觀を許さぬ 農安のペスト
双廟子方面は小康狀態

【新京電話】五日歸還した吉林省公署警務廳派遣、農安地方防疫及び調査班張股長以下二名の報告によれば双廟子、花園子にはその後新患者の發生を見ず、一時避難して居た部落民も大方歸還し小康狀態であるが、高家店北方十八支里同家窩棚及び太平橋の二部落は豫防力の手薄、治安上の不安甚だしく患者の隔離が完全に行ひ得ず四、五名の死亡者を出してゐる

謎の舢舨事件 犯人逮捕さる

去る八月二十九日午前九時頃大連市外西山會香爐礁海岸へ約四十石の戎克が着陸し、當日二名の船員を認めたが翌三十日には人影なく、船中は夥多くの血痕附着せる物を發見し、或は海……

木蘭襲撃は 孫朝洋一味

【チチハル五日發國通】木蘭を襲撃して縣廳を燒き久泉參事官を殺害した匪賊は本年八月實縣を襲撃した部下一千を有する孫朝洋の一味が、城内警察隊の一部を買收し反逆を企てたものであることが判明した

滿洲唱歌 懸賞募集

年さいふ理由で明年五月十九日まで待つことになつた

教科書編輯部では、滿洲唱歌集に採用すべき歌詞を懸賞を以つて左記條項に依り募集中である
一、程度、尋常小學四、五、六學年程度
二、滿洲の地方色豐かにして滿洲兒童の愛唱するもの但し現行滿洲唱歌集と同題目のものはなるべく避けられたい
三、格調現行滿洲唱歌集に準ずること
四、記載法用紙は半紙原稿用紙、原稿は同文のもの二通送附のこと、原稿には直接姓名せず別紙に住所氏名職業を認め貼附する事、封筒には唱歌募集原稿第何學年程度と朱記
五、締切 昭和八年十一月三十日
六、發表
七、送附先大連市兒玉町七南滿洲教科書編輯部
八、一人にて幾編投稿するも可、原稿は一切返却せず採用の場合修正するかも知れない
九、賞金 一等金百圓、二等金五十圓、三等金二十圓各一篇、佳作金五圓數篇

青木部隊 大牡丹の匪賊掃蕩

【ハルピン五日發國通】寧安守備隊青木部隊は四日午前三時自動車隊を編成して大牡丹、北滿地區の匪賊を掃蕩し續いて海濱河附近に於て匪首南洋及び長山の根據地を奇襲し之を鴨綠滿方面に潰走せしめた

成績不良兒の福音

特に出來の惡い小學生の學力を増進するため大連修學會(大連市但馬町六八松濤やす江氏)が生れたが、右は成績不良兒の健康狀態や精神力などを調査し放課後、復習豫習せしめて長所を助長し短所を矯め、學力の補給に努むるものであつて寄宿の設備もあると

安樂椅子

滿鐵の無事故表彰内規によつて四百萬粁を無事故走破して表彰されたが、而もその賞金を本社に託して國防資金に献納した大連列車區の美擧は滿鐵現業員の眞劍さを語る一つのエピソードとして推稱されて居るがこの「無事故走破四百萬粁」といふ數字について計算の結果は左のやうな面白い結論が現れた。
……◇……
一口に「四百萬粁」といふがこれを鐵道線路の延長として見る時は、大連を起點として新京、哈爾濱、下關、横濱を經て太平洋を渡りホノルル、桑港、紐育、それから更に大西洋を渡つてロンドン、ベルリン、モスクワから、滿洲里を經て元の大連まで歸還する距離が恰度四萬粁に當る勘定。
……◇……
卽ち大連列車區今回の表彰は、この驚く間を無事故で百回も運行したわけであり、それだけ現業員諸氏平素の緊張振り、細心振りが立證されてゐる。

青空ホテル (3)

近江帆三
吉邨二郎畫

娘物言うた（三）

自分ひとりがこつそりと居殘らうとするのは、なか／＼技巧を要する。

四時が鳴つてからも、那賀はまだ帳簿をいぢくりながら、横眼でみんなの氣配を窺つてゐたが、なぜか今日に限つてみなは悪闘々々してゐる。課長の方を見ると、逸見さんも時計を出したり入れたりしてゐる。机はとうの昔に片付いてゐるので、いかにも不恰好だ。

爲方なしに那賀は帳簿をひろげたまゝ、立つて便所へ出かけた。そして、出たくもない小用を無理に足して、裏庭をぶらついてゐると、同じなやみの逸見さんが飄然とやつて來た。しかし課長だけに弱味は見せない。

「さあ、出かけようか、君」

「はあ」

「何も遠慮することはないよ」

「はあ」

「君は案外小膽だれ」

「さうでもありませんが、少しごうも」

「何も悪いことしようといふのぢやないから、堂々とやりたまへ」

「はあ。それぢやお伴しませう」

「何、さう急がんでもよいがれえ」

と、低氣壓も私的交渉になるさ案外氣が弱い。

「どこがよいかなあ」

「どこでも結構です」

「カフエーも落着かんれ」

と、逸見さんは落着きたいのである。

一時間の後、二人は築地のなだ萬の二階へあがつていつた。

「あーら、お珍しい。どうなすつたの」

と、婢たちは逸見さんを取巻いた。

「そんなにおれの顔が見たかつたか」

「見たかつたわよう」

「ぢや、今夜はうんと見せてやらう。少々賣殘りだがれ」

「賣殘り、結構よ。そんな賣殘りならいつでも頂くわ」

「どうせお前たちも賣殘りさ、れなだ萬だの、たゞまんだのつて嗾なもんぢやない」

と、逸見さんも女にかゝつては眼がない。いゝところですなあ」

那賀は爲方なしにそんなことをいつて、床の掛軸に眼をやつた。

「讀めるかれ？」

と、逸見さんが訪れた。

「讀めませんが、いゝ字ですな」

「はつはつは。讀めなくて字ばかり褒めても爲方がない。――何？磐壁聯の如く自ら關を作す、家流水に臨む白雲の間、か。逢つたかな？」と、逸見さんはもうそれきりで、後を讀まうとはせずに「僕はこれで漢詩は大分やつたよ。うちの課でも、漢詩研究會を開くといゝな」

「さうですれ」

「算盤や帳簿と首ッ引きでは、人間がカス／＼してしまつていかん。漢詩でもやつて大いに浩然の氣を養ふんだれ。カフエーでは浩然の氣は養へんよ。陶然の氣は養へるかも知れんが。はつはつは」

と、逸見さんは今日はよく笑ふ。

「蓄音器がガア／＼鳴つてゐては陶然の氣も養へませんよ」

「いや、さうでもあるまい。はつはつは」

と逸見さんはまた笑つた。

「漢詩會にはぜひ入れて頂きたいですれ」

那賀は如才のないことをいつた。御馳走になる身は辛い。

そこへ銚子を運んで來た。

「さあ、君。こちらへ來たまへ。今日は君が賓客だ」

と、逸見さんは尻を上げた。

「いや／＼。僕はここで結構です」

「さうかれえ。それぢや御自由に」

さういつて、逸見さんは床の前にまだどかりと胡坐をかいた。最初から正座へ坐る氣なのである。

（挿繪）君は案外小膽だね